

ふるさと加東の教育あらかると

—加東の二宮金次郎像—

新型コロナウイルスとの戦いの一年

—自民党県議団幹事長として—

◆郷土史ブログ「ふるさと加東の歴史再発見」より

◆議員活動ブログ「百聞百見」より



▲米田小学校



▲東条西小学校



▲滝野東小学校



▲社小学校



▲鴨川小学校



▲滝野南小学校

ふるさと加東の教育あらかると

— 加東の二宮金次郎像 —

新型コロナウイルスとの戦いの一年

— 自民党県議団幹事長として —

◆郷土史ブログ「ふるさと加東の歴史再発見」より

◆議員活動ブログ「百聞百見」より



▲米田小学校



▲東条西小学校



▲滝野東小学校



▲社小学校



▲鴨川小学校



▲滝野南小学校

目次

I	ふるさと加東の教育あらかると	1
	—郷土史ブログ「ふるさと加東の歴史再発見」より —加東の二宮金次郎像他—	
II	令和2年～3年の議員活動記録	21
	新型コロナウイルスとの戦いの一年 —自民党県議団幹事長として— 令和2年6月～令和3年4月26日までの議員活動記録 —議会活動ブログ「百聞百見」より	
III	県議会本会議、決算特別委員会での質問	153
	令和3年2月 第353回定例県議会での代表質問 令和2年10月 9月議会の決算特別委員会での質問	
IV	令和2年5月から令和3年4月の活動記録	169

まえがき

この「県政資料」は、私の議員活動ブログ「百聞百見」、歴史ブログ「ふるさと加東の歴史再発見」に投稿してきた記事の中から、テーマに沿って、選び、まとめたものです。

第Ⅷ集は、「教育」に焦点を当て、ふるさと加東の小学校にある二宮金次郎像を調べてみました。薪を背負って本を読みながら歩く二宮金次郎像の原型は、明治24年（1891）幸田露伴の少年文学第七編『二宮尊徳翁』のさし絵からだったとされています。その後、岡崎雪聲によって制作された金次郎の銅像が東京彫工会に出品され、明治天皇が購入されたとのことです。大正13年（1924）に初めて愛知県の小学校の校庭に金次郎の銅像が建てられ、昭和初期からと、戦後の昭和30年代に本格的に建てられたという歴史があります。二宮金次郎といえば、「勤勉」、「努力」の象徴として、校門を入ったところに立つその姿が脳裏に刻まれています。加東市内の小学校には、それぞれ個性のある金次郎像が建てられ、今も伝わっています。それらは幼き心に染みこんで、やがてふるさとへの懐かしみや愛着の源泉となっていったと思います。そうして醸成されたふるさと意識が私たちがめざす地方創生の原動力になるものと思います。

一方、令和2年から3年にかけての一年間は新型コロナウイルスとの戦いが続きました。令和2年3月1日に兵庫県に1人目の感染者が確認され、その後学校の休校、緊急事態宣言の発出となり、その最中の5月8日に自民党県議団の幹事長に就任しました。以来、コロナ対策、知事へ緊急要望などの日々が続きました。1年が過ぎてなお、コロナとの戦いは終わっていません。ワクチン接種や治療薬の開発に期待をしつつ、コロナ後の社会のあり方を見通しながら、新しい兵庫、元気な加東の姿を皆さんと一緒に実現していきたいと決意を新たにしております。

このⅧ集は、自民党県議団幹事長としての活動記録と加東の二宮金次郎を特集しました。感染拡大が続いていますが、ワクチン接種も始まったなか、県政資料を発刊することができたことに感謝しつつ皆様にお届けいたします。

令和3年5月吉日

兵庫県議会議員

藤 本 百 男

ふるさと加東の教育あらかると

郷土史ブログ「ふるさと加東の歴史再発見」より
—加東の二宮金次郎像他—

1. 鴨川小学校の二宮金次郎像と記念碑

2009年07月05日



オープンスクールで加東市立鴨川小学校（加東市平木）を訪れたとき、校門に入って右側の斜面に立つ二宮金次郎像を写真に撮りました。

鴨川小学校は山の中にあるので薪を背負って本を読む金次郎像がよく似合っています。その斜面を上って像の上から金次郎の手の本を覗くと、字が刻んでありました。

このブログで東条西小学校の金次郎像は低い庭石を台座として立っているのが見えると紹介しましたが、鴨川小の金次郎も斜面の上から見ることができました。金次郎像の台座石には昭和32年建立、姫路・・・と刻んでありました。

同じ斜面にもう一本、石柱が立っ



ています。高さ、太さから掲揚柱を支える石柱ではないかと思い近寄ってみると字が刻まれているので読んでみました。「青少年団結成」と読めました。土の下にまだ字があるのかもしれませんが。もう一面には「昭和十六年」と刻まれています。昭和16年の12月には大東亜戦争が勃発しています。昭和10年代には、奉安殿が造られたり、二宮金次郎像が建てられたり、少年団が結成されたりして、軍事色が濃くなっていく時代でしたから、そうした記念の碑の一つだったのではないのでしょうか。

この斜面の上には鴨川村の忠魂碑もあります。山里の小さな学校、鴨川小学校の校庭には、村の歴史を伝える貴重な碑があり、元気に遊ぶ子どもたちを見守っているようでした。

◇昭和32年一鴨川小学校の二宮尊徳像建立記念

2010年11月27日



この写真には、昭和32年10月15日の書き込みがあります。半世紀余り前の写真です。木造校舎の前の二宮尊徳像の前で記念写真ですが、神主さんの姿があるので、竣工式か何かの記念でしょうか。

二宮尊徳像が光っています。ひょっとしてと思い、以前この歴史ブログで紹介した鴨川小学校の二宮尊徳像のページを見てみると、「昭和32年建立・・・」を発見しました。この写真は木造校舎の頃、二宮尊徳像建立の際の記念写真に間違いありません。

現在は、校門に入って右手のところに像が移転されていますが、

鴨川小学校に通う子ども達を半世紀にわたって見守ってきたんですね。

2. 社小学校の二宮尊徳銅像

2009年05月27日



社小学校の正門を入った左手の大木の側に二宮尊徳の銅像が立っています（写真）。校舎や運動場など、私が小学生だった頃とずいぶん変わりましたが、この二宮尊徳像は今も変わらず立ち続けています。

『社小学校百年誌』によれば、昭和10年（1935）、二宮尊徳像が建設されたと記されています。場所も正面西どなりとありますからおそらく同じ場所なのでしょう。「登校して正門をくぐると、左西側の尊徳像に最敬礼し、引き続いて、奉安殿にも同じようにして、教室に入ったものです」（百年誌より）と昭和10年代に在学した卒業生の思い出が書かれています。

その後、二宮尊徳像は戦争が激しくなり「老骨にむち打ち、赤だすきをかけて歓呼の声に送られての出征（軍需物資として献納）となりました」（百年誌）。

今の銅像は、台座石に「寄贈者 神戸市 田野さち子 取次 黒石健次 昭和三十一年十二月再建 黒石素仙」と刻まれています。

◇昭和31年再建の二宮金次郎像―社小学校

2014年11月16日



15日(土)、加東市立社小学校で「ごりょうが丘フェスティバル」が開かれました。好天に恵まれ、子供達の「おもい屋さん」や「お化け屋敷」の呼び込みの声が響いていました。

私が通っていた昭和30年代の後半は、立派な木造校舎の時代でした。校門を入ってすぐの左にヒマラヤ杉の巨木と二宮金次郎像がありました。講堂のある木造校舎はなくなりましたが、杉の大木と二宮金次郎は変わらずに立っています。

数年前、修理か何かで一時的に像がありませんでしたが、久しぶりに金次郎像を見ることができました。昭和31年(1956)再建、黒石素仙と刻まれています。黒石先生は私が小さい頃、田町筋で医院を開業しておられました。

3. 東条西小学校の二宮金次郎像

2009年06月26日

25日、加東市立東条西小学校のオープンスクール(ファミリー参観)が行われました。親子歯磨き教室やAEDを使った救命講習なども行われ、子どもたちも暑さに負けず元気に学習する姿が見られました。

ところで、校門のすぐ脇の庭の植え込みの中に二宮金次郎像があることに気づきました。何か違う感じを受けたのは、写真のよ



うに庭石の上にそっと立っていたからでしょう。ふつう、金次郎さんは台座の上に立っており、下から見上げるような位置関係だと思うのですが、この金次郎さんはいしからそっとのぞき込めるような高さなのです。

校長先生が、「ちゃんとこの本には字が書いてある」と教えて下さったので

いてみると、確かに。金次郎は薪をかついで歩きながら本を読み勉強に励んでいたのです。

この像の由緒はわかりません。しかし、何とも言えない身近な感じを受ける二宮金次郎さんでした。



4. 三草小学校の二宮金次郎像

2011年05月17日

14日（土）、恒例の茶摘みが行われる市立三草小学校を訪問しました。今年は、他の行事と重なり、残念ながら茶摘みには参加できないので、朝早く行ってみますと、茶畑では校長先生はじめ、先生や保護者、地域の方々が草刈り機のエンジン音をうならせて準備作業にあたっておられました。その中にこの春に別の学校へ異動された教頭先生の姿もあり、楽しそうに手伝っておられました。

児童が登校してくる頃、駐車場に向かうと石碑や像が目にとまりました。頂上部が丸くなっている石柱は、講和条約記念のもの



でした。隣の像は、二宮金次郎の石像でした。

先日テレビを見ていると、最近是这样した二宮金次郎像がない学校が多くなったとか、座って本を読んでいる金次郎像もあるとか、それは歩きながら本を読むと危険だからという理由らしいとのことでしたが、あるいはロダンの考える人、鉄腕アトムなど現代風のものに代わって

いるということが紹介されていました。

加東市内の小学校には二宮金次郎の銅（石）像があるのをよく見かけます。それに、藩財政改革を次々と成功させた二宮金次郎は今やブームでもあるのに、学校でそうしたことが評価されないで、表面的な姿、形だけで忘れられいくのは残念なことです。

◇緑陰の金次郎像－三草小学校

2012年05月22日

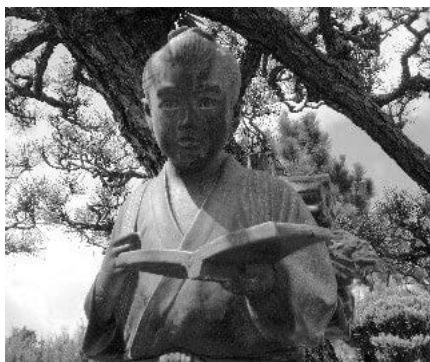


新緑の三草小学校（加東市上三草）で出会った講和記念塔を紹介しましたが、やはり隣の二宮金次郎像を紹介しなければと思い、この歴史ブログでは2回目になりますが、新緑の金次郎像を掲載します。

正面には「二宮尊徳先生幼時之像」の銅板がはめ込まれ、像の裏には紀元二千六百年記念と刻まれていました。昭和15年(1940)ですから、その年にはこの地に三草小学校はありません。現在のやしろ国際学習塾に三草小学校があった時代に建立されたものでしょう。建立から70年余り、新緑の三草小学校にその姿を保っています。

5. 米田小の金次郎像

2011年09月24日



23日(金)、秋晴れの下、市内各小学校では秋の運動会が行われました。加東市立米田小学校では、小学生はもちろん、保護者、保育園児、消防団、老人会など地区住民が参加して米田地区伝統のふれあい運動会が開かれました。

ただ、年々子どもの数が少なくなって寂しいという話も聞きました。

そんな米田小学校の校庭の築山に立派な松が枝を伸ばしており、その下に二宮金次郎の像がありました。ふと目が合ったような気がして立ち止まりよく見ると、金次郎の目が持っている本を見ておらず、遠くを見ているように見えました。思わずシャッターを押しました。きっと登校してくる子ども達を見守っているんだろうと思いました。運動会シーズンになると二宮金次郎に出逢えます。

◇イケメン金次郎—米田小学校の二宮金次郎像

2014年09月24日



加東市立米田小学校の二宮金次郎像は写真のように男前です。今風に言うとイケメン金次郎です。その端正な顔と遠く理想を見ているような目が印象的です。以前にもこのブログで紹介したことがあります、その時は松の木の枝が金次郎の頭上にかかっていたのですが、今日はありません。金次郎の印象が新鮮なのはそのせいかもしれません。文科省の「私たちの道徳」の小学校1,2年生用に二宮金次郎の話が掲載されています。子供達は校庭の金次郎像を見ながら勉強ができるわけです。

6. 福田小学校の二宮尊徳像

2010年09月20日



運動会に出席するために加東市立福田小学校を訪れました。まだ開会式まで時間があつたのですが、校長先生のご案内で運動場に向かう時、職員室前の植え込みの中に二宮尊徳像があることに気づきました。何度も訪れている福田小学校なのですが、尊徳像がこんな場所にあるとは知りませんでした。

台の上に立って柴をかついで本を読む、例の尊徳翁の小さい頃の姿がそこにはありました。「二宮尊徳先生幼時之像」と刻まれた銅板がはめ込まれています。裏には、昭和六年という文字が刻まれていたように思うのですが、しっかり確かめませんでした。銅像ではなく、石像のようでしたが、今日は写真を紹介します。この像にもストーリーがあるはずですから、今度じっくり調べてみようと思います。

◇福田小の二宮金次郎像

2011年09月26日



加東市立福田小学校の運動会でも二宮金次郎像に注目しました。同校の卒業生のTさんは、昔はこの周りに植え込みがあってそこで遊んだもんやと懐かしそうに話していました。像はセメント製のようでした。しかし、なかなか細

かいところまでよくつくられている感じを受けました。お顔を見ても、どうもやはり視線は本に向かっているようには見えませんでした。

7. 古い校門の脇に立つ二宮金次郎像ー滝野東小学校

2021年03月15日

13日（土）の午後、滝野東小学校（加東市新町）に行ってみました。平成17年度に教師生活最後の一年を過ごした学校です。



運動場では、地元の野球クラブが練習をしていました。南側の古い校門の脇に植え込みがあり、その中に二宮金次郎像があります。台座の正面には、「至誠」の二文字が刻まれています。そして、裏側には「皇紀二千六百年」と刻まれていました。高い台座の上に柴を背負って歩きながら本を読む二宮金次郎の石像があります。足の部分はコンク

リートで補強されているようでした。周囲の植え込みはきれいに剪定されていました。桜の古木の枝が像の上まで伸びてきており、入学式の頃には満開の桜が子供達を迎えることでしょう。

「皇紀二千六百年」は昭和15年（1940）にあたります。初代天皇の神武天皇のご即位を紀元とする日本の暦年です。令和3年の今年は皇紀2681年ということになります。皇紀2600年を祝う記念碑が建立され、今も各所に残っています。東小の前身、戦前の加茂国民学校時代の昭和16年に金次郎像の除幕式が行われた、と記念誌にあります。

今は、運動場の一番南から運動場で元気に遊ぶ子供達、校舎の教室の窓から聞こえてくる子供達の勉強する声を静かに聞いているのでしょう。

8. リアルな二宮金次郎像ー滝野南小学校

2021年03月16日



13日(土)
の午後、滝野東
小学校の二宮金
次郎像を見てか
ら、滝野南小学
校へ向かいまし
た。気にかかっ
ていた金次郎像
を見るためです。

南小学校へは、運動会やオープンスクールなどの機会に訪れることがあるのですが、金次郎像を見たことがなく、校長先生に聞いてみると、プールのある子供達に通っている門のそばにある、とのことでした。いつも車で正門から入っているので目に入らなかったわけです。

学校で遊んでいた小学生にウサギ小屋の向こうだと教えられ、歩いて行くとありました。ちょうど大人の目の高さより少し高い台座の上でやはり柴を背負って本を読んでいる金次郎の姿がありました。その像はものすごくリアルで、本には「大学」の書名(文字)があったり、背中の柴の一本一本や履いている草鞋が本物のように精巧に造られていました。

台座正面には「少年時代の二宮尊徳先生像」と書かれた金属プレートがはめ込んであります。そして、裏側には寄贈者の陰山禎次郎氏の名と昭和三十一年八月の日が書かれたプレートがありました。金次郎像の後ろに一本の石柱があります。「講和記念」と

刻まれており、国旗掲揚柱の基礎の柱に使われていたものだと思います。滝野南小の歴史、教育の歩みを今に伝えています。

二宮金次郎像は大正時代に初めて小学校に建てられ、昭和初期からの時期と、戦後の昭和30年代に建てられたと聞いています。「勤勉」「努力」「一生懸命」の象徴として、学校や企業などでも二宮金次郎の生き方に学ぼうという精神が広まったのです。今も元気で登下校する子供達を見守っているようでした。

9. 道池交差点の二宮金次郎

2011年08月11日



早朝の街は静かです。昼間は車がひっきりなしに走るこの道池交差点（加東市社）も嵐の前の静けさのように車一台、人一人通らない瞬間があるのです。



かつては、道池という大きな池だったこの辺り。昭和30年代に宅地に生まれ変わりました。京都、丹波から播磨への旧道が通り、また、旧社町の中心市街地のまわりを走る環状道路が建設され、やがて国道372号線となって交通の要路であった道池交差点。国道がさらに外側の環状道路に移ったあとも通行量は多い所です。

その道池交差点にあるガソリンスタンドに二宮金次郎像がひと

り今朝も変わらず柴を背負いながら勉強に勤しんでいます。近頃は学校でも見かけなくなった二宮金次郎像。歩きながら本を読んでいたのは危険だから座っている像もあると聞きました。社小学校の子どもたちは毎朝この交叉点を通っていますが、金次郎の姿が目に入っているのでしょうか。学校の校門を入ると、また金次郎が迎えてくれるのですが。

補1. 145年、128年の歴史を閉じる―東条地域の2小学校

2021年03月29日



27日（土）の加東市立東条中学校に続き、28日（日）には東条東と東条西の2小学校の閉校記念式典が行われました。それぞれ、145年と128年の長い歴史を誇る学校で、閉校式では、実行委員会が制作した映像で振り返ることができました。



東条東小学校の校長室に「悠久の墓（いらか）」の銘の鬼瓦が飾られていました。この鬼瓦は、明治20年に開学した東条尋常小学校の校舎の屋根瓦で、昭和26年に東条東小学校の新校舎ができる際に地元の方が保管していたもので、その後学校に寄贈されたという奇しき由来が書かれていました。

東条西小学校の玄関の棚には、小さ

な釣鐘が飾られています。歴史を振り返る映像では、昔はこの鐘を撞いて朝の始業を伝えていたと、そのようすが写真で紹介されたものでした。(今のチャイム)と添え書きがしてあるのを見て、今の子供達には想像が難しいのだらうと思いました。

それぞれの学校に歴史があります。その歴史は卒業生や地域の人々の思い出の中にきざまれているでしょう。そして、こうした遺物がその役目を果たしています。4月には新しく東条学園小中学校としての歩みが始まります。

補2. こども博受賞記念プレート—中東条尋常高等小

2012年02月05日



加東市立東条西小学校のオープンスクールを参観して帰ろうとしたとき、校門脇の二宮金次郎像のすぐ側にもう一つ石碑が建っているのに気がつきました。近寄ってよく見ると、石碑には銅板のプレート

が埋め込まれており、小さな文字が刻まれています。何か大切な記念のプレートで古そうなものだったのでカメラに撮りました。銅板プレートには下の文字と絵、メダルが刻まれていました。

コドモ博 手工銀賞 中東条校

コドモ博 童謡銀賞 中東条校

入賞記念

歓びのことば

こどもを「大人の不完全なもの」と思つてゐたのはあやまりで、こどもには大人のおよばない天分をもつてゐることが見出された。こどもを大人の「従属物」のやうに思つて来たのもあやまりで、こどもは大人以上に尊重しなければならない事が認められた。皇孫殿下の御降誕を記念するために、大阪毎日東京日日両新聞の主催で、こども博が開かれたことは、皇室の御繁栄をことほぎまつると共に、大に児童尊重といふことを一般に認めさせる上に意味があつた事と思ふ。

殊に其の創作館はこどもの天真にして純情な心の泉からわきいでた作品を集め、新教育の立場から厳正な審査を施して初等教育上多大の資料を提供せられたものである。

我が中東條校は幸に出品校として選定せられ、しかも審査の結果は、手工、童謡何れも県下第一位として銀賞に入選の光栄を得た。実に本校創始以来の盛事である。大に祝すべきである。

茲に聖上の御誕辰を卜して、この記念帳を調べ、関係者に頒布して永久にこのよろこびを記念すると共に、将来一層発憤大成の動機たらしめんとするものである。

大正十五年八月三十一日

加東郡中東條小学校長 藤原 優

中東條尋常高等小学校

補3. 三草小学校の講和条約記念塔

2012年05月20日



加東市立三草小学校（上三草）で、19日（土）伝統行事の「ふれあい茶摘み」が行われました。児童と保護者、老人会、区長会、民生委員、地域の皆さんらが総出で学校の茶畑で茶を摘む伝統の行事です。

挨拶に立った三草小校区の代表区長さんは半世紀余り前のことを話されました。当時、三草中学校の生徒だった方々が茶畑に肥料（糞

尿）をやった話などを楽しそうに話しておられました。

さて、三草小の校庭の植え込みに立っている「二宮尊徳翁の幼少時代の像」すなわち、金次郎の像のすぐそばに、高さ1メートル余りの一本の円柱塔が立っています。最上部は丸く球面になっており、門柱にしては低く、また1本しかないので何だろうと思って、ひらどつつじの枝に隠れた本体側面を手で除けて見てみると、「講和記念塔」と刻まれていました。建立年は昭和二十六年。翌年4月28日に講和条約は発効するわけですが、一足先に祝ったものでしょう。ぐると側面を調べてみると、掲揚柱だったことを示すボルトの穴がありました。そしてもう一つ発見がありました。セメントで埋めてありますが、「大正」の文字がくっきりと読み取れました。その下の文字は読み取れませんでした。しかし、講和記念で国旗掲揚柱を建立する。社小学校の講和記念柱もそうでした。主権を回復し、日の丸を高々と掲げることができる

喜びが伝わってくるようでした。

補4. 郷土ゆかりの日本画家の作品が掛けられている 三草小学校の体育館

2010年04月12日



4月9日、加東市立三草小学校の入学式に出席しました。今年入学した1年生は17人。校長先生や担任の先生の呼びかけに元気に答えていました。祝いにかけた来賓の人数の方が多かったのですが、校区内

の地区の中には新入生がいない地区もあり、区長さんも少しさびしそうに話しておられました。

ところで、式場の体育館の後ろの壁面に2枚の絵が掲げられているのが目に止まりました。校区にゆかりのある2人の画家の絵です。その2人とは、三木翠山（みきすいざん）と森月城（もりげつじょう）です。2人とも三草小学校の校区である上福田村木梨（現、加東市木梨）の人で、大正から昭和にかけて活躍した有名な日本画家です。

その高名な画家の絵が体育館の高い壁面に掛けてありました。郷土の誇る2人の画家の絵を見て、きっと子ども達も三草小学校の由緒ある伝統を感じていることだろうと思いました。

※その後、これらの絵は校舎玄関と校長室に飾られています

補5. 講和記念の国旗掲揚柱石柱

2008年04月30日



4月28日は昭和27年（1952）、サンフランシスコ講和条約が発効し、7年にわたる連合国の占領が終わって、日本が独立主権を回復した日です。

早朝、加東市立社小学校の校門前を歩いていて、一本の石柱が目に入ってきました。その石柱は国旗掲揚柱の基礎で「講和記念」と深々と刻まれています。

今は校門を入れて左手、体育館南側の植え込みの中に立っていますが、元は運動場の東の一段高くなっていた国旗掲揚台に立っていたものだと思います。

私は28年の生まれですから、占領体験はありませんが、講和成立により、晴れて独立主権を回復し、堂々と日の丸の旗を掲揚できるようになったときの感激は大きかったんだろうと思います。

補6. 明治時代の社市街の地図に尋常小学校の名が —今は明治館と広場

2020年07月16日

資料の整理をしていると、ファイルに明治時代前半の社村（現加東市社）の町の地図のコピーがありました。これは、十数年前に町の先輩から貰ったものでした。

地図には、中央少し右のところに、「尋常小学校」と書き込まれています。現在は、明治館となっていてところで、元は、社町



公民館、その前は加東郡公会堂の建物でしたが、この郡公会堂が建てられたのは明治末年のことでした。それ以前の明治時代の中頃まで尋常小学校があったのです。

その後、学校は社小学校が建っている現在地に移転しましたが、それまで、近隣の子供達がこの場所にあった学校に通って学んでいたのです。朝のウォーキングで歩く、広場へ上る石段が通学路だったという話を「社小学校百年史」で読んだことがあります。石段を登りきると、忠魂碑がありますが、この碑が建てられたのは大正時代の末年です。明治から、大正、そして、昭和、平成、令和と時代を重ねてきた歴史的場所だったことをこの地図が再認識させてくれました。

令和2年～3年の活動記録

令和2年6月～令和3年4月までの政治活動記録 ー議会活動ブログ「百聞百見」よりー

1. 今日から日常回復へー兵庫スタイルを励行しながら

2020年06月02日

6月1日（月）、9時30分過ぎには登庁し、10時から自民党議員団執行部会議。スケジュール確認や6月議会に向けての準備などを協議した。

11時から自民党議員団の若手議員有志によるオンライン



会議のデモンストレーションが行われ、幹事長室と参加各議員の地元事務所を結んで模擬会議を行った。在宅ワーク、学校の休業等、緊急事態宣言下でのオンライン会議や学習、診療などが一気に広まった感があるなか、出席を大原則とする議会も場合によってはオンライン会議を行っていくことも必要だ。広い兵庫県で、自然災害や今回のような感染症のために移動が困難な場合もあり得る。今後も可能性を試していきたい。

夕方まで県庁で執務。議会事務局、政調会長室、同僚議員らと6月議会に向けての協議や当局との諸連絡など多忙だった。

今日から休業要請は全面解除された。「兵庫スタイル」を励行しながら、日常生活、経済活動を取り戻していくことになる。今日も県下の新規感染者は0人だった。

2. 各会派代表者会議や議運、議員団総会など

2020年06月06日

5日（金）、朝、登校見守りに立った。ようやく今日から通常の登校が始まった。全国一斉休校、緊急事態宣言、解除後の分散登校などを経て、本当に久しぶりの登校姿だった。通学班の列が学校道に長く続いた景色に嬉しい気分になった。

9時に登庁。9時、10時、11時と当局の説明や陳情などの予定があり、さらに合間を縫っての面会も。朝、淹れてもらったお茶を飲む間もないほどだった。



午後1時から各会派代表者会議、1時30分から議会運営委員会が開かれた。協議を続けていたコロナ対策に対する議会としての協力策が全会派、議員の同意でまとまった。6月期末手当、政務活動費、議会費などを削減し約1億円を捻出しコロナ対策に使ってもらうことになった。議運では6月議会に上程される2次補正案の説明も行われ、2波に備えた医療体制の整備や経済回復に向けた支援策などが柱になっている。

午後2時から自民党議員団総会。代表者会議、議運の結果の報告、上程議案の説明などが行われた。総会終了後、避難所運営ガイドラインの説明も行われた。そのあとも当局からの説明を受けたりで、退庁したのは午後5時頃だった。今日も兵庫県下の新規感染者は無しで、20日連続となった。

帰宅して知ったのは、横田滋さんが亡くなったことだった。めぐみさんの救出を訴え続けてこられたが、実現せぬままに亡くな

ってしまった。ご冥福をお祈りするとともに、めぐみさんをはじめ未だ拉致されたままの同胞の救出を心に誓った。

3. 6月県議会開会―議会として約1億円のコロナ対策費捻出

2020年06月10日

9日（火）、朝、登校見守りに立ってから県庁に向かい、9時過ぎに登庁。10時から議会運営委員会、10時30分自民党県議団総会、11時本会議が開かれた。

第349回定例県議会も密を避けるために議席は空席を設け、また、発言席や理事者席はアクリル板などが設置され感染防止策が施された。

今定例会は、今日から17日までの9日間を会期とし、コロナ対策等の総額約1121億円の補正予算案、条例改正案6件などが上程された。また、議員提出の条例改正案として、議員の期末手当や政務活動費の削減にに関する議案も上程された。井戸知事が提案趣旨説明を行い、松本議会運営委員長が議員提出条例の趣旨説明を行った。議員提出条例改正案はただちに表決が行われ全会一致で可決された。削減によって捻出された約1億円はコロナ対策に有効に活用されるように申し入れを行うことになっている。

午後、12時30分から今日2回目の自民党県議団総会が行われ、代表質問、一般質問について協議を行った。2時から県議会文化振興議員連盟の役員会が行われ、今年度の主な事業計画やコロナ対策などについて協議を行った。その前後に請願受付や他会派の申し入れ、来客などが続いた。

5時過ぎに退庁。昨日、水を張った田圃を見に行った。代掻きが終わっていた。2、3日後には田植えか。水面に夕焼けの空が映っていた。

4. 県庁で一日 届いたマスク

2020年06月12日



10時に登庁。一日を幹事長室で執務した。当局から説明を受けた他、電話連絡、文書作成などを行った。県庁3号館4階の山側にある幹事長室屋からは低く垂れた雨雲で山の緑も見えなくなっていた。兵庫県下での新規感染者は今日も無く、26日連続0人となった。

ところで、昨日、自宅に厚労省からマスクが届いた。話題になっていたので待ちわびていた。早速着用してみた。顎のあたりまで隠れないのでかえって涼しく感じる。このマスクが配られ始めた頃、郵便局の配達員の人がテレビのインタビューを受けて、「このマスクを確実に皆さんにお届けしたいと思います」と語っていたことが強く印象に残っており、その高い使命感に好印象を受けたことを思い出した。届くまでに時間はかかったものの、その間にマスクの重要性の認識が広まったことで、大切に使おうという思いも深まった。顔は大きい方だが、マスクは小さく見えない。明日の本会議はこのマスクで出席しようと思った。

5. 本会議一般質問日 知事に申し入れ1億円有効活用

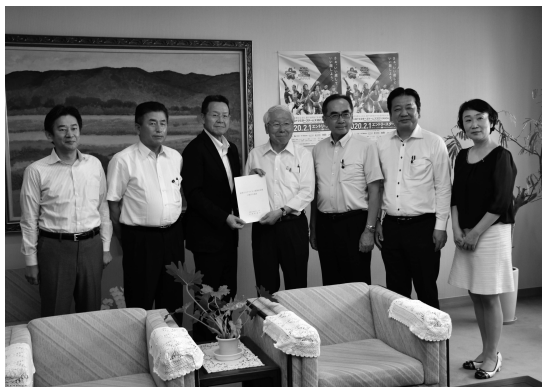
2020年06月16日

15日(月)、8時30分過ぎに登庁。9時から議会運営委員会、9時30分自民党議員団総会が開かれた。

10時本会議が始まり、一般質問が行われた。トリには自民党の原吉三議員(神戸市中央区)が登壇し、井戸県政の今後の取り組み姿勢やコロナ対策の評価、医療、経済対策など5問について

質した。一般質問が
終わり、議案、請願
4件が委員会に付託
された。本会議が終
わったのは午後3時
40分を過ぎていた。

午後4時から、長
岡議長と各会派代表
とともに井戸知事に



対して、今定例会初日に議決した議員期末手当や政務活動費などの削減で捻出した1億円の有効活用について申し入れを行った。

今日も県下の新規感染者は0人で30日連続となった。しかし、第2波に備えて医療現場の体制を充実させる必要があり、そうした状況を踏まえて有効な活用方法を考えるとのことだった。

その後は同僚議員との情報交換や政調会長室との打合せ、諸連絡などを行い、7時前に退庁した。

県庁を出た頃はまだ明るさが残っていたが、さすがに加東に戻る頃には家や街灯の灯りが田植えの終わった田圃に映えていた。

6. 新委員で警察常任委員会、コロナ対策調整会議も

2020年06月20日

19日（金）、朝の登校見守りに立ち、県庁に向かった。通勤通学時の道路の風景は日常に戻った感がある。

9時30分頃には登庁。10時から22日に行われる文教常任委員会を除いて、全委員会が開かれた。私は令和2年度は警察常任委員に選任された。第1回目の委員会では、正副委員長の挨拶、公安委員長の挨拶に続いて委員、幹部の自己紹介から始まり、令和2年度の事務概要説明、閉会中の調査事件（警察の組織体制等）、

委員会活動についての協議などが行われた。コロナの影響で管内外調査や委員会の地域開催など多くの制約を受けるが、常任委員会の調査は議会活動の中でも重要な位置を占めるため、あらゆる方法を使って活動を進めていこうということになった。写真は、県警カレンダーの6月。加東署員が登校する児童を見守っている様子が写っている。兵庫教育大学附属小学校校門前のようだ。



午後1時30分から昨日の県の対策本部会議を受けて、各会派代表による県議会コロナ対策調整会議が行われた。会議では、第2波に備えた検査体制の強化について、これまでも指摘してきた抗原検査の拡充について意見を述べた。熱中症などで救急搬送される患者も含めて、簡便、短時間で検査ができ、医療関係者も負担の低い抗原検査ができるように検査キットを配備することが患者の振り分けに有効という現場の声を重ねて伝えた。

午後の時点では、35日連続で新規感染者0人という報告にほっとしていたが、夕方、1名の陽性が判明したという報告が入った。県境を越えての移動が解除され、まさに新しい生活様式をとりながら日常を再開していくなかで、引き続き緊張感をもって臨んでいきたい。

7. 酒米日本酒振興議連と全農兵庫県本部との意見交換

2020年06月27日

26日(金)、9時30分には登庁。さっそく、議会事務局はじめ、当局から報告や説明を受けたりで一息つく間もなかった。午後もし幹事長室への来室者が続いた。その中に、加東市役所から県庁に

研修で来ている若手職員もあった。

午後3時から、自民党酒米日本酒振興議連の議員と全農兵庫県本部との意見交換を行った。コロナの影響で日本酒の需要が激減し、酒米生産に大きな影響が及んでいるなか、県では2次補正で山田錦など酒米の産地・生産維持支援策などをまとめたが、全農の対策や産地の状況などについて話し合った。

今日は兵庫県下での新規感染者は1人だった。県では、感染症対策室を新設し、第2波に備えて組織の強化を行った。とにかく、今は、手洗い、マスク、消毒をはじめ、間隔をとったり、換気を行うなどの感染防止対策を徹底するしかない。

8. 自衛官募集相談員会東播連合会定期総会に出席

2020年06月28日



27日（土）、今日は10時から加東市上三草の高室池畔にあるやしろ会館で行われた令和2年度自衛官募集相談員会東播連合会定期総会に出席した。

こうした総会行事への出席は3月以来のことで、地元に戻っている藤井ひさゆき衆議議員、加田ひろゆき参議院議員をはじめ代理出席の秘書、また、北播磨と東播磨の県議会議員6名が出席した。県議会議員を代表して地元加東市選出議員の私がお祝いを申し上げた。出席された相談員の皆さんとも久しぶりにお出会いし、話も弾んだ。

今日は兵庫県下の新規感染者は0人だった。午前の総会もマスク着用、席も間隔をあけた新生活様式で行われている。

9. 県立教育研修所で教科書展示会

2020年07月02日

7月1日（水）、9時に加東土木事務所から報告と説明を受けた。そのあと、県立教育研修所（加東市山国）で行われている教科書展示会に行き、中学社会科の検定合格の各社の教科書を見てみた。



今回の検定では、自由社の教科書が不合格になり、その検定が問題になっている。また、新規参入教科書や「従軍慰安婦」の記述が復活しているなど、気になっている教科書の気になる箇所を中心に読んでみた。採択にあたっては、「ひょうご教育創造プラン」に掲げてある趣旨に照らし合わせて選んでもらいたい。今日が最終日だったが、これからも所内で見ることができるとのことだった。また、耐震工事が終わった施設、新たに整備された体育指導のための教室や講堂、食堂の見学をさせてもらった。コロナの影響でまだ本格的な使用はされていないが、素晴らしい施設に生まれ変わっていた。

香港に国家安全法が施行された。新聞各紙でも中国が約束していた「一国二制度」の下での自由と民主主義はこれで終わるとの強い懸念が報じられている。兵庫県議会では6月議会で国に対して各国と連携して香港の自由な経済活動と人権が守られるよう行動することを求めた意見書を全会一致で可決している。

東京、首都圏の新規感染が続いている。兵庫県下では新規感染者は2人だった。昼間、診察で訪れた加東市内の診療所では、入口で検温、消毒、問診の検査が行われていた。まだまだ、気を緩められない。

10. 兵庫から新たな未来を創る —地域ビジョン委員会で金澤副知事が説明

2020年07月05日



4日(土)、昨日からの雨も止んだ朝、熊本県南部や鹿児島県北部で大雨の特別警報が発令され、大変危険な状況になっていることを知った。急流で知られる球磨川が氾濫し被害が出ているようだった。

午後1時30分から、第10期北播磨地域ビジョン委員会の第1回全体会が小野市交流会館エクラのホールで行われた。約40名(55名のうち)の委員や県市関係者、学識委員、県議ら来賓が出席し、机1脚に1人が着席するかなか、金澤和夫副知事が「兵庫から新たな未来を創る」と題し、21世紀長期ビジョンについて概要を説明した。後の質疑では、人口減少による都市との格差、集落の維持、ビジョン委員の役割などの質問があり、金澤副知事が丁寧に答えた。委員の中にはよく知った方の顔もあり、久しぶりの出会いで話しも弾んだ。

今日は兵庫県下の新規発生は1人。隣接の大阪府では17人、東京都は131人と100人以上が続いている。コロナ感染拡大、大雨被害と災害が重なり、緊張が続く。備え、防止対策をしっかりと行うしかない。

11. 県庁で一日 部局との意見交換会

2020年07月07日

6日(月)、10時から自民党議員団執行部会議。当面のスケ

ジュールなどを確認した。

午後1時から先週に引き続き、部局との意見交換会が行われ、まず、健康福祉部と病院局、午後3時からは県土整備部と企業庁の幹部職員と令和2年度の重要政策や進捗状況について執行部と意見交換を行った。新型コロナウイルス対策、コロナ後の社会、生活の変化も想定しながら、安全安心な県民生活をどう築いていくかといった観点からの話や熊本県での豪雨災害の発生や東京はじめ全国で新規感染者の増加などの話題が中心になった。

午後4時、加東土木事務所から播磨中央公園サイクルステーションのオープンについての説明と案内を受けた。コロナウイルスの感染拡大の影響でオープンが遅れていたが、今月18日にオープンされることになった。

県土整備部との意見交換で、球磨川の流域面積は兵庫県の加古川流域よりその広いということを知った。そして、24時間雨量が300～400ミリ超という水が全部球磨川に出てくるという状況だったことを考えるとぞっとした。加古川流域では、ダムやため池、田んぼなどでも「ためる」ことができてその想定を超えることもある。まずは「命を守るための行動」で安全な場所への避難が優先ということを改めて認識した。今週は梅雨前線の活動が活発化し各地で大雨が予想される。気を引き締めてかからなければ。

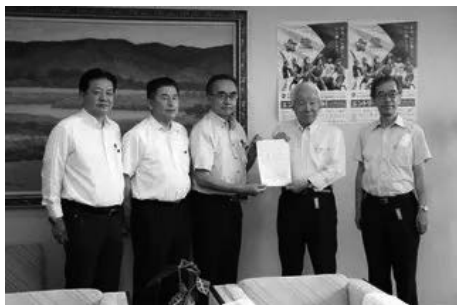
12. 知事への申し入れ—コロナ慰労金対象拡充へ

2020年07月11日

10日（金）、今朝も雨の中、登校見守りに立った。子供達はもう雨にすっかり慣れたように一列に並んで登校していった。

9時30分過ぎには登庁。議会事務局との打ち合わせを行う。

10時30分から、自民、県民連合、公明の3会派で井戸知事



に対して「新型コロナウイルス感染症対応従事者への慰労金支給対象の拡充」の申し入れを行った。

医療機関、介護施設、障害福祉施設等に勤務する従事者に対する慰労金の支給に関して、県は、6月補正で患者等を受け入れた病院、感染者が発生した施設や事業所のスタッフへの20万円の支給を決めていたが、患者を受け入れていなかった医療機関、感染者や濃厚



接触者に対応していない施設等の職員への一律5万円の支給については、国の実施概要がはっきりしていないとの理由で支給対象からはずしていた。今回の3会派申し入れは、直接に対応した施設等にとどまらず、発熱等の疑い患者への対応や感染防止等の啓発などにも一定の役割を担った施設等も含め、支給対象範囲を幅広く拡充するよう強く要望したものだ。県では、対象は約50万人に及ぶとみており、ほぼ全ての医療、介護、障害福祉等の職員への支給が行われることになるだろう。

午後は、臨時議会等のスケジュールの調整など、議会事務局との打ち合わせ、同僚議員との情報交換、友好団体との連絡などを行い、4時過ぎには退庁した。加東に近づくに連れて雨は激しくなり、事務所でスタッフとスケジュール調整などの打ち合わせなどを行った。兵庫県下の新規感染者は4人。東京、大阪など首都圏、関西圏でも新規感染者数は増加している。引き続き、医療

関係、介護等の現場では感染拡大防止に向けた高い緊張状態が続くことになる。そういう意味においても関係者への感謝の気持ち、慰労金の支給を急ぐ必要がある。

13. 警察、産業労働、教育委員会と意見交換

2020年07月14日

13日（月）、9時45分から県警察本部の報告を受け、続いて10時から執行部会議。臨時県議会に向けての追加日程などを協議した。

10時30分から各部局との意見交換を行った。残っているのは警察、産業労働部、教育委員会の3部局で、午前に警察、午後に2つの部局との意見交換を行った。警察では、自然災害や感染症などの危機管理等重点3項目を中心に、産業労働部ではコロナの影響を受けた企業、事業主への支援策や観光対策など、教育委員会では学校の休業の影響や今後の教育のあり方などについて意見交換が行われた。

今日は兵庫県下で1人の新規感染者があり、加東健康福祉事務所管内だった。日曜日とは一転、再び雨の一日となった。まだしばらく前線が停滞するらしい。

14. 議会運営委員会、警察常任委員会や土地改良議連総会

2020年07月17日

16日（木）、今朝はいつもより早く9時前には登庁。9時から議会運営委員会。27日の臨時県議会へ提出予定議案の説明、日程、感染防止対策などを協議した。9時30分から自民党議員団総会。各会派代表者会議、議会運営委員会の報告、その他政調会室からの報告などが行われた。

10時30分から警察常任委員会が行われ、専決処分について

の報告に続いて、閉会中の継続調査事件として、「快適な交通環境づくりの推進について」の調査を行い、交通部長からの説明に続いて質疑が行われた。委員からは信号設置についての質問が多く出された。令和2年度は県下で12基の設置が予定されている。年々設置数が少なくなっており、年間260ヶ所を超える設置要望に応えられないのが現状。しかし、新設道路など現場調査を行い必要性を考慮しながら設置している。一方で老朽化、必要度の低くなった信号機の廃止も地元と協議の上廃止を行うことにしているとのことだった。

午後1時から自民党土地改良推進議員連盟の総会・研修が行われた。ため池改修等について、国における特措法や取り組みの状況について、宮崎まさお参議院議員から話を聴き質疑が行われた。その後も幹事長室で執務。同僚議員との情報交換や当局、議会事務局からの説明などが夕方まで続いた。

東京で新規感染者が286名にのぼったニュースを受けて、Gotoキャンペーンの実施の行方も気になりになる。兵庫県下では16名（夕方時点）の感染が出ている。兵庫県では関西2府4県、近隣県をエリアとするキャンペーンを予定しているが、感染防止対策を実施しながら観光回復をしていくことが必要だ。

15. 播磨中央公園サイクルステーション竣工 ーさっそく愛好家がオープニングラン

2020年07月19日

18日（土）、梅雨の晴れ間となり、久しぶりに青空と強い日射しの一日になった。

10時30分から加東市下滝野の県立播磨中央公園の元テニスがサイクルステーションとして整備され、その竣工式が行われた。昨年9月の県議会で整備が決まり、急ピッチで駐車場や施設等の

整備が行われてきたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響でオープンが延びていた。今日、ようやく竣工式とオープンが県、市、観光協会、愛好家など関係者の出席の下で行われた。

竣工式では、主催者の上田北播磨県民局長が挨拶、続いて地元県会議員の私が、続いて安田加東市長、県自転車競技連盟会長の石井秀武県議が祝辞を述べた。引き続いて、テープカット、自転車愛好家によるオープニングランが行われ、ステーションから公園内の道路を走った。

メインステーションには休憩・フリースペース、トイレ、更衣室、レンタサイクル室などが配置され、利用者が交流したり、休憩することができる。駐車場も広く、試乗スペースもある。公園の第一駐車場南側にはサブステーションが設けられ、トイレがある。今年は、土日、祝日などにオープンし、利用できる。この播中サイクルステーションは県下最大規模でもあり、自然豊かな北播磨のサイクルツーリズムの拠点として多くの人々に親しまれ、活用されていくことを期待したい。

兵庫県下では今日も13人の新規感染者があった。大阪での感染者が増えているようだ。



16. 滝見橋開通式

—90年の歴史に幕を閉じ新橋にバトンタッチ

2020年07月20日

19日（日）、今日も朝からよく晴れ、クマゼミが激しく鳴いて、夏がやってきたような日だった。

9時過ぎに加東市上滝野の滝見橋西詰の開通式会場に。時間があり、元公衆浴場跡地の公民館2階の控え室から2本の滝見橋を眺めた。91年前の昭和4年（1929）に架けられた滝見橋と令和の時代のはじめに新しく架けられた新しい滝見橋がそろって見え、感慨深いものがあった。

10時から滝見橋竣工式典が行われた。仮設テントの式典会場には、藤井ひさゆき衆議院議員はじめ兵庫県出身の6人の衆参国會議員、地元県議の私、小紫加東市議会議長はじめ市議会議員、主催者である加東市、近畿地方整備局、姫路河川国道事務所、兵庫県などの

行政、地元上滝野、新町地区区長さんらが出席して、感染防止対策がとられた中での式典が開催された。

この事業は「加古川中流部緊急治水対策」として行われ、合わせて、都市計画道路滝野梶原線の拡幅、滝見橋新設の大工事が行われたもの。国道175号新町地区から加古川右岸の上滝野地区



県道までの区間の道路整備と新滝見橋の架設という大工事で立ち退き移転など、地元の方々の協力で今日の完成を見ることができた。新橋は旧橋の下流部に接して建設され、橋脚も旧橋の5本から2本に減り増水などで流れを妨げない形になっている。また、橋の高さが2メートル以上高く上げられており、復員も13メートル、両側に歩道が付けられ、通行、増水時でも安全性が高くなっている。右岸の上滝野側では、これから築堤工事が行われる。旧橋は90年余の役目を終え、今日の午後3時から通行止めとなり、新橋にバトンタッチされる。旧橋には通学路としている滝野東小学校の児童が書いた感謝の横幕が張られていた。

式典後、出席者と地元住民の皆さんが参加して、滝見橋の渡り初めが行われた。まぶしいほどの夏空が広がり、加古川の清流が光る絶好の日和の下、テープカット、鏡割りが行われ、全員で橋の上でドローンによる記念撮影を行った。



喜びに包まれた開通式が終わり、私たちは左岸の新町交流会館で加古川河川改修の促進のための予算確保に向けた要望会に臨んだ。衆参国會議員、近畿地方整備局に対して安田加東市長から要望が行われ意見交換を行った。

17. 臨時県議会(第350回)で慰労金など補正予算可決

2020年07月28日

27日(月)、8時30分頃登庁。さっそく、45分から自民

党県議団執行部会議。9時から議会運営委員会、9時30分から自民党県議団総会が行われた。

10時、臨時県議会が開会。今臨時会は、昭和22年5月の第1回から数えて350回目となる節目の議会となり、議長の開会の挨拶、知事の提案趣旨説明の冒頭でそのことに触れた。今臨時会には、国の補正予算を受けて、新型コロナウイルス感染症対策として、医療従事者や介護事業者等に対する慰労金、感染拡大防止対策の強化、観光誘客の促進など、総額473億3千万円の補正予算案が提出された。知事の提案趣旨説明を受けて、各会派からの質問が行われた。我が自民党からは、副政調会長の戸井田ゆうすけ議員が登壇し、補正予算について込めた思い、慰労金の支給対象拡充、医療・検査態勢の備えの3点について質した。続いて、関係常任委員会での付託審査が行われ、午後1時から再開された本会議で、全会一致で可決された。

本会議終了後、幹事長室で執務。3時30分から自民党文教部会勉強会が行われた。「未来の高校教育のあり方」について活発な意見が出された。退庁したのは午後6時前だった。

26日（日）に、49名という1日の感染者数としては過去最多となったため、今日の数が心配だったが、12名にとどまった。ただ、週後半に感染者増になっていることを考えると心配は治まらない。感染拡大への備えを拡充しつつも、兵庫スタイルを徹底し拡大防止に努めていくことが必要だ。

18. 自民党兵庫県連大会に代わる総務会 感染拡大期2段階に

2020年08月02日

1日（土）、朝は涼しく、夏らしい一日の始まりだった。台湾の李登輝元総統が亡くなり、あらためてその存在の偉大さに思

いをはせる。来日された時、大阪で講演を聴いたことがある。日本への熱い思いを持って語られた姿に感銘を受けたことを思い出す。

事務所では新聞スクラップの整理などをし、12時に自民党加東市支部の役員さ



さんと神戸市に向かった。市内のホテルで県連大会に代わる総務会が開かれ、優秀党員の表彰や役員人事、当面の活動方針などが承認された。私は筆頭副幹事長に、政務調査会長には内藤兵衛県議が就任した。会長は谷谷一衆議院議員の続投が決まった。

兵庫県下では今日32人の新規感染者が出て、感染拡大期2のフェーズに入った。総務会に来賓として出席し挨拶に立った井戸知事はそのことに触れて、県では午後3時から対策本部会議を開くと述べた。急速な勢いで感染拡大は続いており、今後も増えていくことが予想される。県では、さらに次の段階を考え、対策を強化していく必要があるだろう。

19. 終戦75年兵庫県戦没者追悼式 各党派代表者会議

2020年08月05日



4日（火）、今朝も登校見守りに立ってから県庁に向かった。9時30分過ぎには登庁。さっそく、議会事務局との打ち合わせや登庁している同僚議員との情報交換などであっという間に時間が過ぎた。

午後2時から県公館で終戦75年の兵庫県戦没者追悼式が行われた。式には遺族会はじめ、知事、国会議員、県議会議員、市町長らが出席し、戦没者の御魂に対し、祈りを捧げた。会場は席の間隔を取り、出席者もマスクをするなどの感染防止対策が取られた中での式となった。国歌は独唱だった。式の間、戦死した母方の叔父二人の名前を、また、今、友人が硫黄島に眠る英霊の遺骨発掘をしていることも思い浮かべていた。戦後生まれの国民が8割を超えて、との知事の言葉にあらためて、戦争の真実の解明、まだ終わっていない戦後の諸問題があることを忘れてはならないと思った。

3時10分から各会派代表者会議が行われ、議員感染とその対応等について協議を行った。保健所の調査の結果、すなわち濃厚接触者は感染した議員と同一会派（維新の会）の議員4名に限定されたこと、本会議場での濃厚感染はないとすることを公表すること、議員のPCR検査については受検したい議員は自身の判断で行うこととした。引き続き、議員互助会理事会が行われた。

今日は新規感染者数は32人だった。

20. 政調会1日目 政調理事会も

2020年08月07日



6日（木）、朝の登校見守りに立ってから県庁に向かった。朝からセミが鳴き、暑い夏の朝だったが、子供達は登校しているのが今年の夏の風景だ。今日は日傘を差している子供も少なかった。

9時30分過ぎに登庁。10時から政務調査会が始まった。例年と違い、密を避けるために7階の大会議室で開催した。今日は企画県民部、健康福祉部、農政環境部、県土整備部、病院局、企業庁の順で、今年度の主な施策の進捗状況の説明と質疑が行われた。昼の休憩時には自民党県議団の政調理事会も開かれ、9月に行う重要政策提言について協議を行った。政調会1日目が終わったのは午後5時だった。幹事長室で議会事務局や当局と話して退庁したのは午後6時頃になった。

帰り道、加東市内の知人宅に県政資料を届け、また、帰宅中の知人と立ち話になった。夏の夕暮れ、畑仕事や田圃から作業を終えて帰る人との話題は、コロナやイノシシの被害のことだった。今日の兵庫県下の新規感染者数は61名。2番目に多い数字だ。

21. 県立歴史博物館―「驚異と怪異」の世界へ

2020年08月13日

12日（水）、朝の内に事務所に行き、そのあと、兵庫県立歴史博物館（姫路市）へ。同館では、特別展「驚異と怪異」が行われており、会期も終わりに迫っていたのでこの機会に見ておきたいと思い立った。入館には、来館登録、検温、マスク着用、そして入館者数制限と感染防止対策がとられていた。短い夏休み、お盆休みということもあってか、子供連れ、若い人のグループも多く見られた。洋の東西を問わず、人間は、いわゆるモンスターを作り上げ、身近な存在として、話し、姿を描き、形にしてきたということがよくわかった。河童も天狗も人魚も鬼もその他の怪物も小さい頃から、よく話に聞いたり、読



んだりして、その存在を半分信じてきた。疫病を払うというアマビエの展示もあった。多くの人がその前で足を止め、見入っていた。写真は「件」(くだん)の剥製。唯一写真撮影が許可されている。半人半牛で、疫病などの難を逃れるらしい。もう一つはアマビエ。

猛暑が続き、外で活動するには確かに危険を感じる。夕方、伸び過ぎているナンキンハゼの枝を切ったが、すぐに全身汗でびしょ濡れになった。今日、気になっていた兵庫県下の新規感染者数は36人。約3分の2が神戸市となっている。とにかく、兵庫スタイルで感染防止対策に一層努めながら経済活動、日常生活を続けていくことが大事だ。

22. 猛暑今日も 加東で一日

2020年08月15日



14日(金)、今日も昨日以上の猛暑だった。テレビがいう「危険な暑さ」だ。それでも午前中は家の片付けをした。午後は読書に没頭。来客、義母のリハビリがあったぐらいで夕方までひたすら読み続けた。

東京の先輩から昨年の靖国神社崇敬会講演録が送られてきた。明日は終戦75年。今年の全国戦没者追悼式は規模縮小で行われるとのことだ。新聞等では、遺族の高齢化で忠魂碑をはじめ戦争の慰霊施設の維持管理が難しくなっていると報じられている。また、戦争時代の記憶の継承も同じように難しくなってきた、と。終戦から75年が経ち、戦後生まれも3代目、4代目になりつつある。記憶が薄れていくのは仕方のないことでもある。しかし、

あの大戦争の記憶を私たちは忘れてはならない。遠くなったとは言え、まだたった75年前のことだ。地元の忠魂碑の前に立つと、そこには明治維新以来の戦いで戦病死した郷土兵の御尊名が刻まれている。頭を垂れ、英霊の御霊に鎮魂と感謝の祈りを捧げる行為を通して記憶は生き続ける。そんな思いで手を合わせ、草を引き、生垣の剪定をしている。忠魂碑は遺族だけのものではない。遺族はもちろん、郷土、祖国のために戦い、戦死された方々に対して、みんなが感謝し祈るための施設だ。各家の墓に参るのと同じように、郷土の共通の墓碑として守っていくべき施設だと思っている。

県政資料シリーズⅡでは、終戦70年で「加東市内の忠魂碑・慰霊塔」を特集した。あれから5年が経ち、今年は75年。明日も忠魂碑の前に立つ。

23. 県庁執務の一日、夜は秋祭実行委員会

2020年08月19日

18日（火）、今朝も登校見守りに立ってから県庁に向かった。9時30分には登庁。一日、幹事長室で執務した。

議会事務局との打ち合わせや登庁している同僚議員と情報交換、調べ物などで時間が過ぎた。外は今日も猛烈な暑さが続き、換気のために少し開けている窓から熱風が吹き込んでくる。写真は、登校風景。今朝は日傘が目立った。



今日の兵庫県下の新規感染者は24名。週半ばの状況が気になりだが、このまま減少に向かうことを祈るばかりだ。今日から、

コロナ対策本部の事務総長の金澤副知事が各分野の現場の声を聞く取り組みが始まっている。

午後6時過ぎには加東事務所に戻り、7時から地元佐保神社秋祭り実行委員会に上組太鼓屋台の代表として出席した。主な議題は秋祭りの実施に関することだったが、屋台、獅子舞、宵宮芸能大会等、各関係者からはコロナウイルス拡大防止対策を取りながらの秋祭りの実施は困難としてやむなく中止との意見で一致した。10月16日の例大祭の神事のみの実施が決まった。

24. 警察常任委員会、コロナウイルス対策勉強会など

2020年08月20日

19日（水）、10時前には登庁。10時30分から警察常任委員会が開かれた。閉会中の調査事件として、「少年の非行防止と健全育成に向けた総合対策の推進について」調査を行った。担当部長からの説明に続き、質疑が行われた。私は、1点目、少年の薬物乱用、とりわけ増加している大麻について現状、対策について、2点目、少年の非行防止対策にあたっている少年サポートセンターについて、設置、活動等について質問した。その他、特殊詐欺、暴走などについて各委員からの質問が続いた。また、警察官のコロナウイルス感染の状況と対策についての質問もあった。

午後1時30分から自民党県議団健康福祉部会の勉強会が行われた。「新型コロナウイルス感染症対策」について、医師・衆議院議員の大隈和英氏（自民党・大阪10区）を講師に招き、これまでの状況、対策、今



後の課題について講演いただいた。医師としての専門敵立場からの新型コロナウイルスの認識、これまでの感染状況の分析、今後の医療の課題についての話に加え、政治家としての国や自治体の対策、課題について、法改正を見通した課題を指摘され、大いに参考となった。また、氏は、兵庫県の取り組みを国も高く評価していることにもふれ、自治体の取り組みの重要性を指摘された。

午後3時から、自民党県議団総務会が行われた。その後も当局の説明や同僚議員との情報交換などで退庁したのは5時30分頃だった。今日の兵庫県下の新規感染者数は49人。加東健康福祉事務所管内でも2人の感染があった。

日が沈む頃、加東に戻り、田圃の水を見た。しばらくの間、農道に立って西の地平線に沈んでゆく夕日を眺めた。

25. 加東健康福祉事務所管内で新規感染6人

2020年08月22日

21日（金）、今日の兵庫県下の新規感染者は39人。加東健康福祉事務所管内では6人の感染があった。小学生や介護職員の感染も含まれている。第2波の感染ピークは越えたとの認識が専門家から出ているという。そうであることを信じつつ、一層、感染防止に努めていくことが必要だ。

病院で診察を待つ間や事務所との往復の間、地元の方々と出会う。話題はコロナウイルス感染症の影響や健康などになる。特に諸活動の制限のなかで、身体面、精神面への影響や感染者への誹謗中傷への怒りといったことが多い。また、イベントや祭りなどが中止となり、あらためてそうした行事のもつ役割、価値について認識したという声も少なくない。3月1日に兵庫県で感染者が確認されてから、もうすぐ6ヶ月になる。感染者は累計2000人を超えた。退院者は約1700人、死者は49人、現在の入院

者は約220人余り、重傷者は14人。

26. 東条中学校から最後の体育祭の案内

2020年08月23日

22日（土）、今日も一日、猛烈な暑さだった。ごく近い距離にある事務所と自宅を往復するのも強烈な日差しと息苦しいほどの熱気を覚悟しなければならないほどだった。少し風が吹いているのが慰めだった。

今日も兵庫県下では33人の新規感染者が確認され、加東健康福祉事務所管内（北播磨地域）でも2人の感染があった。感染者があれば濃厚接触者が特定され、検査の結果、無症状でも陽性が出ることもある。しばらくはこうした状況が続くのかかもしれない。むしろ、この猛暑では熱中症による救急搬送者数が上回っていることが心配だ。

中学教師時代に女子ソフトボール部の顧問をしていた。真夏の炎天下のグラウンドでの練習では特に気温の上昇に気をつけていた。バックネットの裏の木陰にテントを張り、気温が地上1メートルで35度になったら練習を止めて休憩と決めていた。午前の練習が終わる昼前になると、気温は上がり、疲労も極限に近づくので危い。今から振り返ると、よくそんな状況でやっていたなあと恐ろしくなる。今はさらにコロナ対策もあり、部活動も大変だろう。

今日、加東市立東条中学校から秋の体育祭の案内が届いた。コロナの影響で学校行事が中止や規模縮小などで、来賓招待はなくなっている中、「案内」とは珍しい。読んでみると、小中一貫校になるため、今年の第45回体育祭が東条中学校としての最後になるとのことだった。これは是非参観しなければならないと思うところだった。

27. いつもなら行楽や盆踊りで賑わう頃なのに

2020年08月24日

23日（日）、朝から自宅の片付けなどをし、午後、買物に出かけたが、夕立に遭った。短時間だったが、激しい雨の中を車で通り抜けると、気温が一気に9度も下がった。立ち寄った直売所では、梨が並んでいた。いつもの年なら、まだ学校の夏休み中で、日曜日の行楽地などは最後の夏を楽しもうと多くの人出がある。しかし、コロナの影響で車も少ない。また、加東市内でも夜は盆踊りが行われるのだが、今年は静かな夏になってしまった。

今日、兵庫県下では24人の新規感染者があった。加東健康福祉事務所でも2人が感染。マスク・手洗い、蜜を避けての行動様式は身についてしまっているが、今のところ、個人生活では、この徹底しか有効な対策はない。

28. 自民議員団内に知事選挙等検討調査会設置

2020年08月25日

24日（月）、10時執行部会議。9月議会に向けたスケジュールなどを確認したのち、当局説明などを受けた。11時から関西広域連合連携協議会が行われ、9月議会提出議案の説明などを受けた。

午後1時から、「地域代表選出のあり方検討会」が開かれた。今日はその第1回で会長、副会長を選出し、今後の進め方などについて協議が行われた。続いて、1時30分から9月議会の1ヶ月前議会運営委員会が開かれた。2時から自民党議員団総会。議運の結果報告が行われたあと、来年夏に予定されている知事選挙等検討調査会の設置が了承された。今後、14名の委員によって、これまでの県政の評価、次期県政への課題、知事選に向けた動向の調査、検討を行い、議員団として知事選挙に向けた態度を決め

ていくことになる。

午後3時から、県議会政調懇話会が行われた。51回目を数える今回の講師には日銀神戸支店長の長江敬新氏を講師に招き、コロナウイルスの影響と日本経済、兵庫県経済について講演いただいた。さまざまな指標を示しながら、日本経済、兵庫県経済の現況について解説され、兵庫の強みを生かした経済回復への視点などを示された。

懇話会終了後、幹事長室でマスコミ関係者に知事選挙等検討調査会設置の発表を行った。その後も当局説明や同僚議員との情報交換などが続き、退庁したのは午後6時を回っていた。

今日、兵庫県下では8人の新規感染者があった。一桁は久しぶりだが、休み明けの数字なので、週半ばの数字を注目したい。それにしても第2波のピークは過ぎたのかなと思える数字だ。ここで気を緩めるわけにはいかない。8人のうち1人は加東健康福祉事務所管内だ。

29. 農政環境常任委員会が北播磨県民局で調査 ―地元議員として出席

2020年08月26日



25日(火)、事務所に寄ってから、北播磨県民局のある兵庫県社総合庁舎へ。

今日は、今年最初の県議会常任委員会の管内調査が行われ、農政環境常任委員会が東播磨地区の調査の一番目に訪れたのが、北播磨県民局だった。コロナの影

響で、農政環境関係の現地調査等はなく、北播磨、東播磨、淡路の3県民局での調査を行い、1日に縮小されている。私も本来なら、警察常任委員会の管内調査で阪神地区を回っている筈が、明日1日に短縮されたため、今日は地元議員として県民局での調査に出席した。

調査会場は県民局別館の4階会議場。委員席、当局席にはアクリル板の間仕切りが設置され、窓を少し開けて換気を行いながらの対策がとられた。説明と質疑では、やはりコロナの影響と対策で、山田錦、黒田庄ビーフはじめ農産物の生産や販売への影響、ため池の維持管理などに話題が集中した。北播磨県民局管内の農産加工品や山田錦を使用した日本酒などの販売を支援する県民局の取り組みについても説明があった。県庁でも人気で、この機会に北播磨の特産物の良さを味わうことができる。

今日は県下で23名の新規感染者があった。神戸市や尼崎市などの政令、中核都市を除いて、県の健康福祉事務所関係では、伊丹と加東の2健康福祉事務所でそれぞれ2,1名の感染が確認されている。

文科省がコロナ禍での差別や中傷に対するアピールを行った。コロナ感染への恐怖心が感染者や関係者への攻撃へと向かったり、噂、デマの拡散につながっている。テレビで報じられる事例のみならず、身近にそうした類いの噂、～らしいという話を耳にすることもある。そうした時に「それは本当ですか？」の一言が必要だ。「いや、聞いた話だ」「みんながそう言っている」との答えが返ってくる。子供は大人の会話に敏感だ。先生や親、身近な大人の何気ない言葉を子供が信じたり、真似ることが多い。まず大人がしっかりしなければ。

30. 警察常任委員会調査を県庁で ーコロナの影響で変則実施

2020年08月27日

26日（水）、10時から7階大会議室で警察常任委員会の管内調査が行われた。本来なら、2日間にわたり、阪神地区の各警察署、警察関係施設などを訪れ調査を行うところが、コロナの感染防止対策のため、やむなく県庁で行うという変則的な実施となった。広い7階会議室に各署から署長ともう1名の各2名が出席し密にならないようにし、委員席はアクリル板で間仕切りするなどの対策がとられた。

全部で14警察署を2,3署ずつ、50分で署状概況、各署の課題等の説明と質疑を行い、午前に2こま、午後3こまで行った。各署のコロナ感染防止対策、暴力団対策、自転車事故対策など阪神間の都市部に共通する課題等についての質疑が多かった。私からは、コロナ対応のなか、緊張の続く活動で、警察官のストレスとその対策等について質問を行った。

終了したのは午後4時。今日は昼の休憩時、終了後にも来客があり、また、同僚議員との情報交換などで退庁したのは午後5時を回った。今日の県下の新規感染者は28人だった。

31. 安倍首相辞任に残念な思い ーまずは治療に専念してください

2020年08月29日

28日（金）、今日は社小学校の1学期の終業式。登校見守りに立った。暑い特別な夏だったが、子供たちは毎日元気に登校した。こんな夏があったかと、今年だけの思い出になることを願うばかりだ。

10時から加東市下久米の県立嬉野台生涯教育センターの講堂



で北播磨地域政策づくり懇話会が開かれ出席した。北播磨地域5市1町の首長、議長と県議会議員が出席し、井戸知事と懇談を行った。コロナ感染対策のため、広い講堂に口の字形に配置された長机に間

隔を空けて席が設けられた。西脇市から順に首長・議長が市の課題や県への要望、提案などを行った。続いて県議会議員が意見を述べ、最後に井戸知事が各市町から出された話題に丁寧に答えていった。コロナの影響、コロナ後の社会を見据えた話を中心になった。(写真)

午後、「安倍首相辞任の意向」というニュースが流れた。えっと驚いた。午後5時から予定されている首相記者会見では、コロナ対策と自身の健康について話し、引き続き頑張っていくと話すとの予想だったので、突然の辞任報道に驚くとともに、残念無念の思いでいっぱいになった。潰瘍性大腸炎が相当悪化していたんだろうなと思うと同時に、責任感の強い首相なのでさぞ無念だろうと思った。経済回復、憲法改正、拉致問題、日米同盟強化等々日本の直面する困難な課題に真正面から頑張ってくれた安倍首相だけに本当に残念だ。安倍首相はいつも全力で政務にあたってくれただけに、再発した病気の治療を行いながら首相としての責務を全うすることはできないと判断されたようだ。安倍首相は、会見の中で何度も「痛恨の極み」という言葉を使われた。「政治は結果」と常に言ってきた首相だけに、その思いを実現できなかったことへの無念さがにじみ出ていた。しかし、首相が積み上げてきた日本の安全保障、経済回復、憲法改正、拉致問題等への方

向性は確かであり、今後はこれを引き継いで実現に向けて進めるとともに、地方創生、少子対策などの残された課題に全力で取り組んでいかなければならない。コロナとの戦いの最中であり、政治空白をつくらず、迅速に後継者を選出し、国政を前に進めていくことが大事だ。安倍首相には7年8ヶ月という長期のお役目お疲れ様でした。病気治療に専念され、一日も早く回復されることをお祈りいたします。そして、日本のために再びご活躍いただくことを念願しております。

32. 首相辞任から一夜明け

2020年08月30日

29日（土）、安倍首相辞任会見から一夜明けて、新聞・テレビは辞任報道一色だった。突然の辞任会見には、政界はもちろん、各界、国民、海外でも衝撃をもって受け止められた。その病状や長期政権の評価についての報道とともに、関心は後継選に集まりつつある。

自民党では9月15日（頃）に党大会に代わる両院議員総会を開き、総裁選挙を実施するとの方針のようだ。総裁選挙は、規定により、国会議員と各県連代表3人が投票する方法で行われるということだが、兵庫県連では、党本部に対して党員の投票により選挙を行うよう緊急要望を行うとの連絡があった。どういう形で党員の意思が生かされるのか。自民党総裁選は総理大臣選でもある。有力な後継候補の指導者としての人物、政策等について、党員がじっくり判断し選ぶことができる機会とするとともに、国民への支持を広げる機会とすることが大事だ。特に緊迫する日本の安全保障、コロナ対策、経済回復をはじめ、懸案である憲法改正、拉致問題、北方領土問題の解決、皇室の安泰等について安倍首相のもとで自民党が積み重ねてきた取り組みを継続し、仕上げ

ていく指導者を選ぶことが政権党である自民党の責任だと思う。

今日も危険な暑さの一日だった。県下の新規感染は20人。この暑さの下でもマスク着用は日常になっている。「真夏にマスク」は今年だけにしたい。安倍首相が辞任しても、私は「アベノマスク」と揶揄された厚労省配布の布マスクを使い続けている。まれに「アベノマスク」をしている人を見かけるが、肌触りはいいし、息苦しさもない。洗う度に縮んでいるような気もするが、いつの間にか「日常」になっている。

33. 危険な暑さの一日だった

2020年08月31日

30日（日）、朝からきびしい暑さで、日中に外に出るのは危険を感じるほどの暑さだった。事務所と自宅は30メートルほどの距離だが、熱風の中を歩いているようだった。午後4時30分頃、雷鳴が響き渡った。事務所の外に出てみると、真っ黒になった東の空に稲妻が走った。しばらくして雨が降った。ほんの10数分間だったが、待ちに待った雨が降った。雨が上がると、吹いてくる風はほんの少し涼しくなったように感じた。夕方のニュースで、西脇市で39.2度が記録されたと知った。

コロナ後の社会についての新聞スクラップ記事をまとめて読んだ。各界を代表する識者の見解には納得させられることが多くあった。新型コロナウイルスという見えない敵との戦いの最中であり、この戦いがいつまでつづくのかもわからない。1年なのか、数年かかるのか、専門家の意見もさまざまだ。安倍首相は記者会見でコロナ対策の見直しも発表した。少しずつ見えてきたウイルスの正体を見きわめながら、医療体制の崩壊を防ぎ、社会活動、経済活動を継続していかなければならない。そうしたなか、感染者への差別や中傷などの問題が起きているのは残念だ。感染への恐怖心

がそうした行為をさせてしまう原因の一つだろう。感染したら大変だという気持ちは否定できない。しかし、誰でも感染する可能性はある。感染しても治療を受けて回復し元の生活に戻っていける。感染者に対してはもちろん、ましてやその家族、職場への差別、中傷、攻撃は絶対してはいけなし、許してはいけなしことだ。そのためにもコロナへの過剰な恐怖心を抱いたり、煽るような行為をしないよう自ら気をつけるとともにさまざまな情報の真偽を冷静に判断することが必要だ。

今日は県下で新規感染者は13人だった。週が明け、月が変わって、感染が収まっていくよう願うばかりだ。

34. 憲法改正へ継続した運動を

2020年09月01日



31日(月)、9時30分には登庁し、10時から執行部会議。日程確認や9月議会に向けた準備などを打ち合わせ、引き続き、防災企画部門から説明を受ける。

11時過ぎから美しい日本の憲法をつくる国民の会及び兵庫県民の会の代表らを迎え、憲法改正への国民運動の展開について意見交換を行った。つくる会の議員、執行部が出席し、改正運動の現状や今後の運動について国会や地方議会、全国の動向についての報告を聞いた。その後の意見交換では、安倍首相の辞任表明を受け、憲法改正運動を後退させてはならない、感染症を含めた緊急事態条項の検討をするべき、国会での憲法審査を前に進めるべき、など意見が出た。県内

では、尼崎、姫路、西宮の各市をはじめ、神戸市会、県議会で意見交換が行われた。

午後も議会事務局や当局、自民党県連との打ち合わせ、同僚議員らとの情報交換、新聞記者の取材など、幹事長室で執務した。

自民党兵庫県連では、県内党员による総裁選挙の投票を行う準備に入った。総裁選びは、党员、国会議員の選挙によって行われるのがよい。政策で次期総裁を選ぶ、党员が参加する、そのことによって国民に広く支持を広げることができる。誰彼に有利不利という思惑ではなく、そうした手続きを踏むことが政権政党である自民党のあるべき姿だと思う。

今日は県下の新規感染者数は8人だった。休み明けは検査数も少なく、したがって感染者数も低く出る傾向がある。一喜一憂していないが、感染拡大の傾向を見るには一番わかりやすい。

35. 山田錦・東条川疎水が「明日への選択」に特集

2020年09月03日

日本政策研究センターの発刊する全国情報誌「明日への選択」

9月号に『「酒米の王様・山田錦」を支える東条川疎水』の題

で、記者の現地リポートが掲載された。

6ページにわたる記事には、鴨川ダム

や曾根サイフォン、山田錦生産者の写真とともに記者を案内した私の写真も掲載されていた。何よりも表題の東条川疎水の紹介、



山田錦の魅力について、現地取材ならではの体験、実感が伝わってくるレポートに仕上がっていた。

今年1月に記者が訪れ、1日かけて東条川疎水流域のダム、ため池、サイフォン、分水施設、県の酒米試験地・研究交流館、山田錦特A地区（加東市）、生産者、神社仏閣などを案内した。全国の読者に兵庫県北播磨が主産地である山田錦と東条川疎水の魅力を知ってもらい、関心が高まれば嬉しい。

36. 友好団体との意見交換会

2020年09月04日



3日（木）、9時前には登庁。今日は自民党各種友好団体との政策にかかる意見交換会の第1日目。

9時30分から自民党議員団の4階の3会場同時進行で、夕方5時まで13コマ、計34団体との意見交換を行った。来年度予算要望が中心だが、やはりコロナ対策に関する要望が多くを占めた。明日も38団体が出席し、計72団体との意見交換を行う。

今日の県下の新規感染者数は14人。減少傾向がはっきりしてきた。新規感染者が1桁まで減り、それが続けば感染小康期になり落ち着くのだが。とにかく、経済社会活動を回復させていけるようみんなで頑張るしかない。

37. 東条中最後の体育祭

2020年09月13日

12日（土）、今日は、加東市立東条中学校の第45回体育祭



が行われ、久しぶりに学校行事に出席した。

来年度、東条地域の2小学校と東条中学校が小中一貫校の東条学園として開校することになっているため、東条中学校として体育祭を開催するのは今回が最後と

いうことで、ご案内をいただいた。

規模を縮小し、参観も保護者だけという形だったが、生徒の溢れるような若さ、パワー、生徒と先生が一体となった東条中の校風が感じられた素晴らしい体育祭だった。いつもなら市内4中学校同日開催のため、最後まで見ることはないが、今回ははじめから終わりまで目に焼き付けさせてもらった。

今日の県下の新規感染者数は20人だった。体育祭の来賓席のテントでもコロナの影響に関する話題が多かった。聞こえてきた会話の中に「こんな状況になって、はじめて人が寄る（集会など）ことが、実は大切なことやったことがよくわかった」という言葉があった。その通りだと思った。特に高齢者の方は外出機会が減り、生活の中で人との出会いが減り、体はもちろん、精神的にもいろいろマイナスの変化が表れてきている。早く日常を取り戻していかないと。

38. 井戸知事へのコロナ対策緊急要望 自民党総裁選

2020年09月15日

14日（月）、今朝はクーラー要らずの涼しい朝だった。登校見守りに立ってから県庁に向かった。9時30分には登庁。10時執行部会議。11時から井戸知事に対して、自民党県議団とし



て、コロナ対策について緊急要望を行った。自民党県議団では、先に各種友好団体との意見交換会を行ったが、各団体からの要望をまとめ、緊急の要望を行った。懇談で、井戸知事は、要望の内容をよく検討し施策に反映していきたいと答えた。

11時40分から財政課からの説明を受けた。

今日は自民党の総裁選挙が行われた。午後2時から両院議員総会が行われ、その様子を幹事長室で見守った。投票の結果、地方票、

国会議員票とも菅義偉氏が圧倒し、新しい総裁に決定した。2位は岸田文雄氏、3位は石破茂氏だった。兵庫県連の3票は、菅氏が2票、石破氏が1票だった。コロナ対策、経済対策への期待と安倍政権での官房長官の実績が菅氏への評価につながったと思う。新総裁は「国民のために働く内閣をつくる」と決意を述べた。菅新総裁の下、国民、県民のために働く自民党として山積する課題の解決に向かっていきたい。

夕方まで幹事長室で執務。議会事務局や当局からの説明が続いた。今日は県下の新規感染者は8人。井戸知事もなかなか小康状態にならないとここしばらくの感染者数の動きが気になっていたようだった。

39. 知事へ重要政策提言

2020年09月16日



15日（火）、今朝も涼しい空気に包まれていた。朝の登校見守りに立ってから県庁に向かった。

9時過ぎに登庁。9時40分に自民党政調理事会のメンバーが集合し、簡単な打ち合わせを行ったのち、10時から7階大会議室で「令和3年度当初予算編成に対する重要政策提言」を知事に行った。今年は、例年と違って密を避けるために大きな会議室で行われた。



自民党県議団では、井戸知事に対して、6つの最重要課題、47項目の重要政策についての提言をまとめた。水田政調会長、各部会長からその要旨を説明し、その後、質疑では、きびしい県財政、県庁舎建設、建設業界の若手人材確保、慰労金の拡充などが話題になった。提言後、県庁記者クラブで記者発表を行った。

午後も幹事長室で執務。当局や議会事務局、同僚議員らと情報交換などを行った。明日は、朝一番の各会派代表者会議に始まり、常任委員会、議運、議員団総会、政調理事会など夕方まで分刻みの予定が詰まっている。その打ち合わせなどもあり、9月議会を前にして慌ただしくなってきた。

今日の県下の新規感染者は24人。減少傾向が見えていたが、

小康状態のレベルまで下らない。

40. 県庁で一朝から晩まで諸会議が続いた一日だった

2020年09月17日

16日（水）、今日は朝一番に会議が行われるので、8時30分には登庁。9時、各会派代表者会議（コロナ対策調整会議）が行われた。9時30分から警察常任委員会が開かれ、9月上程予定議案の説明、閉会中の調査事件として組織犯罪対策についての調査、さらに特定テーマ（災害時の警備活動）についての調査が行われた。

午後は9月議会1週間前の議会運営委員会、続いて、自民党政調理事会、議員団総会と会議が続いた。政調理事会では、代表質問、一般質問予定者が概要を発表し、全員で検討を行った。総会后、4時から県議会地域代表選出のあり方検討会が開かれ、現行の県議会議員定数について、過去の流れ、法的根拠等について調査を行った。午後5時から自民党県議団の知事選挙等検討調査会が開かれ、今後のスケジュール等の確認を行った。

県庁を出たのは6時30分過ぎだった。今日は朝から晩まで会議の連続だった。国会では、菅氏が首相に選出され、菅内閣がスタートした。西村経済再生相、赤羽国土交通相の2人の県選出議員は新内閣でも重要な役目を引き続き担当。コロナ対策と経済回復は国も県も喫緊の課題だ。9月議会では、約1900億円の県補正予算案が上程される。

今日は県下で20人の新規感染者があった。加東に戻ると、知人から加東市美術協会展の案内が届いていた。今月25日から27日まで滝野図書館で開催される。楽しみだ。

41. 交通安全県民大会 兵庫4区の藤井議員が内閣府副大臣に

2020年09月19日



18日（金）、10時前には登庁。さっそく、幹事長室で、警察本部、教育委員会、病院局からの報告を受けたり議会事務局との打ち合わせなどを行う。

午後は、県公館で行われた交通安全県民大会に出席した。今年は密を避

けるために来賓の議員出席は議長、警察常任委員長の他、各会派代表のみとなった。交通安全功労者と団体に知事感謝状が贈られ、キッズ保安官が任命された。

県庁に戻り、6時過ぎまで幹事長室で執務。連休明けの23日（水）は定例県議会の開会日。その日の議員団の会議の準備を行った。そうしていると、兵庫4区の藤井ひさゆき衆議院議員が菅新内閣の内閣府副大臣に就任のニュースが入った。デジタル庁や縦割り打破、規制改革などを河野大臣、平井大臣の下で担当するようだ。活躍を期待したい。

今日の県下の新規感染者は12人だった。世界では約3000万人が感染し、1日に約30万人の新規感染者が出ている。イベントなどの規制が緩和されるが、感染防止対策をしっかりとやりつつ社会経済活動を取り戻していくことが大事。

42. 秋晴れの下、東条西小、東小の運動会に

2020年09月20日



19日(土)、朝、運動会で登校する社小学校の児童の登校見守りに立ってから、東条西小学校へ。来年、東条学園小中学校が開校するため、東条西小としての運動会は今年で最後となるので、来賓のご案内をいただいた。先週の東条中学校体育祭も天気がよかったが、今日も秋晴れだった。128年の歴史を誇る西小も児童数は49人になっていた。出席していた同校卒業生の区長さんは、昭和40年代はじめには、学年だけで

80人はいたと話しておられた。入場行進の演奏は東条中ブラスバンド部、そして、東条中学生徒が自主的に運動会の補助員をつとめるなど、来年の小中学校開校の準備が進んでいるようだった。10種目に規模縮小しての開催だったが、児童は元気いっぱい演技を披露していた。

プログラムの半分を参観して、東条東小へ向かった。東小は児童が多く、270名以上とか。紅白対抗リレーも、低、中、高学年の演技も運動場が狭く感じるほど、迫力があつた。紅白対抗戦は僅差で紅組の勝利だったが、閉会式での紅白団長の挨拶はとてもしっかりした素晴らしいものだった。

43. 敬老の日、朝日に国旗が映える社の市街

2020年09月22日



21日（月）、爽やかな秋晴れの一日になった。

朝、日が昇った頃に市街を歩くと、加東市社の銀座通りに国旗が掲げられ、朝の光に白地と赤が映えていた。佐保神社から若宮町に至る道筋では、街灯に国旗を揚

げる町内の人の姿もあった。「敬老の日」の今日、我が家の玄関にも国旗を掲げて祝った。

新聞によれば、65歳以上を高齢者としたのはもう半世紀以上前のことらしい。当時の平均寿命は68歳だったとか。今では80歳を超える世界屈指の長寿国となった。この考え方でいくと、80歳以上を高齢者としてもよいのでは、などと思った。いずれにせよ、健康長寿が理想だ。高齢者を敬して「お達者で」の気持ちをもって接していきたい。

44. 第351回9月定例県議会が開会

2020年09月24日

23日（水）、9時過ぎに登庁。9時30分から自民党議員団の執行部会議。10時から議会運営委員会。次いで、10時30分から自民党議員団総会と、息つく間もなく会議が続いた。その間隙をぬって同僚議員と打ち合わせも。

11時、第351回9月定例県議会が開会した、本会議場はアクリル板の設置により、通常の議席に戻った。会期は10月22日までの30日間。井戸知事が登壇し、議案の提案趣旨説明を行

った。コロナ対策等についての報告や景気悪化で令和2年度の県税収入が当初の見込みより1000億円以上減る見込みを示した。今定例会には、コロナ対策など約1900億円の補正予算案やボーガン規制の条例案などが提出された。24、25日は議案熟読のため休会し、28日（月）に代表質問が行われる。

午後1時、今日2回目の自民党議員団総会が開かれ、代表・一般質問の概要が各質問者から発表され、質疑を行った。続いて、自民党議員団日台議員連盟の総会。2時から自民党議員団の知事選挙等検討調査会が開かれた。会議が終わり、一息入れることができたのは午後3時だった。その後も幹事長室や議員控え室で同僚議員と情報交換や諸打ち合わせがあり、退庁したのは午後5時過ぎだった。

台風12号の影響で秋雨前線が刺激され大雨が降るとの予報があったが、進路が東よりにそれたためか、雨は降らなかった。今日の県下の新規感染者は1人だった。連休明けで検査数も少ないせいだろうが、このように1桁の数字に収まってくれる日が早く来ないかと思うばかりだ。

45. 金澤副知事が講演—北播政経懇話会で

2020年09月26日



25日（金）、久しぶりの本格的な雨となった。合羽を着て登校見守りに立ち、その後登庁。

議会事務局との打ち合わせや同僚議員との情報交換、スケジュール調整などを行った。

午後4時から三木山森林公園内のホールで行われた北播政経懇

話会の例会に出席した。例会が行われるのも久しぶりだった。今日は、金澤和夫副知事が「兵庫の長期ビジョンと北播磨の未来－新型コロナを乗り越え、30年後の地域を創っていく－」の演題で講演を行った。会場の広いホールに間隔を空けて席を設けた感染防止対策がとられていた。

金澤副知事は、兵庫県の新型コロナ対策について、自宅待機をしなかったことやわかりやすい基準を設けて感染状況に応じた医療体制、感染防止体制を示すなどして、早期からしっかりコロナ対策に取り組み、一定の成果をあげてきたことを話した。

次に、コロナ後の社会変化を見据えながら、長期ビジョンが示す30年後の兵庫の姿について、北播磨地域の事例を取り上げて話した。人口減少下にあって増加する外国人との共生について、増加率の高い加東市でモデル事業に取り組んでいることや兵庫情報ハイウェイなど情報基盤の強化と企業誘致、地場産業を活かした若者や女性の活躍、山田錦の主産地北播磨を世界に発信する取り組みなどについて、時間をオーバーするほど熱心に語った。

例会を終えて外に出ると、雨は上がり、西の空が明るく夕日に映えていた。今日の県下の新規感染者は12人だった。

46. 加東市美術家協会展に

2020年09月27日



26日(土)、10時過ぎ、加東市滝野図書館のギャラリー「伝」で開催された2020加東市美術家協会展に。絵画、写真、工芸、書の各分野の作品が展示され、久しぶりにお出合いする方々との会話も弾んだ。入って最初の作品は「祭りの日に」と題された私、藤本百男の法被

姿の絵だった。岸本尚美さんの作品で、加東市制10周年の記念で市役所前に市内の太鼓屋台が集合した時の印象を描いておられることは聞いていたが、作品と対面してみると、何か不思議な感じがした。

47. 県会一般質問3日目 決算特別委員会委員に

2020年10月02日

1日（木）、8時30分には登庁。9時から議会運営委員会、9時30分自民党議員団総会が行われ、10時に本会議が開かれた。

今日は一般質問の3日目。午前は、自民の門間雄司議員（豊岡市）が登壇し、次に維新の徳安議員、午後は、自民の福島茂利議員（神戸市兵庫区）、共産のねりき議員、休憩再開で最後の質問者に自民の長岡壮壽議員（赤穂市）が立ち、行政のオンライン化や県庁舎再整備、DV被害者保護、認知症地域支援、医療人材確保について質した。これで一般質問が終わり、次に決算特別委員会が設置され、22名の委員が指名された。私もその一人。議案、請願が委員会に付託され、明日は本会議は休会、常任委員会の審査が行われる。

本会議終了後、決算特別委員会が開かれ、委員長に北浜みどり議員（自民・神戸市東灘区）が選出された。これで会議が終わり、幹事長室で整理や質問打ち合わせなどを行い、5時過ぎには退庁した。

今日は中秋の名月。加東に戻る頃には、空低く丸く大きい月が浮かんでいた。

48. 井戸知事が加東市秋津の山田錦の圃場を見学

2020年10月03日



2日（金）、9時過ぎに登庁。9時30分から県議会広報委員会が行われた。県議会だよりの構成やコロナ禍で議場見学に来ることができない小学生を対象にしたインターネットを通じての見学サイト案などの協議を行った。

10時30分から警察常任委員会が開かれ、付託議案の審査を行った。警察本部のWeb会議システム構築のための補正予算、暴力団排除条例の改正案を審査し、全員賛成で可決すべきものと決した。

その後は、幹事長室で執務。

県土整備部の説明を受ける。午後2時から決算特別委員会が開かれ、財政状況についての説明聴取が行われた。3時から自民党議員団内の知事選強等調査検討会が開かれた。

午後5時、雲一つない秋晴れの下、日が西に傾いた頃、加東市東条地域の秋津で稲刈りが始まった山田錦の圃場を見学した。井戸知事を招き、自民党酒米日本酒振興議連の役員と全農、地元JA関係者が生産者と懇談。昨日刈り取りが行われ、天日干しされた山田錦を前にしながら、生産者から今年の状況や生産の苦労などを聞かせていただいた。見学には、安田加東市長も駆けつけた。

井戸知事は、圃場見学に先立って加東市沢部にある県の酒米試験地の酒米研究交流館も訪れ、あらためて兵庫の宝である山田錦への思いを強くしたようだった。

49. 県会本会議で補正予算案やボーガン条例可決

2020年10月06日



5日（月）、朝の登校見守りに立ってから県庁に向かう。9時過ぎに登庁。9時30分自民党執行部会議、10時議会運営委員会、10時30分自民党議員団総会と会議が続いた。

11時本会議が開かれ、9月23日に提出された補正予算案やボーガン規制条例、暴力団排除条例改正案など26件、今日提出された教育委員会委員、公安委員会委員の同意人事案2件を可決した。

本会議終了後、自民党県議団政調理事会が開かれ、11月に予定している知事への令和3年度当初予算編成に対する申し入れの内容について協議を行った。昼のNHKのテレビニュースで早速ボーガン条例可決のニュースが流れていた。

午後1時30分から議会運営委員会が行われ、議会改革について協議を行った。引き続き、兵庫県議会公文書管理委員会が開かれた。常任委員会の記録方法の変更について協議。朝から続いた会議もようやく一段落した。同僚議員との情報交換や来客などがあり、5時から、自民党県連での会議に出席した。

退庁したのは午後6時。明日から決算特別委員会の審査が始まる。事務所に帰り、通信物などの整理をして一日を終えた。

50. 決算特別委員会②(企画県民部)で質問

2020年10月08日



7日(水)、9時30分から決算特別委員会が開かれた。

今日は企画県民部の審査で、午後6時前まで16人が質問に立った。私は最後に質問し、「ひょうご五国」

を掲げた広報活動の成果と課題をはじめ、5問について質した。

台風14号の進路が気になる。週末には近畿に近づくとの予報だが、稲刈り真っ最中の時期だけに雨や風が心配になる。帰りにはフロントガラスに雨粒が落ちてきた。

51. 加東の事務所で一日 祭りのカレンダーだけが…

2020年10月12日



11日(日)、一日を加東の事務所で過ごした。新型コロナウイルス感染がなければ、佐保神社秋祭りの本宮の日だった。朝から上組の太鼓屋台を巡行し、昼には宮入り、そして3時過ぎには下向、4時過ぎに倉に収める。そして落ち着きをしてという祭りの一日が今年は無くなった。今年は玄関に貼っている秋祭りのカレンダーだけの秋だった。

事務所で整理や調べ物をし、午後には気分転換で自宅の柿の実を採る。昨日と同じパターンの日だった。

52. 決算特別委⑤農政環境部の審査で質問

2020年10月13日

12日（月）、いつもより早めに県庁に向かう。9時から自民県議団執行部会議。9時30分から決算特別委員会が開かれた。

部局審査も2週目、後半戦に入った。今日は農政環境部の審査が行われ、10人が質問に立った。私は9番目に質問し、イノシシ対策、酒米生産、ため池改修、災害に強い森づくり、東条川疎水ネットワーク博物館の5問について質した。獣害被害対策については、他の議員からアライグマ、ツキノワグマについての質問もあった。

昼の時間に、自民県議団の決算特別委員と執行部で総括審査の内容についての検討が行われた。総会終了後には議会調査課との打ち合わせや来客もあり、幹事長室で執務した。退庁したのは5時30分頃だった。

53. 決算特別委員会⑦教育委員会審査で質問

2020年10月15日

14日（水）、朝の登校見守りに立ってから県庁へ。9時過ぎに登庁。9時30分から決算特別委員会が開かれた。

今日は教育委員会の部局審査が行われ、13人が質問に立ち、私は最後の質問者だった。

ふるさと意識を醸成する教育の推進（伝統文化の学習、兵庫ふるさと魅力発見）、コロナ禍と教員研修の充実、幼児教育の充実、道德教育の充実、コロナ禍、ポストコロナの兵庫型体験教育についての6問について質した。ICT教育、グローバル人材など新しい教育についての質問が多い中、人間教育の根幹に関わる課題について質問を構成した。

幼児教育の充実の質問で取り上げた県教育委作成の県下の幼稚

園、保育所、認定こども園に配布した幼児教育資料「すくすくひょうごっ子」（親子資料）は乳幼児期の子供の発達と段階に応じた保護者の関わり方などが書かれており、参考になる。ちょうど、2歳になったばかりの孫が来ていたが、実は孫育ての資料としても非常に役立つ。2歳ぐらいの幼児の行動を見ながら、その行動の意味を発達の観点から見直すと納得のいくことが多く、じいさんの対応もそれを妨げないようにすることができる。親である娘ともそんな話ができた。孫は今、恐竜と自動車（働く車）に夢中である。

54. 地元イベントや高槻市での研修会へ

2020年10月19日



18日（日）、9時、加東市河高にある滝野運動公園体育館スカイピアで開催された加東市家庭バレーボール連盟の選手権大会の開会式に出席し、ご挨拶を申し上げます。久しぶりのスポーツイベントでの挨拶だった。

そのあと、近くの河高交流センターへ。河高コスモスまつりが開催された。今年はコスモス畑の面積は少し縮小されていたが、赤や

白、ピンクの大輪のコスモスが咲き誇っていた。開会の前に畑に入り、少しいただく。親子連れやカメラマンの姿もあり、私も自撮り。10時15分過ぎに開会式が行われ、ここでもご挨拶申し上げます。コロナの影響でこうした地区イベントの開催はほとんど行われていない中、河高地区の皆さんが開催を決断され、恒例の

ラーメンやおにぎり、ゆで卵などのもてなしを準備され、訪れる人々を元気にされたことに感謝の気持ちでいっぱいだった。地区住民の意欲と結束がなければできないことである。感染防止対策も万全だった。

午後1時、大阪府高槻市内で開催された日本政策研究センターの近畿セミナーに出席した。近畿地方の地方議員や同センターの発刊する『明日への選択』読者ら75名が出席した。広い会場に席の空間を開けての開催だったが、こうした研修会への参加も久しぶりだった。憲法改正、少子対策など日本の直面する内外の危機をいかに捉え、課題解決に立ち向かっていくべきかについて講演と活動報告などが行われた。

中国道を高速バスで帰ってきた。昼前の下り、夕方の上り車線は長い渋滞が続いていた。きっと秋の休日を郊外の行楽地で過ごした人々が多かったのだろう。

55. 10ヶ月ぶりに手首のプレートがとれる

2020年10月21日



20日(火)、9時30分には、大山病院(西脇市)の整形外科へ。今日は昨年12月に骨折した右手首の骨を固定していたプレートを取りはずす手術を受けた。

骨折したのが昨年12月7日。救急車で大山病院に搬送され応急手当を受けた。9日には県議

会本会議で右手を三角巾で吊したまま一般質問に登壇。本会議閉会後の同月18日に手術を受けた。それから10ヶ月が経過し、ようやくプレートを取る手術を受けることになった。手術は約1

時間ほどだったが、取り出されたプレートとボルトをいただいた。医療ゴミにあたるので、廃棄する時は病院にお願いしなければならないが、それまで自分で保管しようと思った。写真の通り、足型のようなプレートに10本の長短のボルトで固定してあったのだと思うと、10ヶ月とはいえ、私の体の一部となってくれたプレートと対面し感慨一入だった。固定される時には見ていないので、今日が初めてのご対面だった。大山病院の皆さん、そして何かとご心配をかけた皆さん、ありがとうございました。おかげさまで回復いたしました。

56. 若人の広場(南あわじ市)で戦没学徒追悼

2020年10月22日



21日(水)、今日は「学徒出陣の日」で、南あわじ市にある「若人の広場」で追悼の祭と式が行われ、参列した。



眼下に福良の港、鳴門海峡を遠望できる大見山に「若人の広場」がある。午前11時から、大東亜戦争終結75年第26回全国戦没学徒追悼祭が行われた。神道青年会の神職が祭式を行い、井戸知事をはじめ、国会・県会・市議会議員、地元市長、自衛隊、防衛協会、遺族会、仏教、キリスト教、日本会議などの関係者が参列し、英霊の御霊に対

して鎮魂の祈りと感謝を捧げた。

午後1時30分からは、同じ場所で、終戦75年全国戦没学徒追悼式が行われ、主催者である県、遺族会はじめ、厚生労働大臣（代理）や午前の追悼祭に続いて、多くの人々が参列した。

式では、学徒出陣された元武庫川女子大学大学院研究科長の山内潤三氏（95歳）が追悼の辞を述べられた。また、自衛隊の中部音楽隊による献楽が行われ、「海ゆかば」「長崎の鐘」などが演奏された。鶴真衣さん（隊員）の美しい歌声が晴れ渡った大見山の空に響いた。

夜、地元の知人の通夜式に参列した。故人は、英霊の記録編纂の大仕事を完成された方だった。やしろ歴史民俗の会で、道標の調査でもご指導いただいた恩人であった。今日は追悼の一日だった。

57. 9月議会閉会 拉致議連総会で西岡氏講演

2020年10月23日

22日（木）、雨がぱらつく中を県庁に向かった。9時前に登庁。9時30分から県議会公文書管理委員会。10時から議会運営委員会。10時30分から自民党議員団総会と、本会議開会直前まで会議が続いた。

11時に本会議が開かれ、まず、教育委員、公安委員の新任者の紹介が行われた。決算特別委員長の北浜みどり議員（自民党・神戸市東灘区）の委員長報告に続き、討論、表決が行われ、令和元年度決算認定23件が可決された。次いで、補正予算案、条例会改正案、損害賠償の決定の3議案が追加提出され、井戸知事が趣旨説明を行ったのち、3案が委員会に付託され、本会議は休憩。委員会審議が終わり本会議が再開され、委員長報告に続いて、表決が行われ全員賛成で可決された。続いて、請願が一括上程され、

委員会審査報告、討論、表決が行われ、5本のうち、文教常任委員会発議の「高等学校等に対する私学助成に係る国庫補助制度の堅持及び一層の充実を求める意見書提出の件」1件が採択された。次に意見書案11件が採択された。こうして9月23日に開会した第351回定例県議会は閉会した。



昼は自民党県議団の決算特別委員と昼食。午後2時から自民党議員団北朝鮮拉致議員連盟の総会が開かれた。

総会后、西岡力氏（救う会会長・麗澤大学客員教授）から拉致問題の講演が行われた。「なぜ、こんなに時間がかかっているのか」「拉致が起きてから45年が経つ」との言葉から拉致事件と日本の対応について話され、「わかっていただのに救おうとしなかった」国の対応が間違っていたことを指摘された。約1時間にわたり、家族会の活動や北朝鮮に拉致されていると推定される約900人を一刻も早く救うことが私たちの使命と訴えられた。

58. 警察常任委員会で交通事故防止対策を調査

2020年10月27日

26日（月）、10時30分から警察常任委員会が開かれた。委員会では、閉会中の調査事件として「交通事故防止対策の推進」について調査を行った。担当部長から説明を受けた後、質疑が行われ、私からは後部シートベルトの着用状況と対策、横断歩道での歩行者優先と事故防止につてを質問した。特に横断歩道での歩

行者優先を徹底するためにも歩行者が横断の意思表示を示す方法として手を挙げることを提案した。（私たちは「手を挙げて横断歩道を渡りましょう」と教えられてきた）他県でもそうした取り組みが行われており、県警では小野と三田をモデル地区として実施するの答弁だった。休憩の後、午後1時から再開され、今年度の委員会の特定テーマである災害警備について、警察本部から説明を受けた。2回目の今日は、新型コロナウイルス感染症への対策、南海トラフ巨大地震への対策について、警察の災害行動、資機材などの説明を受けた。実際に災害で出動する際に警察官が使用する救助工具セット、重量にして約20キロの実物も見せてもらった。

その後、自民党商工議員連盟と県商工会議所との意見交換会、自民党県議団県庁再整備検討委員会に出席した。さらに同僚県議との意見交換会も続き、退庁したのは5時を回っていた。

59. 警察常任委員会の管内調査―但馬丹波地域

2020年10月31日



29、30日の2日にわたり、警察常任委員会の管内調査が行われた。今年は阪神地域に続いて2回目。コロナの影響で、阪神地域の調査は県庁で行い、今回の但馬丹波地域の調査もこれまで3日かけて実施して

きたものを2日に短縮して行われた。行程は次の通り。

29日（木）：神戸北署で有馬署の2署の調査。次に三田署で丹波署と篠山署の3署の調査。午後から丹波署の山垣（やまがい）駐在所（青垣町）の視察、朝来署で養父署の2署の調査、最後は



但馬運転免許センターを視察して一日目を終えた。

30日（金）：2日目は豊岡南署で豊岡北署、美方署の3署の調査。午後は美方署の村岡警部派出所、朝来署の朝来駐在所の視察を行った。

但馬では警察署の再編を前にして、県民の不安解消、初動捜査力の向上などの課題への対応などが話題になった。また、駐在所の視察では、高齢化の進む地域で生活しながら治安を守る警察官と支える家族の姿を見ることができた。

山垣駐在所で説明を務めた丹波署の地域課長はなんと、教員時代の教え子だった。また、豊岡南署の署長は社高校OBだった。故郷を遠く離れた地域でのこうした出会いは嬉しく、2人の頼もしい姿に感慨一入だった。

但馬丹波の山々はこれから紅葉の季節を迎える。

60. 兵庫県立農業大学校100周年記念式典盛大に

2020年11月02日



11月1日（日）、加西市常吉町にある兵庫県立農業大学校の創立100周年記念式典が挙行された。

大正9年に県立農事試験場農業技術員養成が開設されて以来、農業の技術者を育てて100年。約4700人が卒業してきた。

式典では、その歴史を動画で振り



返りつつ、この学校に学んだ青年農業者の農業にかける熱い情熱が今まで脈々と継承されてきたことが伝えられた。2年間の全寮制の生活は農業一色。ここ加西の地で、次代の農業を担う若き農業者が育っている。記念式典に先立って行われた記念モニュメントの除幕式では、加東市の和太鼓グループ夢工房の演奏が披露された。農業大学校の益々の発展と

若き農業者の活躍を祈る節目の式典だった。

61. シニアクラブのグラウンドゴルフ大会

2020年11月07日



6日（金）、朝、登校見守りに立った。子供達の服装からも秋の深まりを感じる。

8時30分過ぎに加東市社第3グラウンドへ。加東市シニアクラブ連合会の支部のグラウンドゴルフ大会の開会式に出席した。久しぶりにお出合いする方々が多く、皆さんお元気そう

だった。

開会式の挨拶では、コロナの新規感染者が増加していること、県の対策本部会議で話し合われたことなどにふれ、感染防止を呼びかけた。私の厚労省配布マスク（通称アベノマスク）で顔が大

きいのか、洗って使用し続けているせいで縮んだのか、そんな話題で笑いもあった。ゲーム開始前のラジオ体操では、シニアの皆さんの素晴らしい動きに感動を覚えた。

10時30分過ぎに登庁。夕方まで幹事長室で執務した。登庁議員は少なく、議会事務局調査課との打ち合わせや来室のマスコミ関係者や県幹部との懇談、事務整理などで一日が過ぎた。

県下の新規感染者が49人と多く、1週間の新規感染者数の平均が30人を超えお、感染レベルが一段上がり、感染拡大期1になった。クラスターの発生やほとんどが軽症者である。しかし、油断は禁物で、大人数での会食、マスクなしの大声での会話などには要注意だ。

62. 下滝野メモリアルウォーク、ばかぢからin加東

2020年11月09日



8日(日)、今日は立皇嗣の礼が挙げられる。朝、玄関に国旗を揚げてお祝いを表した。新型コロナウイルスの影響で延期され、縮小しての挙行となった。今上陛下の弟君の秋篠宮殿下が皇位継承第1位の皇嗣になられた。



8時30分過ぎに、加東市下滝野公民館へ。今日は加古川河川改修の築堤工事の関係で地区の景観が大きく変わるため、地区内の歴史を伝える建物や遺構を巡るメモリアル

ウォーキングが行われた。前半の阿弥陀堂、大正橋の遺構の見学まで参加させていただいた。

その後は、同じ下滝野地区のジムで行われた「ばかちから in 加東 雷神ファクトリー」会場へ。加東市パワーリフティング協会が主催し、パワーリフティングの競技、体験会などが行われた。

午後は、事務所で事務整理、社会福祉協議会へ県政資料シリーズを届けた。米大統領選挙は民主党バイデン候補の勝利演説が行われた。11月8日という日は、昭和47年（1972）、大学1年の時に起きた学園紛争のきっかけとなった事件の起きた日で、「11.8」としてその後の生き方に深く刻まれた日だった。

今日は県下の新規感染者は32人。気を緩めず、感染の拡大を防止していくしかない。

63. 井戸知事へ令和3年度当初予算申し入れ

2020年11月14日



11日（水）、9時45分から自民党県議団政調理事会、続いて10時から令和3年度当初予算編成について井戸知事への申し入れを行った。

申し入れに先立ち、9時から行われた新型コロナ対策本部会議の報告が知事、金澤副知事からなされた。

予算申し入れは6つの最重要提言と各部会からの計301項目からなり、提言及び意見交換を行った。コロナの影響による経済の停滞で、来年度の県税収入が約2000億円減るというきびしい予想の下、県民の命と健康、



安全を守り、ポストコロナを見据えた兵庫の活力を切り拓くため、選択と集中で必要な事業はしっかり取り組んでももらいたい。

11時30分、幹事長室で団体要望を受けた。午後1時から、予算申し入れに

ついて、記者クラブで発表。午後3時から自民党文教部会の勉強会。午後4時から総務会、引き続いて県議団総会が開かれ、日本維新の会の衆議院議員候補になった自民党県議団所属の和田有一朗議員（神戸市垂水区）の除名処分を決定した。午後4時45分、除名処分の決定を本人に通知し、記者発表を行った。

6時から、神戸市内で行われた新生兵庫の講演会に。井戸知事は県下で70人という過去最大の新規感染者が出て、感染拡大期2の最高警戒レベルになったことにふれ、医療体制の備えなど万全を期していることにふれながら、一層気を引き締めて感染拡大防止に努めていこうと呼びかけた。会場には加東市の方も出席されていた。

64. 警察常任委員会の管内調査(東播淡路地区)

2020年11月14日



12（木）、13日（金）の2日にわたって、警察常任委員会の管内調査で、東播淡路地区を調査した。今年度は、コロナの影響で管外（県外）の調査ができず、また、管内



(県内) 調査でも警察施設などの現地調査がしにくくなっているなか、阪神、但丹地区に続き、今回で3回目の調査となった。主な行程は次の通り。

12日(木): ①県庁で「若手育成プログラム・警察官採用状況・警察学校の生活」についての調査 ②神戸西警察署で(垂水署・三木署と)の調査 ③加東警察署で(小野署と)の調査 ④加西警察署で(西脇署と)の調査

13日(金): ①南あわじ警察署で(洲本署、淡路署と)の調査 ②明石警察署で(加古川署、高砂署と)の調査 ③はりま高齢者講習専門学校(高砂市)の視察

北播磨、淡路地区は高齢化率も高く、高齢者の関係する交通事故の割合が高くなっていることや高齢者を狙った特殊詐欺事件も起きており、各署ともその対策に力を入れている。また、加東、加西両署では管内に外国人居住者が多く、行政や企業と連携しながら外国人対策に取り組んでいる。東播磨臨海部の人口が多い地域では、相談や110番通報なども多く、犯罪予防に重点を置いた取り組みを工夫していることなど、それぞれの地域実情に応じた警察活動に各署が取り組んでいることがよく分かった。

最後に訪れた「はりま高齢者講習専門学校」は今年6月に開校したばかりの高齢者講習のための学校で、申し込んでも待ち日数が長い現状に対して、待たずに講習を受けられる環境をつくる目的で整備された民間講習所だ。試乗させてもらい、S字カーブや車

庫入れ、クランクなど何十年ぶりでコースを走行した。同乗の指導教官からは変な癖がついておらず、問題ない、との評価をいただきほっとした。

65. 警察常任委員会や自民県議団の勉強会など

2020年11月17日



16日(月)、10時から定例の自民党県議団執行部会議。コロナ感染の報告も行った。

10時30分から警察常任委員会が開かれ、12月議会に上程予定案件の報告及び閉会中の調査事件とし

て、警察の公聴活動、犯罪被害者支援について調査を行った。私からは、警察の広報の一環として地元ケーブルテレビの活用で加東市での例を挙げたほか、民間の犯罪被害者支援センターとの連携、自治体による被害者支援条例制定の現状などを質した。

午後1時から自民党県議団で、農政環境部による農林水産ビジョン2025改定案の説明を受けた。1時30分から関西広域連合連携協議会に出席。午後2時から自民党県議団の建設部会勉強会が行われた。スマートシティに関する勉強会で、第1部はオンラインでの講演を聞き、第2部は東播磨県民局の進めているスマートシティ構想についての説明を聞いた。4時から、兵庫県LPガス協会の勉強会が行われ、顧問議員の一人として出席し、県職員らと災害対応としてのLPガス活用事例などの話を聞いた。その後、議会事務局からコロナ感染に対する報告などを受け、退庁したのは6時を回っていた。

自民県議団の議員が新型コロナに感染した関係で、保健所による濃厚接触者の調査が行われていたが、午後になって、13日の警察常任委員会での管内調査で、地元議員として出席したもう一人の自民党の同僚議員が濃厚接触者と判定された。現在は、自宅で待機し、明日PCR検査を受けることになっている。

休み明けの月曜日は新規感染者数は少ないが、それでも40人が出た。今日は、警察常任委員会、自民党の勉強会でも検温を実施した。自民党のフロアのエレベーター前には手指の自動消毒器を以前から設置している。マスクの着用は当然だが、再度、自民県議団の同僚には、控え室で休憩や会話をする時もマスク着用の励行を確認した。

66. コロナ感染拡大一県庁で執務の一日

2020年11月18日



17日（火）、朝、登校見守りに立ってから県庁へ。9時30分過ぎに登庁。さっそく、議会事務局や県警と昨日の同僚議員の濃厚接触者判定後の情報や対応について話し合った。濃厚接触の議員は症状が無く、午

後PCR検査を受けるとのことだった。

午後1時、同僚議員と共に、NPO法人とんとん（西宮市）の理事長さんと地元加東市の農業法人玄米家さんと一緒に、井戸知事を訪れ、福祉施設と農業法人がタイアップして造った日本酒の紹介を行った。玄米家さんは山田錦生産でグローバルギャップ（GAP）を取っている。今年は1500本を大関酒造で造り、1本

1 本に施設利用者が書いたナンバーのラベルが貼られ、世界に 1 本しかない日本酒に仕上がっている。

その後も夕方まで幹事長室で執務。同僚議員や議会事務局と情報交換などが続いた。県下では、今日 1 0 7 人の新規感染者があったとの発表があり、1 日に三桁の感染者は初めてのことだった。感染拡大の防止には、やはりマスクの着用が大事で、会食や大声での会話などマスクをはずす場面がある機会には細心の注意が必要だ。換気、消毒を徹底し、これ以上の感染拡大を防がなければならない。

67. 東条川疎水ネットワーク博物館会議の総会

2020年11月24日



23日（月）、朝、玄関に国旗を掲げる。今日は「勤労感謝の日」、「新嘗祭」の日であり、「東条川疎水の日」でもある。

10時30分から小野市うるおい交流館エクラで、博物館会議の総会及びシン

ポジウムが行われた。今年は準備期間を含めて東条川疎水ネットワーク博物館が10年目を迎える節目の年で、これまでの取り組みを振り返り、新たな活動方針などが協議された。また、総会では、これまで会議のメンバーとして活動してきた団体に功労賞が贈られた。会場はコロナの感染防止のために出席者数が制限され、検温、マスク着用、消毒などが徹底された。

総会后、コタロー劇団による疎水マンが登場し、サプライズでコウノトリのカナちゃんこと、金澤和夫副知事が登場。全員で疎



水マンに変身し疎水を守るぞ、と氣勢を挙げた。

昼食は、社高校生活科学科の生徒が考案した地元産の材料で作られたお弁当だった。また、コタロー劇団による「遠い水の路」（東条川疎水副読本）の朗読劇が行われた。

午後1時30分から行われたシンポジウムでは、「地域の水と想いを引き継いでいく」をテーマに、NPO法人「共存の森ネットワーク」理事長の渋澤寿一氏がリモートで基調講演を行い、続いて、博物館会議が取り組んできた「聞き書き」について、聞き書き体験者との対談が行われた。終わったのは午後4時過ぎだった。

今日は総会で挨拶をさせていただき、シンポジウムにも参加し、あらためて東条川疎水の価値について考える機会となった。帰りに会場入り口で、東条川疎水の学習に取り組んでいる小野・加東の若い小学校の先生と出会った。40年ほど前に駆け出しの社会科教員として、東条ダムと嬉野台地の開発をテーマにした教材づくりに駆け回っていた頃を思い出しながら、若い先生にその思いや資料を伝えていくのも大事な役目だと思った。今日は意義ある一日になった。

68. 北播磨の農を支える農業改良普及所―現地視察も

2020年11月26日

25日（水）、9時20分頃、加西農業普及所（加西市）へ。今日は加西農業普及所と北播磨管内の県議会議員5人が出席しての視察と懇談会が行われた。毎年、普及所の取り組みを通して北



播磨管内の農業について視察と懇談を通して普及事業の推進をしていく機会としている。

今年は、加西市内の3ヶ所を視察した。まず、新規就農でトマト栽培に取り組んでいる「よしよし畑」のハウスを訪れ、経営者の久世継義氏から農業経営の考え方についての説明を受けた。みんなが幸せになる農業経営を目指し、カナダからハウスを輸入し、土耕栽培でトマトを生産している。販売にはデザイナーの奥さんのデザインを活かしてファンを増やしている。



次に訪れたのは、別府東営農組合。いちはやくスマート農業に取り組み、最新の機材などを活用して効率化を行っ

ている。田植えから水の管理、除草剤の散布などにドローンやICT、手作りの除草剤散布ボートなどを駆使している。

最後は、北播磨の特産品の葉ボタンの栽培を行っている高見園芸を訪れた。最近、県の品評会で金賞を受賞されたという品種も見せていただいた。加西市は葉ボタンの生産では県内で一位、全国的に見ても有数の産地になっている。高見園芸では、品種改良で栽培された各種の葉ボタンを注文に応じて発送している。やはり生産現場を見ることが大事だと思った。

視察を終え、普及所内で所員の皆さんからそれぞれ担当部門の状況などを受け、議員と懇談を行った。コロナ禍での農業者の生の声、農福連携、山田錦生産などが話題になった。農業者にとって、普及所、所員は専門家として頼りになる存在。特に経験に裏打ちされた専門的な知見からのアドバイスに助けられている。今日の視察でもそうした評価があった。豊かな北播磨の農を支える農業改良普及所のますますの活躍、発展を期待するとともに議会からの応援もしていきたい。

午後、加東事務所で区長さんから要望を受けた。また、同僚議員から井戸敏三知事の関西広域連合長退任の知らせを受けた。夜になって淡路市で鳥インフルエンザの発生の一報が飛び込んできた。夜遅く、県の対策本部会議、知事の記者会見が行われるとのことだった。

今日のコロナ新規感染者は101人。加東健康福祉事務所管内では7人が出ている。緊迫した状況が続いている。11.25は三島由紀夫・森田必勝の両烈士義挙の日。当時は高校生だった。大学時代は、学内で追悼集会もやった。あれから50年の歳月が流れた。

69. 農林水産を考えた一日

2020年11月28日



27日(金)、10時から自民党酒米日本酒振興議連と全農兵庫県本部との懇談を行った。免許法の改正により、大型トラクターの運転には特殊免許が必要になっており、免許講習等についての陳情を

受けた。

11時から県漁連役員さんと日本海大和堆海域での安全操業の確保等について懇談した。

午後1時30分から県庁近くのホールで開催された「災害に強い森づくり推進大会2020」(兵庫県林業会議などが主催)に出席。県民緑税を活用した災害に強い森づくりの成果と一層の推進について、功労者の表彰や活動報告などが行われた。

今日は、農業、水産、林業と、農林水産を考える一日になった。淡路で発生した鳥インフルエンザの対応で、県職員が交代で現地に応援に入っている。そうした状況も職員から聞いた。コロナに鳥インフルとダブルで危機に見舞われており、12月議会が迫る中、準備、対応に追われている。今日は103人の新規感染者があり、連日100人を超える感染者が出ている。

70. 352回定例県議会が開会、文化振興議連も

2020年12月02日

12月1日(火)、9時過ぎには登庁。10時から議会運営委員会。10時30分から自民党県議団総会が続いて行われた。

11時、本会議が開会し、議案が上程され、井戸知事が提案説明を行った。議案のうち、職員の給与等に関する条例改正案が総務、文教常任委員会に付託され、委員会審査の間、本会議が休会。再開後に表決が行われ可決された。続いて議員提出の議員の期末手当の支給割合の改正案が全会一致で可決された。また、和田有一朗議員(維新)の広域連合議会議員辞職に伴う関西広域連合議会議員の選挙が行われ、黒川治議員(自民党・尼崎市)が選出された。

本会議終了後、本日2回目の自民党県議団総会が開かれ、代表・一般質問の概要説明と協議が行われた。2時30分から文化振興議員連盟の役員と当局との意見交換会が行われた。今年は団体代

表との意見交換会が行えず、文書で要望等を聞いており、その対応などについて当局の考えを聞き、懇談を行った。団体からはコロナ禍で活動が制約されていることから、補助や会場確保などの活動支援についての要望が多くを占めた。

その後も幹事長室で議会事務局や同僚議員との情報交換などが続いた。12月議会は11日までの11日間の会期。今日は県下で123人の新規感染者があった。

71. 社高校生活科学科 地方創生政策アイデアコンテストで活躍

2020年12月04日

今朝の神戸新聞で県立社高校の生活科学科が経産省の地方創生政策アイデアコンテストで近畿経産局長賞を受賞し、昨年に続いて全国大会に出場することになったことが報じられた。早速社高校の若浦校長に電話をしてみると、2組が近畿まで行き、そのうち、「A challenge in KATOーもち麦で革命をー」の1組が全国に行くことになったということだった。素晴らしい成果を讃えるとともに全国でも頑張ってもらいたいと伝えた。

今日は加東で事務整理や資料の熟読などをして一日が過ぎた。今日、県下で172人の新規感染者が出ている。感染拡大が続く中、加東市ロードレース大会開催の知らせが届いた。もちろん、開会式や閉会式、応援などもなしでの開催だ。

72. 本会議(代表質問)や 自民党財政勉強会(高橋洋一氏)など

2020年12月05日

4日(金)、今日は8時30分過ぎに登庁。9時から議会運営委員会、9時30分から自民党議員団総会が行われ、10時に本



会議が開かれた。

今日は4会派の代表質問日で、まず自民党県議団政調会長の水田裕一郎議員（姫路市）が登壇し、井戸県政20年の評価をはじめ9項目について質した。

本会議終了後、各会派代表者会議、続いて、議会運

営委員会小委員会が行われた。

午後4時30分から、内閣官房参与の高橋洋一氏を講師に招き、自民党議員団の財政勉強会が行われた。明快な高橋節に議員からの質問も相次いだ。

朝から夕方まで、会議が連続した一日だった。今日の県下の新規感染者は129人。週末も周年行事や会議、イベントなどの予定が入っている。密にならぬよう、マスク着用、手指の消毒を徹底して行動せねば。

73. 神戸で県体育協会90周年記念式典

2020年12月06日



5日（土）、午後1時から、神戸国際会議場で兵庫県体育協会創立90周年記念式典が行われ、県議会スポーツ振興議員連盟の議員として、また、県ソフトボール協会会長としての立場で出席した。

式典では、会長の井戸敏三兵庫県知事はじめ、原テツアキ県議会議長、末松信介参議院議員らが挨拶し、続いて、功労賞、指導者賞、優秀選手賞などの特別表彰が行われた。

ポートライナーの車窓から見える神戸の港、街並み、そして六甲山もまぶしく光っていた。今日は県下で151人の新規感染者があった。100人を超える日が連続しており、医療現場の逼迫が報じられ、井戸知事も式典挨拶の中で一層の感染防止対策の徹底を呼びかけていた。

明るいニュースはやはり「はやぶさ2号」の地球帰還だ。カプセルがオーストラリアに落下し、2号はまた宇宙へ探査の旅に出るとか。なんとも壮大な話だ。

74. 子ども会親善サッカー大会元気に開催

2020年12月07日



6日(日)、朝はよく冷えたが、日中は快晴で気温も上がった。8時30分から加東市滝野総合運動公園グラウンドで子ども会育成連絡協議会主催の第15回親善サッカー大会が開催され、開会式に出席した。小林会

長は開会の言葉で、感染拡大防止をしっかりとって大会で力を発揮しようと呼びかけた。今回は市内の子ども会や連合チームなど13チームが出場した。審判をつとめる市のサッカー協会のメンバーには県の職員、教え子や近所の若者、そして応援に来ている保護者の中にも教員時代の教え子の姿があった。コロナで久しく出会えなかった人との出会いが嬉しく感じた。

今日の嬉しいニュースは、はやぶさ2のカプセルの地球帰還と女子陸上で田中希実選手の東京五輪内定だ。火球となってオーストラリアの夜空に光の筋を引いて帰ってきたはやぶさ2のカプセルは感動的だった。そして、あらためて兵庫から、北播磨の地から五輪選手が出ることに喜びが湧いてきた。田中さんは小野市出身で、小野南中、西脇工業高校と、陸上一筋に頑張ってきた。身近な存在であるというだけで嬉しくなってしまう。郷土には、滝野町出身の山口衛里さんもマラソン選手として活躍した。小野市の小林祐梨子さんもいた。そうした先輩に続く田中希実さんの活躍に感謝し応援したい。

今日の県下の新規感染者は120人だった。日曜日としては多い。1週間前の11月29日（日）は111人だった。加東健康福祉事務所管内でも連日数人の新規感染者が出ている。3密、大声での会話を避け、マスク着用、手指の消毒、換気を当たり前にした普通の生活を徹底することがやっぱり大事と専門家も指摘している。医療の崩壊を防ぐためにもみんなが徹底するしかない。

75. 自民党会派44名の過半数に 一般質問2日目

2020年12月09日

8日（火）、今日は大東亜戦争開戦から79年目の日。8時30分過ぎに登庁した。9時から議会運営委員会、9時30分から自民党議員団総会。10時本会議が始まった。鳥インフルエンザ関連の追加補正予算案が追加上程され井戸知事が提案趣旨の説明を行った。その後昨日に続いて一般質問が行われ、5人の議員が質問に立った。まず、自民党の戸井田ゆうすけ議員（姫路市）が登壇し、兵庫県公立大学法人の運営についてなど6問について質した。続いて県民連合の石井議員、午後には公明の島山議員、維新の堀井議員、そして一般質問の最後に自民党の内藤兵衛議員

(西脇市・多可町)が登壇した。内藤議員は今年記憶に残ったことを挙げながら、財政運営、地方創生戦略、農林水産業、社会基盤整備における県単独事業、高速交通基盤整備等について総括的な質問を行った。一般質問が終局し、議案、請願が各委員会に付託された。

今日の午後の自民党議員団の総務・幹事会、総会に於いて、無所属の関口正人議員(三田市)の自民党会派入りが認められ、自民党会派はこれで44人となり、過半数となった。

本会議終了後、県議会広報委員会が開かれ、来年度予算案、県議会だより冬号などについて協議を行った。4時30分から県庁記者クラブで、関口議員の会派入りの記者会見を行った。

その後も幹事長室で水田政調会長らと議案などの取り扱いについての協議を行い、退庁したのは6時過ぎだった。

今日も県下では145人の新規感染者が出た。100人を超える日が続いており、引き続き感染防止対策を各個が徹底していかなければならない。

76. 警察常任委員会、地域代表のあり方検討委員会

2020年12月10日

9日(水)、10時30分から警察常任委員会が開かれ、付託議案1件、和解及び損害賠償額の決定の審査を行い全員賛成で可決した。

午後2時から地域代表のあり方検討会が開かれ、議員定数、特例選挙区、一人区、指定都市の選挙区などの各課題について、委員、会派の意見を述べ討議を行った。人口減少のなか、人口要件のみではなく、面積、行政需要、文化圏等々の地域の実情にあった地域代表選出のあり方についての検討が続いている。

夕方、5時過ぎに退庁するまで幹事長室で執務した。当局から

の報告、同僚議員との情報交換や議会事務局との打ち合わせ、政調会長室との協議などが続いた。

今日は県下の新規感染者が158人。そのうち神戸市で87人と高い数字が続いている。気を引き締めて感染防止対策を徹底するとともに、逼迫しつつある医療の現場でコロナと戦っている医師、看護師などの医療従事者の皆さん、保健所の皆さんに感謝の気持ちを表したい。

77. 井戸知事不出馬表明、 自民県議団は次期知事に金澤副知事が適任と判断

2020年12月12日

11日（金）、朝の登校見守りに立ってから県庁へ。10時から議会運営委員会が開かれ、今日の議事順序などの協議を行った。ここで、閉会前に井戸知事の発言が入ることになり、次期選挙への不出馬の表明が行われるとの予想が広がった。10時30分、自民党県議団総会。11時本会議が開かれた。

今議会に提案された補正予算案、公安委員の人事案、請願、意見書案について、順次表決が行われた。最後に井戸知事が発言を求め、来年7月の知事選挙には立候補せず、退任することを表明した。5期20年を振り返りながら、ポストコロナの新しい兵庫県の創造を新しいリーダーに託すことに決断したとのことだった。

本会議終了後、井戸知事の退任表明を受けて、急遽自民党議員団の知事選挙等検討調査会を開き、議員研修会を挟み、夕方まで断続的に協議を行った。8月に検討会を設置し、4回の会議、期別毎の各議員への意見聴取と検討を重ねてきており、5回目となる今回は具体的な候補者の名前も挙がったが、最終的に金澤和夫副知事が次期知事にふさわしいとの結論となり、口頭で答申を受けた。終了後すぐに議員団総会が開かれ、答申を受けて協議を行

い、金澤和夫氏を自民党県議団として次期兵庫県知事候補として適任であるとの結論に至った。

記者会見、各関係への連絡などを済ませて退庁したのは7時を回っていたのではないかと思う。今日の県下の新規感染者は久しぶりに100人を下回る98人だった。長い一日の終わりに議員メールで感染状況を確認するのが日課のようにになっているが、2桁の数字が何か懐かしく感じた。

80. 警察常任委員会、警察部会など会議・研修の一日

2020年12月17日

16日（水）、9時前には登庁。早速、幹事長室で当局のレクを受ける。9時30分から議会運営委員会が開かれ、議会改革について協議を行った。10時30分から警察常任委員会が開かれ、閉会中の継続調査事件として「住民に身近な地域警察活動の推進について」を調査した。地域警察活動の各部門についての説明を受けた後質疑が行われ、私からは今年10月から試行しているLive110（ライブイチマルイチ）について質問した。

12時30分から自民党議員団総会が開かれ、知事選挙等検討調査会からの答申書にかかる経過、県政の重要課題の推進にかかる要請書案について説明を行い、協議を行った。

午後1時から各会派代表者会議が行われた。3時から、自民党議員団の警察部会の勉強会が行われた。講師は、木下富雄氏（京都大学名誉教授）。「群集事故の要因とその制御法について」をテーマに、過去の群集事故の事例からその要因と回避策などに話を聞いた。

4時30分から市内会場で、兵庫県測量設計業協会と協力議員団との意見交換会に出席した。県庁に戻る頃には暗くなっており、一段と冷え込んでいた。

今日は北播磨の物産市が県庁芝生広場で開催され、会議の合間を縫って覗いたが、店じまいの最中で、トマト、ブロッコリー、ネギ、地元の日本酒などを購入した。気になっていた「播州ラーメン」は売り切れたとのことだった。

今日も県下では135人の感染者があった。久しぶりに加東健康福祉事務所管内の新規感染者はなかった。今夜は雪が降るのではと思うほど冷え込んでいる。

81. 加東で、歴史の会や神社参道ライトアップなど

2020年12月21日



20日（日）午後、久しぶりに加東歴史の会の例会に出席した。内容は江戸時代の寺壇関係をめぐる紛争の事例で、専門的で難しかったが、寺と寺、村との関係や幕府の対応などが興味深かった。換気のために窓とドアを開けて感染防止対策をとっておこなわれたが、防寒着で出席してよかった。



夕方、加東市牧野地区子供会が主催して行われた住吉神社ライトアップ点灯式に出席した。コロナ感染防止のためにクリスマス会に代わる行事として行われたもので、午後6時過ぎ、地区の老若男女が集まる中、まだ紅葉したもみじが残る住吉神社の長い参道にロウソクと電灯の明りが灯され、幻想的

な「光」の道が浮かびあがった。境内には疫病退散を願い、子供達が描いたアマビエの大きな灯籠も。クリスマス会はできなかったが、子供達や地区の人々にはこのライトアップの取り組みがコロナに負けないぞという元気、希望の光、収束への道を照らす「光」となったことだろう。ライトアップはこれからつき1ヶ月、午後6時から9時の間実施される。

82. 金澤和夫副知事に出馬要請―自民議員団

2020年12月26日



25日（金）、10時前には登庁。午後1時30分から金澤和夫副知事に対して、自民党県議団を代表して、次期県知事選挙に出馬するよう要請を行った。幹事長、政調会長、知事選挙等調査検討会正副会長の4人が出席し、副知事に対し

て、県政課題等をまとめた要請書を手渡した。

自民県議団では、井戸知事が次期選挙への不出馬を表明した12月11日に口頭で金澤氏が次期知事に相応しいとの検討結果を伝えており、今回は、これから4年間の県政課題等を挙げ、その解決に向けた県政推進についての自民県議団としての考えをまとめ正式に伝えたもの。金澤氏は、自民党県議団の要請を重く受け止め、判断すると答えた。目下は、年末年始のコロナ対策に集中したいとも答えた。その後、4階の記者クラブで記者会見を行った。

夕方、加東事務所に戻り、週末、年末年始のスケジュール調整

などを行った。今日は、県下の新規感染者が232人と初めて1日200人を超えた。加古川健康福祉事務所管内の病院でクラスターが発生している。加東市の防災放送でも県のコロナ対策への協力要請を伝えている。緊急事態宣言は出されていないが、一人一人が気持ちの上で宣言下と同様の緊張感を持って対策を徹底して過ごすことが今必要だ。

83.「ふるさと兵庫魅力発見!」が一般向けに発売

2020年12月28日



27日(日)、今日も加東で自宅や事務所の整理、片付けをして一日を過ごした。

HPにアップする活動報告や年明け1月の挨拶文を書き、写真も選んだ。明日は県庁で仕事納め、加東事務所も大掃除でこの一年の締めくくりの予定だ。毎年忙しい年末も諸行事等が中止されるなど静かになりそうだ。不要な外出は止め、自宅か事務所でじっくり読書をいたり資料に

目を通すなどして充電の機会としたい。

神戸新聞を読んでいると、総合出版センターから『ふるさと兵庫魅力発見!』が出版され、その広告が出ていた。県教育委員会が県政150周年記念として作成し、県下の中学1年生に配布して、総合学習などの時間に活用をしている冊子だが、今回、一般向けに販売をしたものだ。ふるさと意識の醸成にはまずふるさとのことをよく知ることが必要だという観点から、兵庫五国の歴史や伝統、文化など幅広くその魅力が紹介されており、写真と解説

で読み易い構成になっている。中学生だけではなく、小学高学年、大人にもぜひ兵庫県の魅力を知ってもらいたいという思いを持っていたが、教育委員会の努力で一般向けに出版が実現した。1冊500円。年末年始に自宅でふるさと兵庫の魅力発見で楽しんでもらいたい。

今日の県下の新規感染者は165人。年末の買い出しなどで人出は減らないようだ。帰省シーズンだが、今年は空も陸もラッシュ光景はない。

84. 令和2年大晦日ー県下のコロナ新規感染は193人

2021年01月01日



31日(木)、早朝、うっすらと雪化粧した社の市街や中央公園を歩いた。予報にあったような大雪にならずに一先ず安心した。しかし、空気は肌を刺すように冷たい。

午前中は、加東市社の連合区の役員さん宅を回り、初集会のメッセージを届けた。多くの地区、町内会が初集会の中止や縮小を決定していた。コロナ感染拡大が続いている中、止むを得ない判断だったのだろう。

午後、今年最後の買物に。懐かしい方との出会いもあった。その後は、事務所で新聞スクラップの整理。友人が訪ねてきて、今年も大晦日の除夜の鐘を撞きに行くことになった。

夜、いつもならとっくに就寝している時間帯だが、大晦日の除

夜の鐘を撞きに、社の持寶院へと出かけた。コロナ感染防止のために奉賛会の皆さんによる恒例のぜんざいの接待はなく、袋入りぜんざいをいただいた。境内の大師殿にお参りをして令和2年の幕を閉じた。

今日の県下の新規感染者は193人。東京では1300人を超え、過去最高とテレビは報じた。年末年始も対応に当たっている医療関係者や保健所などの関係者に敬意と感謝の気持ちを表した。来年こそはコロナを抑え込み、回復と希望の年にしたい。

85. 令和3年の初日の出—加東市山国の王子ヶ池の堤で

2021年01月02日



令和3年の元旦。初日の出を加東市山国の王子ヶ池の堤で拝んだ。午前7時15分頃に訪れ、数分のちには池の向こうの林の切れ目からまぶしい光を放ちながら令和3年の初日が昇った。その時を待っていた

人々の拍手の音や歓声とシャッター音が聞こえた。

今年の初日の出は例年にない強力な光を放っていた。寒波に包まれ空気が澄んでいるせいかも知れないが、この強い光はコロナウイルスを消滅させる威力を感じさせるものだった。

今年は正月元旦の諸々の会が中止になったり、出席を遠慮したこともあって、玄関に国旗を掲げ神棚と仏壇に礼拝をしたあとは、午後に市街を歩いただけで、新聞や本を読んで自宅で静かな元旦を過ごした。

今日の県下の新規感染者は128人。年末年始も24時間体制

で対応に当たっておられる関係者の皆さんに敬意と感謝を捧げます。

86. 県庁で仕事始め—公館で新年交礼会

2021年01月05日



4日（月）、今日は仕事始め。10時前には登庁。11時から県公館大会議室で兵庫県関係者新年交礼会が行われた。

国歌独唱に続き、井戸知事、原テツアキ県議会議長が新年の挨拶を行った。密

にならないよう、そして、乾杯も懇談もない交礼会だったが、コロナの感染拡大が止まらない中で迎えた令和3年。ぜひコロナを抑え、回復と希望の年にしたいとの思いを新たにした。その後は県庁に戻り、幹事長室や政調会長室、議員控室でも登庁議員と新年の挨拶を交わした。

今日の兵庫県の新規感染者は118人だった。政府は1都3県の緊急事態宣言の発出を検討している。また、吉村大阪府知事は東京への往来自粛を、そして、井戸知事も関西広域連合で対応を相談するとの考えを示した。加東事務所に戻り、今日から仕事のスタッフと新年の挨拶。令和3年が始まった。

87. 各会派政調会 1日目

—令和3年度予算編成・重要施策めぐり

2021年01月07日

6日（水）、9時30分には登庁。10時から7階の大会議室

で各会派政調会が始まった。いつもなら4階の自民党大会議室で行われるが、密を避けるために広い会場で行われた。

冒頭に自民党県議団を代表して挨拶を行い、コロナも財政も厳しい状況だが、



安全安心の基盤づくり、兵庫の回復と活力ある未来づくりのために大事な令和3年度予算、施策について中身のある意見交換をと述べた。1日目は、午前に企画県民部、教育委員会。午後に企業庁、県土整備部の順で説明と意見交換が行われ、出席議員から活発な意見が出された。

終了後、幹事長室で議会事務局と打ち合わせを行い、5時30分頃に退庁した。今日の県下の新規感染者は248人。さらに増えた。関西広域連合においてもこのまま増えるようであれば、緊急事態宣言の再要請を行わざるを得ないとの話だ。すでに医療現場は逼迫している。早急な対処が必要だ。

88. 政調会3日目・兵庫県も緊急事態宣言要請へ

2021年01月09日

8日（金）、今日は各会派政調会の3日目。午前は警察本部、県土整備部（まちづくり）、午後は農政環境部（環境部）、健康福祉部の政調会が行われ、これで3日間、12部の政調会が終わった。午後3時頃には、窓の外は雪が舞って神戸の街が白く煙った。最後の健康福祉部では、コロナ対策についての質問が集中した。

午前中、政調会と並行して、自民・県民連合・公明の3会派で知事に対してコロナ対策の緊急要望を行った。連日200人を超

える新規感染者が出ており、病床の確保、そして、医療、保健所等の人員の拡充など緊急に取り組むべきとの内容だ。

午後5時前に政調会が終了。その後、引き続き県議会コロナ対策調整会議が行われる予定だったが、県の対策本部会議が長引き、始まったのは午後6時前だった。調整会議では、県は大阪府、京都府と連携して国に緊急事態宣言を要請することにし、12日から神戸市、阪神間の飲食、酒類を提供する店の時短営業を要請することなどにしたことが説明されたが、その対象や範囲、内容について県民の理解が得られる説明が必要との意見が出た。また、県議会常任委員会の管内調査が12日をはじめ、1月中に予定されていることから、緊急事態宣言要請に対応して、議会として、その実施を見合わせるようになった。

今日は県下で297人の新規感染者があり、300人に近づいている。不要不急の外出自粛が要請されるなか、この連休中にはえびず祭や成人式などが行われる地域もある。マスクなしの会食や会話をしないことなど、感染拡大防止を徹底して行う必要がある。国民、県民一人ひとりの自覚と行動にかかっている。

89. 加東市新成人の集いーコロナ感染防止対策のもと

2021年01月11日

10日（日）、よく晴れた冬の空の下、やしろ国際学習塾（加東市上三草）のLOCホールで加東市新成人の集いが行われた。

コロナの感染拡大が続き、県は国に緊急事態宣言の要請を行う状況のなか、成人



式については県下各市で判断が異なった。加東市では、感染拡大防止策を徹底した上で式が行われた。来賓は国会、県会、市議会議員長の3人に限定し、会場は出身中学毎に、空席をつくっての指定座席。ホール玄関も入場前の列が密にならないよう立ち位置を示すなど徹底されていた。市内では610人の新成人があり、そのうち、340人が出席した。晴れ着とマスク。コロナ禍の成人式スタイルだった。式も時短で簡素なものだったが、実行委員会代表の竹内掛君が力強い誓いを述べ締めくくった。

今日、県下では269人の新規感染者があった。寒波による水道管の破裂が多発し注意をよびかける放送があった。庭の大甕の水も完全に凍って分厚い氷が張っている。小学生の頃、理科の宿題で水が凍ったら体積はどうなるかという実験をアルミの弁当缶に印をつけて水を入れ、翌朝、その線を上回るところまで凍っていたことをなぜか思い出した。この寒さも風邪やコロナの感染拡大の原因の一つかと思うと早く暖かくなってほしいと思うばかりだ。

90. 兵庫県も緊急事態宣言へ 時短営業要請を全県対象に

2021年01月13日



12日(火)、10時から自民党議員団執行部会議。当面の日程や次回総会の内容などを協議した。また、県の緊急事態宣言の要請にもとづく措置について、特に飲食店等への時短営業要請の対象地域について全県

を対象にすべきとの意見をまとめた。また、同僚議員から各地の

行政や関連業界、県民の声に関する情報も伝えられ、そうした声を知事サイドに伝えた。午後にも幹事長室で、議会事務局との打ち合わせや当局の説明などが続いた。

午後3時から県の対策本部会議が開かれ、夕方には知事の記者会見が行われた（写真、県HPより）。関西3府県への緊急事態宣言は13日にも決定され、14日から実施になるようだ。知事は急激な感染拡大状況から判断し、全県を対象にしたことを発表した。感染拡大は都市部だけではなく人口の少ない地域でも広がっており、県下全域を対象としたのは適切な判断だ。県の対策本部会議を受けて、明日、県議会のコロナ対策調整会議が行われることになった。今日の県下の新規感染者は162人だった。

91. 県議会コロナ対策調整会議 県議会も緊急体制へ

2021年01月14日

13日（水）、朝の登校見守りに立った。緊急事態宣言の対象となったが、学校は休校措置は取らない。ただ、部活動の大会や修学旅行など県外への移動が伴うものは行わない。

事務所に寄ってから登庁し、幹事長室で執務する。同僚議員との情報交換や議会事務局との打ち合わせ、当局からの説明や報告を受ける。

午後4時から、県議会新型コロナウイルス感染症対策調整会議（各会派代表者会議）が開かれた。緊急事態宣言の対象地域となることから県の対処方針についての説明を受けた。出席者からは、療養宿泊施設の活用度を上げることなどが指摘された。また、議長から、去年の1回目の緊急事態宣言下と同様に、県議会の危機事案発生の宣言がなされ、議員、議会活動について方針に従い活動することが確認された。2月議会を控えており、また、先週末には各常任委員会の管内調査の見合わせを決定しているなか、議

会として緊張感をもって対処していくことになった。

1. 17が近づいてきた。今年は緊急事態宣言下の開催となり、追悼式は行われるが、メモリアルウォークなどの関連イベントは中止となった。今日の県内の新規感染者は285人。神戸市が100人を超えており、県下全域で感染者が出ている。

92. 1.17ひょうご安全の日のつどいーあれから26年目

2021年01月18日



17日（日）、今日は阪神淡路大震災から26年目を迎えた。午前5時46分にはあの日のようにすでに起きていた。

11時30分頃には会場のHAT神戸に。今年はコロナ対策のために規模が縮小され、出席者も限定された中での開催だった。多くの同僚県議とともに席に着いた。つどいは、献奏曲から始まり、井戸知事の挨拶、小、中、高校生代表のメッセージ、そして献唱曲、宣言、献奏曲、献花で終わった。なぎさ小学校の児童の歌声と手話が素晴らしかった。

あの日のことは忘れることはない。また、東日本大震災の光景も目に焼き付いたままだ。そして、今、コロナ禍の只中にある。想像もしなかった大災害が次々と起こったが、南海トラフ巨大地震もいつ起きるか分らない。河田先生が宣言の最後に述べた「忘れない、伝える、活かす、備える」という言葉をかみしめた。

今日、県下の新規感染者数は289人。衝撃だったのは、加東健康福祉事務所管内（北播磨）で57人という数字が出たことだ。

クラスターの発生のように、ほとんどが無症状だという。

93. 特別支援学校の整備を申し入れ

2021年01月23日



22日（金）、10時前には登庁。さっそく、2月議会について議会事務局と打ち合わせや同僚議員への諸連絡などを行った。

11時から自民、県民連合、公明の3会派で西上教育長に対して「阪神南地域

における県立特別支援学校の狭隘化に関する要望」を行った。これは、阪神南地域における特別支援学校の児童生徒の増加し狭隘化が大きな問題となっており、早急に新たな特別支援学校を整備することを要望したもの。

午後も幹事長室で2月議会の代表質問、予定議案等の取り扱い、予算委員等について水田政調会長と話し合った。来客もあり、夕方まで執務した。

県下の新規感染者は283人と高止まり。入院を待つ「自宅待機」の人数も700人を超えている。週末の天気予報は雨になるようだ。加東市の防災無線放送でも外出自粛を呼びかけている。今、社会全体で抑え込むという意味と行動を徹底すべき時だ。

94. 赤穂義士についての神戸新聞記事に思う

2021年01月25日

24日（日）、今日もほぼ一日中雨だった。緊急事態宣言発令から10目、2度目の週末だった。不要不急の外出は自粛すると



いう行動に天も雨で応えてくれたと思いたい。

今日も自宅と事務所を歩き来しながら本や新聞スクラップを読んだりして調べ物をして一日が過ぎた。

今日（24日）の神戸新聞朝刊6面に赤穂市文化財

保護審議会委員で高光寺住職の三好一行さんが「赤穂義士の精神継承を」という一文を寄せていた。NHK大河ドラマ「元禄繚乱」制作の時代考証を担当された時に若手俳優が赤穂事件を知らなかったことに衝撃を受けたことが書いてあった。私も中学の教師として社会科を担当し歴史を教えていたが、教科書には記述はなかったと思う。三好さんによると、令和3年の帝国書院の歴史教科書に初めて赤穂事件のことが取り上げられたとのことだった。

本家の赤穂市はもちろんだが、加東市でも赤穂義士祭が毎年12月14日に行われている。加東市内には赤穂藩領があり、陣屋も置かれ、四十七義士の最長老、吉田忠左衛門は郡代として駐在し、領内の池の普請などを指揮した記録もある。何よりも、加東市家原には浅野家の分家が置かれ、赤穂の浅野家断絶後も幕末まで家原浅野家として存続したという深い関係がある。加東市社には、浅野家の菩提寺である善龍院があり、家原には香華所である観音寺があった。

赤穂事件から150年忌の節目に合わせて、弘化年間に観音寺の境内の一角に四十七義士の墓碑が建立された。菩提所の中央に浅野内匠頭、その両脇に大石良雄、主税父子、それを取り囲むように四十七義士の墓碑が建てられた。この義士の墓碑建立は善龍院の僧侶の呼びかけにより、赤穂藩に縁の深い村や多くの人々

の寄附により建てられたもので、まさに義士の忠義を讃える民衆の熱い思いがそこにはあった。

昭和の初め、父らが青年団員だった頃に義士祭を始め、今日まで続いている。法要、福引き、甘酒の接待、江戸からの早駕籠にちなんだ中学駅伝大会、剣道少年団の試合など赤穂義士の精神を今に継承し、未来に伝えていこうという取り組みが続けられている。

観音寺の四十七義士の墓碑は立派なものだ。学生時代に東京泉岳寺で行われた中央義士会に先輩に連れていってもらった。そこで播州の社（当時は社町）に四十七士の墓があることを紹介したが、義士の子孫の皆さんもご存じなかったことが残念だった。

私は、小さい頃から観音寺や義士との関わりがある。地元の社保育園に通っていたので、12月14日には先生に連れられて観音寺にお参りをした。中学生の時には江戸から赤穂への早かごにちなんだ駅伝大会の選手として師走の社の町を走った。そして、大人になってからは地元地区役員として義士祭の福引きなども担当した。今は県会議員として義士祭の法要などに出席している。また、私の歴史ブログ「ふるさと加東の歴史再発見」でも取り上げ、紹介記事を投稿してきた。カラオケでは「刃傷松の廊下」を歌ってきた。

私は三好さんの文を読んでその通りだと思った。義士の精神の継承とともに、その忠義を讃え誇りに思ってきた先人の思いを継承したい。そんな思いを強くした。

95. オンライン会議試行や各会派代表者会議など

2021年02月02日

1日（月）、10時から自民議員団の執行部会議。4月までの日程確認や調整、2月議会予算特別委員会の委員予定者、代表質問案などについて協議を行った。

午後1時30分から議会運営委員会が開かれ、オンライン会議の試行を行った。常任委員会のオンライン会議を想定し、さまざまな場面での検討項目について実際に試行し、課題などを洗い出した。タブレットでの資料提示、オンライン画面での表決の際の確認の方法などを確認しながら試行した。

引き続き、各会派代表者会議が開かれ、政務活動費協議会での検討結果について協議を行った。

今日は休日明けということもあり、県下の新規感染者は60人と少なかった。しかし、感染状況は収まっておらず、緊急事態宣言の延長は避けられない状況だ。引き続き、ウイルスとの戦いは続く。

96. 緊急事態宣言延長へー県庁で執務の一日

2021年02月03日

2日（火）夜、政府は緊急事態宣言の延長を発表した。新規感染者数は減少傾向にあるもののまだ抑え込みはできておらず、また、病床使用率も高いまだ。3月7日までの1ヶ月間だが、井戸知事はまさに今が正念場と県民への協力を要請した。ワクチン接種への自治体の準備は進んでいるが、まだスケジュールが定まっていない。ワクチンや治療薬が行き渡るまでは、ウイルスとの戦いは人間の行動によるしかない。今日の県下の新規感染者は135人だった。

97. 県庁で一会議や団体要望、当局説明などの一日

2021年02月09日

8日（月）、執行部会議に続いて、健康福祉部から県障害福祉計画、老人福祉計画についての説明を受けた。また、企画県民部から兵庫津ミュージアム・初代県庁復元館の説明も受けた。



屋には、自民党酒米日本酒振興議員連盟とＪＡグループの意見交換、県当局への要望を行った。コロナ禍で日本酒の消費が激減するなか、兵庫の宝、酒米の山田錦の生産に大きな影響が出ている。酒造会社への販売減に対

して他用途向け販売や作付の転換による減産、給食やパックご飯など商品開発など、山田錦産地、生産農家を守るための努力、支援が行われてきたが、長引くコロナ禍による影響でさらに事態は深刻化している。そうした窮状について聞くとともにさらなる支援の要望を行った。

その後、公園緑地課から県立播磨中央公園リノベーション計画の進捗等についての説明、議会事務局との打ち合わせなど、例によってせっかく淹れてもらったコーヒーを飲む間もなく説明等が続いた。

夕方、執行部でワクチン対策課から接種に向けた取り組みについて現状を聞いた。この説明にはオンラインで参加した議員もあった。県ではワクチン接種専門部署の設置により、県内医療従事者約１６万人への接種や相談対応、市町へのワクチン配分などに向けて大急ぎで準備している。ワクチン接種は予防接種法に基づき、発症予防と重症化予防を目的として実施される。今、ワクチンがいつ入ってくるかのスケジュールを知りたいというのが県や市町の担当者の思いだ。

今日の県下の新規感染者数は３３人と少なかった。月曜日は前日の日曜日の検査数が少ないので少なく出る。まだ、新規感染者

数、病床使用率等の状況を見ていく必要があり、宣言解除の段階ではないと知事も述べている。

98.「建国記念の日を祝う会」県民ホールで

2021年02月12日



11日（木）、今日は「建国記念の日」。戦前は紀元節だった。例年なら、加東市内の河高八幡神社の厄神祭や上久米東光寺の大日如来祭（大日ったん）の祭が賑やかに行われるが、今年はコロナ禍の緊急事態宣言下とあって神事のみとなった。

午後1時に県庁向かいの県民会館9階の県民ホールで開催された、「建国記念の日を祝う会」（兵庫実行委員会主催）に出席した。感染防止対策として、座席は間隔を置いて制限使用、マスク、消毒、換気その他、国歌や紀元節の歌はテープを拝聴、万歳三唱も無声という形で行われた。

祝う会では、記念講演として、山岳写真家の廣田勇介氏が「天皇陛下と信仰の山」と題し、写真を紹介しながら、日本人と山、信仰、天皇陛下と登山について講演された。今上陛下の登山はご先祖である神々や祈り、信仰につながろうとされているのではないかという見方は新鮮だった。

式典では、県選出の国会議員、県議会議員、市議会議員が来賓として出席。最後に宣言文を採択した。今年は神武天皇が橿原の地に建国されてより2681年。本名孝至実行委員長（伊弉諾神宮宮司）は、挨拶の中で「19年後には皇紀2700年を迎え

る」と話された。紀元2600年は昭和15年（1940）だった。今でも各地に2600年を記念して建立された石碑などが残っている。世界で最も古く、長く続いている天皇をいただく日本。日本は「神の国」と言って批判を受けた総理大臣がいたが、これだけ国内に神社があり、古くは縄文の昔から自然、特に山を神として祈ったり、山上の巨岩、巨石に神が宿る、降りてくると信じていたと言われる日本のことを「神の国」と表現したことは自然だと思う。

朝、自宅玄関に国旗を掲げた。永田県議も挨拶の中で国旗について触れ、祝日なのに国旗を揚げる家が殆どないと残念がっておられた。戦後、祝日の復活で国民が一番望んだのが紀元節、すなわち建国記念の日だった。コロナ禍での建国記念の日となったが、白地に赤の日の丸の旗をみていると、その光でコロナウイルスを消滅させてほしいと思うばかりだった。

99. 警察常任委員会など、県庁で一日

2021年02月13日

12日（金）、10時30分から警察常任委員会が開かれた。2月議会に提出予定議案の報告、閉会中の調査事件として、「重要犯罪の情勢とその対策」について調査を行った。重要犯罪とは殺人、強盗、放火、強制性交等、略取誘拐、強制わいせつの6罪種を指す。全体的には減少傾向にあるが、このうち、強制わいせつが半分以上を占めている。私からは、鑑識活動について、予算、人材育成、高度化について質問した。DNA型鑑定は年間約9000件が行われている。

午後は幹事長室で執務した。同僚議員との情報交換や団体要望の日程調整、防災テントのデモなどが続いた。

加東市の東条地域では新年度に小中一貫校が開校するため、2

つの小学校と1中学校が今年をもって閉校する。それぞれ150年近く、130年近く、そして60年近い歴史をもつ。閉校式のメッセージを作成した。

県内私立高校の入試があった。登校見守りで毎朝見ていた子供も受験した。出来具合が気にかかるがこれから公立の入試もある。まさに受験シーズンだ。体調を整えて実力を発揮してほしい。

100. 2月定例会前日ー土木事務所、観光協会、県庁

2021年02月17日



16日(火)、9時には県社総合庁舎内の加東土木事務所へ。加東市内の区長さんらからの河川、道路関係の要望を伝える。そのあと、河高地区にある交流センター内の観光協会を訪れた。今年はコロナ禍で神結

酒造の蔵まつりが中止となったが、しぼりたてなどの日本酒セットが販売されるとあって訪れた。県庁へ向かう途中、東条川に架橋される新橋の工事現場に立ち寄った(小野市側の橋台から加東市側の工事現場を臨んだ写真)。

11時には登庁。幹事長室で夕方まで執務した。教育委員会の文化財室、議会事務局、警察本部等、地元案件の相談や打ち合せ、報告などが入ってくる。代表質問関連の資料読みにも集中した。

6時前に事務所に戻り、スタッフと打ち合せ。その後、地元区長さん宅を訪れ、相談に対する報告をした。

今日は県下の新規感染者は46人だった。井戸知事は解除基準をクリアしていなくても状況をみて3府県と連携して解除要請を

することもあるとしている。新規感染者数は減っているが病床使用率はまだクリアしていない状況だ。明日から待望のワクチン接種が始まる。

101. 2月県議会が開会－4階自民控室フロアに雛飾り

2021年02月18日



17日（水）、今日は第353回定例県議会の開会日。9時過ぎには登庁した。10時から議会運営委員会、続いて10時30分自民党議員団総会が開かれ、議運の結果などを報告。11時に本会議が開会した。

総額4兆6千億円余に及ぶ令和3年度当初予算案、条例案などの議案が上程され、井戸知事は「ポストコロナの新時代に挑む」と提案説明を行った。

昼の休憩時、12時30分から2回目の自民党県議団総会が行われ、代表質問、一般質問等について協議を行った。

午後1時30分本会議が再開され、総額約2280億円のコロナ対策、経済対策等の令和2年度補正予算案、条例案が上程され、知事の提案説明が行われた。各会派による質問が行われた後、議案は常任委員会に付託され審査が行われた。本会議再開後、表決が行われ全会一致で可決した。

本会議終了後、県議会文化振興議員連盟役員と当局との意見交換会が行われ、令和3年度の主な施策について説明と意見交換を行った。

その後、幹事長室で教育委員会文化財課から文化財保護等につ

いて説明を受けた。退庁したのは午後6時を回っていた。

今日から3月24日までの36日間、2月議会が行われる。今日は強風が吹き荒れ、寒波も襲来し、ここ数日の春の陽気は消え、冬に逆戻りの感がある。そんななか、私たちの心を和ませてくれたのは、3号館4階の自民党議員団フロアのエレベーター前に設置している手指の消毒テーブルに飾られたお雛様だった。会派の女子職員が家に眠っていた飾りを活かして飾ってくれたもの。エレベーターを降りると目の前のミニ雛飾り。心が温もり、ぐっと気が上向く。ありがとう。

102. 県庁で－当局説明や要望など

2021年02月19日



18日（木）、よく冷えた朝、庭の大甕の水も久しぶりに氷が張っていた。登校見守りに立った。子供達の服装も真冬に逆戻りだった。

事務所でメッセージの作成などの作業をしてから県庁に向かった。昼に登庁。

さっそく当局の説明や同僚議員との情報交換、来客が続いた。遅い昼食をとり、その後も当局の説明があった。

午後3時から兵庫県小売酒販組合連合会の役員さんと金澤副知事への要望に同僚議員と一緒に同行した。コロナ禍、再度の緊急事態宣言の発出などで、日本酒や酒類の消費が激減するするなか、売り上げ減でも頑張っている小売店も少なくない。そうした現状を訴え、支援を要望したもの。

寒風が吹いた一日だった。今日の県下の新規感染者数は46人。

加東市の防災無線放送では、感染症患者等への差別や中傷をしないようにと呼びかけている。加東市民病院でクラスターが発生したこともあり、県下で一番早くコロナ感染症患者等の人権擁護に関する条例を制定した加東市では、条例にもとづき、市民によびかけている。市内の介護施設に加東市民病院から院長名で感染者発生について状況、対応などの説明が院長名で伝えられたと聞いた。こうした正確な情報にもとづいて市民が冷静に判断や行動することが大事だ。

103. 本会議や諸会議の一日、そして竹島の日

2021年02月23日05時

22日（月）、登校見守りに立ってから県庁に向かった。9時過ぎには登庁。9時30分自民党執行部会議。10時議会運営委員会。10時30分自民党議員団総会。11時本会議が開かれ、令和2年度関係補正予算、条例案などが追加上程され、井戸知事が提案説明を行った。

昼に自民党議員団内の予算特別委員会予定者の打ち合わせが行われた。午後1時30分関西広域連合連携協議会、引き続き各会派代表者会議が行われた。

午後3時には幹事長室に来客。その後も同僚議員との情報交換などを行い、ようやく4時頃いったん落ち着いた。午後5時から県議会コロナ対策調整会議が行われ、県の対策本部会議の解除要請に向けた協議の内容が報告された。明日23日に京都、大阪の両府の知事と協議し、国に対して3月1日からの解除を要請することになったということだ。今日の新規感染者数は14人と少ない。休み明けということもあるが、10人台の数字に正直ほっとする。

今日22日は「竹島の日」。島根県松江市では式典が行われた。何年か前に同僚議員らと出席した式典のようすを思い出す。中学

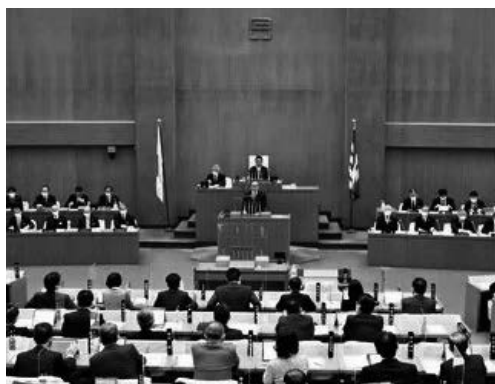
教師時代は社会科の学習で竹島問題を取り上げ、韓国（軍）による不法占拠が続いているが、日本の固有の領土であることを歴史的事実を示して教えてきた。今は事務所の戸に竹島のポスターを貼っている。北方領土、竹島は日本固有の領土であり、ロシア、韓国による不法占拠が続いていること、また、尖閣諸島は日本の領土であり、中国が一方的に領有権を主張して領海侵犯を繰り返していること等、日本の主権が侵され、脅かされていることを学校教育の場でしっかりと教えていかなければならない。北朝鮮による同胞の拉致も重大な主権侵害である。こうした人（同胞）と土（領土）の拉致を許してはならないというのが、「主権者教育」の第一歩でなければならない。

明日は天皇誕生日。今年も皇居での一般参賀は感染拡大防止のために行われない。玄関に国旗を掲げ、令和時代2度目の天皇誕生日をお祝いしたい。

103. 本会議で代表質問に登壇

－ 3 年度予算、コロナ対策などを質す

2021年02月25日



24日（水）、今日は本会議が開かれ、各会派代表による代表質問が行われた。2月議会では各会派とも幹事長が登壇する。

私は自民党幹事長として7問8項目について質した。緊急事態宣言下、

傍聴団はなかったが、サンテレビの中継を見て下さっている方も

あるだろう。

質問は、1 問目は、井戸県政 5 期 20 年の総仕上げに向けた今後の取組について 2 項目。その 1 は、これまでの評価と残された課題への今後の取組について、2 は、令和 3 年度当初予算案の特徴と今後の財政方針について。

2 問目は新たな将来ビジョンについて。

3 問目は実効ある新型コロナウイルス感染症対策の推進について。

4 問目は実効ある雇用確保対策について。

5 問目は「ひょうご農林水産ビジョン 2030」に込めた理念と今後の方向性について。

6 問目は県土強靱化を加速させる今後の取組について。

最後の 7 問目は、未来の県立高校のあり方について、だった。

一括方式で質問に 35 分。井戸知事、金澤副知事、荒木副知事が答弁し、残り時間は 43 秒。簡潔な意見表明をして終わった。答弁はいずれも前向きで丁寧なものだった。

その後、県民連合の上野幹事長が登壇し、午後には公明の谷井幹事長、維新の岸口幹事長が質問し、午後 3 時には本会議が終了した。幹事長室で議事課との打ち合せなどを行い退庁した。明日から一般質問が始まる。



104. 本会議一般質問始まる

ー山田錦の藤川禎次特別賞創設も

2021年02月26日

25日（木）、今朝も朝の登校見守りに立ってから県庁へ。一

緒に見守りに立っている方が代表質問をインターネットで見たよ、と声を掛けて下さった。9時30分過ぎには登庁。

10時本会議が開議し、一般質問が始まり、5人が質問に立った。わが自民党からは、トップバッターを務めた松本裕一議員（加古川市）、午後の1番の村岡真夕子議員（三木市）、初日の最後は谷口俊介議員（神戸市西区）の3人が登壇した。

村岡議員の質問の4問目「コロナ禍終息後を見据えた県産山田錦振興戦略の推進について」の答弁の中で、井戸知事は今秋に開催が予定されている「ブリュッセル国際コンクール」の日本酒品評会「サケセレクション」で、県産の酒米や日本酒を国内外に発信していくとし、特別賞として藤川禎次賞を創設すること明らかにした。藤川禎次は県の酒米試験地（加東市沢部）で酒米研究の主任として、酒米の品種改良の研究に打ち込み、昭和11年（1936）に今も酒米の王様と呼ばれる山田錦の開発に成功した。藤川禎次は県の道徳副読本にも取り上げられており、県の酒米研究交流館（加東市沢部）には藤川禎次が記録した観察ノートも展示されている。

本会議終了後、県議会広報委員会が開かれた。県議会だよりの編集などについて協議を行った。引き続いて、議会改革などについて他会派との調整や教育関係の会合などに出席し、午後6時過ぎに退庁した。

105. 県立社高校卒業式・社おにわ亭 ・加東市文化連盟美術作品展

2021年02月28日

27日（日）、今日は県立社高等学校の卒業式が行われ、同窓会長として出席した。第73回生、234名が巣立っていった。卒業生は、最後の1年はコロナ禍で学校生活や部活動などで大



きな制約を受けた。若浦校長は式辞の中で、そうした中でもよく工夫し頑張ったことを褒め、この経験から学んだ多くのことをこれからの人生に活かしてほしい、とエールを贈った。P T A会長さんも感極まって声をつま

らせるほど、思いがこもった祝辞だった。国歌、式歌（蛍の光）、校歌は演奏だったが、歌入りだったので、ついマスクの中で小さく歌ってしまった。シンプルだが、立派な卒業式だった。

社ショッピングパーク B i o の多目的スペースで開催されている第15回加東市文化連盟美術作品展を覗いた。絵画の部に岸本尚美さんの「祭り」が展示されている。法被姿の私を描いて下さった。

そのあと、社市街地商店街の古民家マルシェ「社のおにわ亭」に。今回で6回目のこの企画も定着してきた感がある。若い人や小さな子供連れの家族ら約600人の人出で賑わった。この古民家（上月邸）をコワーキングスペースとして活用することになっており、リフォームもほぼ終わって、4月にコワーキング・レンタルスペース「ゆらの」がスタートすることになっている。

事務所に戻り、来客としばらく懇談。また、3時にも来客があり、相談を受けた。今日は風が強く冷たかったが、日差しは春の明るさだった。今日の県下の新規感染者数は21人だった。

106. 令和2年度補正予算案など可決

2021年03月05日

5日（木）、10時、議会運営委員会が開かれ、議事順序や議会改革などを協議。10時30分から自民党議員団総会。11時に本会議が開かれた。委員会審査結果の報告に続いて討論、そして表決が行われ、令和2年度関係の一般会計、特別会計補正予算案、条例改正案、ひょうご農林水産ビジョン2030など44件が可決された。

本会議終了後、県議会スポーツ振興議員連盟の総会。昼食をはさんで、自民党県議団総務会、日本会議議員連盟役員会、自民党文教部会の勉強会が行われた。

その後は幹事長室で執務。教育委員会、同僚議員との情報交換などで時間が過ぎる。午後6時から県議会コロナ対策調整会議が開かれた。緊急事態宣言解除後も引き続き感染再拡大防止を徹底していくこと、8日から21日まで神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市の4市では飲食店は午後9時までの営業、酒類の提供は午後8時30分までの時間短縮を要請することなどの方針について質疑が行われた。退庁したのは午後7時頃だった。今日の県下の新規感染者数は21人だった。

107. 東条中学校最後の卒業式

－ 4月から小中一貫校「東条学園」に

2021年03月11日

10日（水）、9時30分過ぎに加東市岩屋の東条中学校へ。今日は東条中学校としての最後となる第57回目の卒業式が行われた。

10時開式。国歌斉唱から始まった。マスクをして実際に斉唱することができた。2クラス58名の3年生に卒業証書が授与さ



れ、最後の生徒は5423号だった。送辞、答辞、在校生、卒業生の合唱があり、感動的だった。式場の体育館から退場していく生徒を見送った。最後尾の男子生徒が深々とお辞儀をして去ったのが印象的だった。今月末には閉校式も行われる予定だ。2,1年生の在校生は4月開校の小中一貫校東条学園の生徒になる。

今日は市内の4中学校で卒業式が行われたが、他の3校は感染防止対策のために来賓への案内はなかったが、東条中は最後ということで出席の機会を得た。実に素晴らしい卒業式だった。明日は3.11。東日本大震災から10年。

108. 3.11東日本大震災から10年

2021年03月12日

今日は東日本大震災から10年の日。新聞やテレビでは10年目の被災地や人々の今を報じている。あの日の午後、事務所に戻ってテレビに映し出される光景に釘付けになったことを今も忘れることはできない。自民党県議団としてその後幾度も被災地を訪れた。近いところでは、平成30年7月、政調会長時代に政調理事会のメンバーで宮城県と福島県を訪れ復興状況の調査を行った。

2時46分にはテレビ中継に合わせて黙祷を行った。東日本大震災の余震と考えられる地震が続いている。つい先日の福島県沖の地震もその一つだった。もちろん、南海トラフ巨大地震も発生確率は高く、これに備える県土強靱化が続けられている。日本

列島に住む限り自然災害から逃れることはできない。地震、津波、台風、大雨、大雪、火山噴火等々、おそらくこんなに多くの自然災害に見舞われる国はないのではないと思う。毎年やってくる災害、何十年、南百年周期でやってくる災害など、この列島に生きた先祖も経験してきた。そして、大きな被害を受けながらも負けずに乗り越えてきた。その教訓に学び、次なる災害に備えることを忘れてはならない。そのことを今日もあらためてかみしめた。

109. 加東市スポーツ賞・文化賞表彰式

2021年03月14日

9時過ぎに滝野文化会館（加東市下滝野）へ。令和2年度加東市スポーツ賞・文化賞の表彰式が行われた。スポーツ栄誉賞、功労賞、優秀賞、奨励賞の個人、団体の93名、文化功労賞、優秀賞、奨励賞15名、体育協会会長賞3団体に表彰状が贈られた。コロナ禍の制約の多い中で素晴らしい成績や成果を挙げた皆さんでしたが、久しぶりに会おう方も少なくなかった。

終了後、社公民館で行われていたやしる歴史民俗研究会の役員会に遅れて出席した。令和2年度はやはりコロナの制約を受け、計画した事業の実施が困難になった。3年度の計画、役員等について話し合ったが、コロナの収束状況を見ながら活動再開の時を待つことになるだろう。

110. 映画「めぐみへの誓い」

2021年03月15日

今日は、神戸市内の映画館（シネ・リーブル神戸）で上映中の「めぐみへの誓い」を鑑賞した。平成30年の暮れに鑑賞したた拉致問題啓発舞台劇「めぐみへの誓い―奪還―」の映画版だった。

昭和52年、部活を終えて帰宅中の横田めぐみさんが（当時



13歳)が北朝鮮の工作員に拉致され、工作船に乗せられて北朝鮮へ送られた。北朝鮮国内での洗脳教育や精神病院での拉致された日本人との交流、父と母の夢を見る場面、日本国内の事業所から拉致された男性が暴行を受ける場面など、拉致被害者が置かれている状況、また、北朝鮮に拉致された田口八重子(ウネ)さんが金賢姫(大韓航空機爆破犯)にスパイ教育を行う場面などが

描かれていた。めぐみさんの両親、横田滋さん、早紀江さんのめぐみさんへの思いと救う会の街頭活動やラジオ放送などの場面では、誤った認識から救う会に対して冷たい態度をとる市民も描かれていた。工作員の口からは、スパイ防止法のない日本、「性奴隷」「植民地支配」といった言葉で日本人に贖罪意識を持たせるのも工作の手法といったことが語られ、わが国の法整備の不備や歴史認識問題などについての啓発も含まれていた。父親の横田さんは昨年亡くなった。母親の早紀江さんは娘を取り戻すとの誓いをもって今も活動を続けておられる。兵庫県神戸市の拉致被害者有本恵子さんの母親の有本嘉代子さんも昨年亡くなられ、父親明弘さんはじめ家族にとって残された時間はなくなりつつある。そうした状況のなか、この映画は日本国民に拉致問題の一刻も早い解決の必要性を訴えるものだ。

2月14日に兵庫県・神戸市で拉致問題国民集会が開催されることになっていたが、コロナのために延期となったままだ。4月には開催されることになるのでは、と聞いている。

111. 予算特別委員会傍聴、日本会議北播磨支部役員会

2021年03月18日

17日（水）、9時30分過ぎには登庁。今日は予算特別委員会の総括質問が行われる。自民党を代表して門間雄司議員（豊岡市）が質問に立ち、60分9項目にわたって質問を行った。同僚議員と一緒に傍聴。その後、昼過ぎまで幹事長室で執務した。

加東事務所に戻り、打ち合せ、通信物の作成などをし、夜は日本会議兵庫北播磨支部の運営委員会に出席した。令和3年度の取組などについて話し合った。

今日は気温が上がり、春の風も吹いた。首都圏の4都県の緊急事態宣言が21日にも解除されそうだ。一方で、兵庫県の新規感染者は下げ止まりというか、増加の傾向さえ見える。変異株が気にかかるが、対策はこれまでの感染防止の生活スタイルを徹底するしかない。

112. 各種友好団体との意見交換会 1日目

2021年03月19日

18日（木）、9時10分過ぎには登庁。今日は自民党の各種友好団体との政策にかかる意見交換会の第1日目。2日間にわたり、75団体と自民党議員団が意見交換を行う。コロナ禍



で出席人数を制限したり、部屋の換気、あるいはリモート参加など、初めての試みも。9時30分から午後5時まで、各団体30分、3会場に分かれて実施した。

終了後、議会事務局、警察本部の報告を受け、5時30分過ぎ

に退庁した。今日県の対策本部会議が開かれた。時短要請を月末まで延長すること。明日、県議会のコロナ対策調整会議が開かれることになった。今日の新規感染者数は76人。東京都と3県に出されている緊急事態宣言は21日解除と決まった。しかし、下げ止まり、変異株、ワクチン接種、第4波などの言葉がメディアを通して飛び交う中、ウイルスとの戦いはまだ続いている。

113. 一部議員から金澤氏決定の白紙撤回申し入れ

2021年03月20日

19日（金）、9時過ぎには登庁。9時30分から各種友好団体との意見交換が始まった。2日目の今日も午後5時まで議員団との意見交換が行われた。

11時過ぎから県議会コロナ対策調整会議（各会派代表者）が開かれた。昨日の県対策本部会議の報告、対策や感染状況などについて質問が出た。変異株については、感染力は高いが重症化するとまではいえない。また、対策は従来からのマスク、消毒などの感染防止対策を徹底することだとのことだった。

午後5時過ぎ、議員団の一部議員から幹事長宛の申し入れを受けた。金澤和夫副知事を次期県知事候補として決定した昨年12月の議員団総会の決定を白紙撤回し、再検討せよというものだった。申し入れの真意について意見を聞き、（総会の決定は）手続きに基づいたものだったことを述べ理解を求めたが、返答は後日ということになった。



114. 加東市制15周年表彰式 加東アート館オープニング

2021年03月21日



20日（土）、平成18年3月20日に社町、滝野町、東条町が合併して加東市が誕生してから15周年を記念して、やしろ国際学習塾LOCホール（加東市上三草）で功労者表彰や善行表彰、感謝状贈呈の式典

が行われた。

オープニングでは、県立社高校生活科学科の地方創生政策アイデアコンテストの取組紹介、生徒会のかとうモザイクアートの披露が行われ、高校生がもち麦や観光などで加東市の活性化策に取り組んでいる意欲が伝わってきた。

午後2時から、加東アート館（加東市下滝野）のオープニングセレモニーと内覧会が行われた。アート館は旧滝野町庁舎の1階部分を改修してトリックアートを展示するもので、明日21日（日）のグランドオープンに先立ってセレモニーが行われた。

最大の特徴は、深海魚などのトリックアートをARで体験できるところだ。深海魚の解説などは「お魚王子」こと鈴木香里武さんによるもので、オープニングに東京から駆けつけ加東アート館への思いや期待を述べられた。内覧会で



は、動物や恐竜、そして深海魚のトリックアート、AR体験などを鑑賞したが、そのおもしろさに出席者が年齢も時間も忘れて楽しむほどだった。

午後4時、事務所に来客。今日は神戸新聞朝刊の1面トップに昨日の自民県議団の次期県知事選挙関係の記事が掲載されたものだから、朝から各方面からの電話が続いた。

今日の新規感染者は64人。60人台が続いている。夕方には宮城県方面で強い地震が発生した。津波注意報も出された。

115. 通信高校の卒業式

2021年03月22日

21日（日）、午後には雨が降り出し、一時は強く降った。そんな中、加東市内にキャンパスを置く通信制高校鹿島学園高校・鹿島朝日高校KG高等学院（兵庫北はりま・兵庫ひかみ）の卒業式が西脇市内で行われ出席した。コロナや就職・進学の関係で出席できない生徒もいたが、卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡された。私も祝辞を述べさせていただいた。

116. 令和3年度予算が成立 申し入れに拒否回答

2021年03月23日

22日（月）、今日は慌ただしい一日だった。9時に執行部会議から始まり、警察常任委員会、議会運営委員会、議員団総会、本会議と立て続けに会議が続いた。

まず議員団総会の冒頭で、19日（土）の午後5時に一部議員から申し入れがあり、翌朝の神戸新聞記事などに知事選挙に関する自民分裂の可能性が報じられた事等について、申し入れの内容について報告し、今日一日、意見等ある場合は幹事長室にと伝えた。

本会議では、令和3年度当初予算が賛成多数で可決された。ま

た、議員提出の議員報酬減額について、自民、県民連合、公明の3会派提出の5%減額案が賛成多数で可決。知事から補正予算案が追加上程された。

午後自民党議員団総務・幹事会、議員団総会、議会改革小委員会、各会派代表者会議が連続して開かれた。その後、幹事長室で数名の議員から申し入れについての考えを聞いた。また、1期議員からの会派分裂回避に関する申し入れも受けた。その他、午後5時までそうした意見が届いた。

午後5時、19日の申し入れの3議員に対し、12月11日の議員団総会の決定の白紙撤回、知事選検討の再検討せよとの申し入れは受け入れることはできないこと、検討会の議事録は整理して議員に公開することなどを回答した。朝から事態の取材で4階フロアで待ち構えていた報道陣の取材を受けその結果を伝えた。

夜、大阪府の財政課長が兵庫知事選挙に立候補の意向、兵庫県議会自民党の一部議員が会派を離脱し、擁立するとの報道が流れた。その後も関係者からの電話が鳴り続けた。対応は明日以降のことになるが、今日一日のことを書き留めた。

117. 警察常任委員会など一日を県庁で

2021年03月24日

23日(火)、今日は10時30分から警察常任委員会が開かれ、昨日付託された繰越予算案を審査し可決すべきものと決した。終了後、吉岡警察本部長から退任の挨拶があった。

その後は幹事長室で同僚議員と意見交換などを行い夕方まで執務した。自民会派内の一部議員による大阪府職員の知事擁立、会派離脱の動きへの対応、維新の会の動きもあり、今回の騒動の構図がはっきりしてきた。明日24日は今定例会最終日だ。

118. 金澤和夫副知事決意を表明―自民出馬要請から3ヶ月

2021年03月25日

24日（水）、今日は第353回定例県議会の最終日。10時から議会運営委員会、10時30分自民党県議団総会が開かれた。冒頭に最後まで一致団結して臨み、コロナ対策、3年度の予算を仕上げるのがわが自民党の県民への責任だと呼びかけた。

一部議員からの申し入れへの22日（月）の回答以降の動向を報告し、検討会の概要報告の文書、知事選挙等対策組織案（総務会了承）、めまぐるしく急展開する情勢の新聞報道記事などを配布した。また、執行部4人の辞職、任命を行った。

11時本会議が開き、補正（営業時短補償金等）、繰越予算案を可決。収用委員会、海区漁業調整委員会委員の同意人事、「大和堆周辺水域における漁船の安全操業の確保を求める意見書」などが採択された。すべての審議が終わり、金澤副知事が発言を求め、退任の挨拶を行った。人は生まれてくる場所は選べないが、骨を埋める場所は自らの意思で選べる。自分は兵庫を選んだ。これからも心から愛する兵庫に人生を捧げたいとの言葉にその心境、決意が伝わってきた。

本会議終了後、直ちに議員団総会を開き、井戸知事、退職する吉岡警察本部長、そして、金澤氏の挨拶を受けた。金澤氏への激励の声と拍手が鳴り止まなかった。また、退職する女子職員に花束を贈った。



そのあと、幹事長室で金澤和夫氏から出馬要請（昨年12月25日）に対する受諾書を受理した。3ヶ月待ったが、コロナ対策事務総長として対策に専念してこられたこ

とは理解している。その後、11人の議員から退団届が提出された。団を割らないでほしいという思いは残念ながら通じなかったが、非常に重大なことなので慎重に対応を考えたいということで預かりおくこととした。その後、4階フロアで記者会見を行い、11人の議員から退団届を預かったこと、取り扱いについては慎重に対応を考えていくこと、一丸となって知事選挙に臨めなかったことは残念に思っていること等を話し、質問に応じて11人の議員名を公表した（公表は議員代表から了承されている）。

午後1時30分から議会運営委員会、2時30分から地域代表のあり方検討会に出席し、昼食にありついたのは3時頃だった。その後は幹事長室で執務し、各方面からの問い合わせへの対応、諸連絡、今後の対応などについての相談などを行った。金澤副知事はその後、記者会見を開き立候補表明を行ったとのこと。一気に知事選挙へ向けて本格的な動きが始まった。

振り返れば、昨年8月末に議員団内に知事選挙等検討調査会を設置し、検討会を重ね、全議員からの意見聴取も行い、12月11日の井戸知事の今期で退任の表明を受け、検討会を開いて候補者名も挙げて協議。最終意見をまとめ、答申が出されて議員団総会で了承、金澤副知事を候補に相応しいと決定。16日の議員団総会で要請文の検討も行い、25日に金澤副知事に立候補要請を文書とともに行った。以来約3ヶ月を経て、受諾、立候補表明となった。残念極まりないのはその直前に一部議員から機関決定白紙撤回、候補再検討といった申し入れが行われ、今日、退団届の提出といった事態になったことだ。急展開する情勢をしっかり見きわめつつ、今後の対応、選挙応援体制を固めていきたい。

今日の新規感染者数が118名と3桁になった。気がかりだが、一層の感染防止に努めていくしかない。

119. 自民党議員団総会 議員団内綱紀委員会

2021年03月27日

26日（金）、午後1時から自民党県議団綱紀委員会が開かれた。先日、退団届を出した11人の議員の行動が団議にそむくものではないかとの複数の意見があり、幹事長として団内綱紀委員会を開き処分を諮問していた。午後2時から臨時議員団総会を開き、11人は欠席し、33人が出席した。まず、24日の退団届が出された以降の経過について幹事長から報告し、次に綱紀委員長の報告が行われた。11人から出馬要請を受けた大阪府財政課長の斉藤氏、維新の会の動向等、現時点では、不確定な状況であり、今後の状況を見ながら判断したいとして、今日のところは保留とするとの報告だった。その後、今回の知事選挙に対する団内の経緯について、約2年前からの経緯、知事選挙検討調査会における検討経過についてポイントを踏まえた報告が行われ、議員からも意見が出た。幹事長として、退団届けは預かっている状態であり、一つ塊になって知事選に臨むために引き続き努力をしたいと呼びかけた。

その後、会議室で記者会見を行った。金澤氏に対しては、県内の各種団体からの出馬要請は57団体に及んでおり、県民の皆さんに対して、現下の最大の課題であるコロナ対策、兵庫の経済回復に自民党県議団としての責任を果たしていきたいとの思いは変わらない。

今日も116人の新規感染者があり、3桁が続いている。春休みに入り、陽気もよく、人出が増える。しかし、マスク、消毒、大人数の会食をしないなど感染防止対策を徹底しながら楽しむ。加東市内の桜もだいぶ咲いてきた。夕方、千鳥川の桜堤の枝垂れ桜を散策する人の姿も見る。楽しみ方を工夫して経済活動を行っていくことが大事。

120. 東条中学校閉校式

—57年の歴史に幕、東条学園小中一貫校へ—

2021年03月28日

27日（土）、午後1時30分から東条コスミックホールで行われた東条中学校閉校記念式典に出席した。オープニングでは東条東中と東条西中時代から東条中学校の歩みが写真や動画で紹介された。



式典は、国歌斉唱、物故者への黙祷から始まり、第1回卒業生である閉校式実行委員長の挨拶、校長の式辞、市長の来賓挨拶、生徒会長の挨拶と続き、校旗が校長から教育長に返納された。最後に校歌を斉唱し閉校記念式典は幕を閉じた。

休憩後、記念演奏会が行われ、毎年コスミックホールで開催されている日本木管コンクールで優勝や準優勝をした奏者らによる演奏が行われた。

4月から東条学園小中一貫校として新たな歴史が始まる。新校舎はまだ建設中だが、今年秋には完成し、年明けから新校舎での学習と生活が始まる予定だ。3つの学校がその歴史に幕を閉じ、新たな歴史を踏み出す。今日は特別な記念の日となった。

121. 東条の東小、西小でも閉校式 東条学園小中学校につなぐ

2021年03月29日

28日（日）、朝から雨の一日だった。昨日の東条中学校に続き、



東条地域の2つの小学校でも閉校式が行われた。

午前は、東条東小学校の体育館で記念式典が行われた。歴代校長やPTA会長、校区の区長さんらが出席し、5、6年生は体育館で、その他の児童は教室で中継放送を視聴。元東条町長で、副市長も務めた小池さんが閉校事業の実行委員会を代表して挨拶を行った。式に続いて、映像で学校の歴史や活動を振り返り、記念演奏会も行われた。

145年の長い歴史を誇る学校であり、東条学園の新校舎が完成するまで西小の児童もこの学校と一緒に勉強することになっている。



午後は、東条西小学校。式典は石田実行委員長の挨拶、西田校長の式辞、安田市長の挨拶と東小と同じように続いたが、ここで、式に参加した全校児童49名による西小伝統の全校群読が

披露された。「山ねこ おことわり」（絵本 あまんきみこ）を全校児童が工夫した群読を行った。式後、128年の歴史を約10分にまとめた映像を視聴した。明治26年の校舎の写真や学校の北にある開墾園での活動など珍しい写真もあった。

昨日、今日、市内の方から知事選に関する今回の事態を心配して声をかけていただいた。応援の声も多くいただいた。衆議院の解散総選挙の時期に関する情報も飛び交い始めた。

122. 山田錦を愛する会で議会報告

2021年04月01日

年度末の31日（水）、県立嬉野台生涯教育センターで行われた「山田錦を愛する会」の令和2年度活動報告会に出席し、村岡真夕子議員と2人で県議会における取組等について報告を行った。私はこの秋に兵庫で開催されるブ



リュッセル国際コンクールのSAKE selectionで藤川禎次特別賞が創設されることになったことについて報告した。山田錦が世界の酒米、最高の日本酒の酒米としての品質を保ち続けていること（品質）、その主産地は栽培に最適な気候風土の兵庫の北播磨（産地）であること、そして、その育成と普及に尽くした人物、酒米試験地初代研究主任であった藤川禎次（人物）の名を冠した特別賞を創ることで、山田錦の凄さ、素晴らしさを強く世界に発信していこうとするもので、その意義は大きい。

午後は、登庁し、幹事長室で執務。同僚議員との情報交換や異動の挨拶に訪れた職員との挨拶が続いた。今日午後、元大阪府財政課長の斉藤元彦氏が兵庫県知事選挙への立候補を表明した。自民党県議団の11名の議員の支援を受け、日本維新の会の支援も考えていくことなどを話した。斉藤氏は会見後、自民党県連に推薦申請を提出したとのことだった。

今日、県下の新規感染者数が211人と、200人を超えた。大阪府は599人で関西の感染拡大が急となっている。井戸知事もまん延防止措置の要請を検討するという。

123.自民党議員団綱紀委員会

2021年04月02日

1日（木）、9時30分過ぎには登庁。今日から令和3年度がスタートした。着任した議会事務局や議員団控室の職員らとの挨拶に新年度の雰囲気を感じる。

幹事長室で執務。兵庫県も蔓延防止措置の適用を受けることになり、明日は県議会コロナ調整会議も開かれることになった。

午後1時から自民党議員団内の綱紀委員会が開かれた。3月24日に退団を願い出た11人の議員について、受理を保留し、引き留めの説得などに努めてきたが、31日に齊藤元彦氏が立候補表明し支援をすることが明確になったことを受け、昨年12月11日の議員団総会での金澤和夫氏を次期知事選の候補として相応しいとした決定に背く行為であることなどの判断から、団の規則にもとづき11人を除名処分とすることが決まった。委員会からの答申を受け、明日2日に臨時議員団総会を開き諮ることになった。

委員会後、記者会見を行った。知事選には自民党が一丸となって取り組むことが県政推進にとって重要なことであり、最大会派として、県民の皆さんへの責任であるとの思いであるがゆえに今回の事態は残念至極。しかし、別候補を立て、知事選に臨むことがはっきりしたことでこれ以上保留を続けることはできなくなった。

夕方から神戸市内で行われた美しい憲法をつくる兵庫県民の会の会議に出席した。

124.自民党県議団総会11名を除名処分に

2021年04月03日

2日（金）、9時30分頃には登庁。登庁議員と情報交換などを行う。

午後1時、自民党県議団総務会が開かれ、昨日の綱紀委員会の決定について協議を行い了承。引き続き議員団総会が開かれた。総会ではまず、着任した議会事務局職員らの挨拶、紹介が行われた。続いて、綱紀委員会の決定すなわち、11人の議員の除名処分を議題として、報告、協議が行われた。重い決定ということもあり、処分後の扱いについての質問や今日まで説得を続けてきたことの報告などもあったが、32名の賛成があり決定した。その後、全員が出席して記者会見を行った。処分と処分の理由などの報告を行ったのち、1期、2期の若い議員から、分断回避の要請を行ったこと、コロナ禍で県民の生活を守ることが第一などの意見も出された。

会見終了後、自民党県連本部で、谷公一会長宛ての、処分決定、県議団選出で県連役職に就いている11名の役職解任願を手交した。

その後も幹事長室で今後の対応などについて、議会事務局、同僚議員との打ち合わせを行った。

125. 日本女子ソフトボールリーグ尼崎大会

2021年04月04日

3日（土）、尼崎市のベikom野球場で第54回日本ソフトボールI部リーグ第1節尼崎大会が開かれ、2試合が行われた。2試合目の前に県ソフトボール協会を代表して永年表彰のプレゼンターを務めた。シオノギ製薬とビッグカメラ高崎の試合では先頭打者ホームランが出る



など、応援団や観客を魅了した。入場制限や食毒、検温などの感染防止対策を徹底しての開催だった。

夕方、加東に戻り、事務所への道すがら、千鳥川の満開の桜並木を観た。事務所へ来客。話題は自然、知事選をめぐる状況について。その後も電話対応が続いた。

126. 宝塚市長選挙告示

2021年04月05日



4日（日）、9時前に宝塚市の売布駅前駅に。今日、宝塚市長選挙が告示され、森協やすと氏ら4人が立候補した。森協やすと氏の事務所では神事に続き、事務所前のロータリーで出陣式が行われた。後援会長の挨拶

のあと、井戸知事、金澤前副知事、大串衆議院議員、末松参議院議員、加田参議院議員、藤田県議会議員が来賓挨拶をし、県議会議員、市議会議員らが紹介された。17名の自民党県議会議員が県下各地から応援に駆けつけ、森協氏を激励。森協氏は宝塚市の教育の再生や遅れている道路整備などを出馬の理由に掲げ、愛するふるさと宝塚市を元気にしていきたいと決意を述べた。その後、つめかけた多くの支援者の激励を受けながら、宣伝車に乗り込んで市内遊説に出発した。

昼前から雨が強く降り始めた。今日の県下の新規感染者は211人だった。明日から兵庫県に蔓延防止重点措置が適用される。

127. 蔓延防止措置で県議会コロナ対策調整会議

2021年04月06日

5日（月）、9時30分には登庁。同僚議員と情報交換。10時から県議会コロナ対策調整会議が行われた。兵庫県は今日から蔓延防止重点措置が適用となる。感染状況、対策などについて当局からの説明、質疑が行われた。第4波ともいえる急増と変異株の関連、感染経路、年代等について質した。もうすぐ春休みが終わり新学年が始まる。感染防止対策の徹底が必要だ。

その後は幹事長室で執務。議会事務局や同僚議員との打ち合せ、来客や電話対応などが続いた。夜は加東市で市議会議員と知事選の動向等について意見交換を行った。

昨日までの陽気とは一転、寒風が吹いた。今日の新規感染者数は87人。

128. 自民県連選対で次期知事候補に金澤和夫氏に決定

2021年04月08日



7日（水）、1学期が始まり、朝の登校見守りに立った。久しぶりに子供達の元気な姿を見た。6年生がいなくなり、ひとまわり小さくなったように感じた。一緒に立っている方からスズランスイセンの株をいた

だいた。

9時30分頃登庁。今日は午後3時から自民党兵庫県連の選対委員会が開かれる。自民党議員団では、10時から選対委員の打ち合せ、午後1時から議員団総会を行い、選対に備えた。

選対では、金澤和夫氏、斉藤元彦氏からそれぞれ40分間、意見を聞き、委員が質問を行った。無記名投票の結果、金澤氏に決まった。自民党県連選対は県議会議員14名、神戸市会の議員5名から構成されており、いわば兵庫県の自民党の意思といえる。斉藤氏には日本維新の会がすでに推薦を決定しており、維新の候補といえる。そうした関係についても質問が相次いだ。いずれにせよ、県連選対での結果は党本部に上申される。

選対終了後、結果を待つ県議団への報告会を行った。各委員からの報告を受け、議員団の今後の対応についての意見も出た。終了後、全員で記者会見を行った。

夜、ニュースで谷公一兵庫県連会長（衆議院議員）が県選出国會議員は斉藤元彦氏を推薦すると語ったとの知らせが入った。知事候補の推薦は自民党本部が決定するため、県連の決定と国会議員の候補が分かれた状態になる。記者会見でも地方、地元の声をしっかり受け止めて判断をしてほしいと述べたばかりだ。コロナ対策、兵庫の経済回復、ポストコロナの兵庫の躍進といった課題を克服していくためには広い兵庫をよく知り、これまで県民との対話を通してビジョンの策定作業も主導してきた金澤氏が相応しいという県連の判断を尊重してもらいたい。

今日、新規感染者数は328人にのぼった。県下各地で感染が拡大しておりクラスターも確認されている。徹底した感染拡大防止と医療体制の拡充、ワクチン接種。みんなで抑え込んでいくしかない。

129. 各会派代表者会議 感染急拡大への対応

2021年04月09日

8日（木）、今日も朝の登校見守りに立った。昨日は始業式。そして今日は入学式が行われる。開校した東条学園小中学校や市

内の小中学校、県立社高校の入学式が行われる。出席の予定だったが、各会派代表者会議が開かれることになり、登庁した。

10時から会議が開かれ、新会派結成による会派役員や各種会議等への取り扱いについて協議した。

その後は幹事長室で執務。コロナウイルス感染が急拡大し、蔓延防止等重点措置が適用されている。緊急に実施する必要な対策をまとめ、知事に対して申し入れを行うことになり、調整を行った。また、今日は昨日の自民党県連の決定を踏まえ、党本部、県選出国會議員に対して決定を尊重した判断を求め、3人の同僚議員が上京している。

今日は311人の新規感染者があり、ここ数日加東健康福祉事務所管内でも増加の傾向がある。変異株の感染拡大や若い世代に感染が広がっていることが報告されており、一層の警戒と備えが必要だ。

130. 県連会長の逆転決定に抗議(自民県議団) 知事にコロナ対策緊急申し入れ

2021年04月10日



9日(金)、朝、登校見守りに立ってから急ぎ登庁。昨夜来の県知事選候補推薦を巡る県連会長谷公一衆議院議員の動きに対して抗議すべく、10時から県庁記者クラブで会見を行った。

谷公一県連会長は、7日の自民党兵庫県連の選挙対策員会での金澤和夫氏の推薦決定の上申と併せて県選出国會議員団の総意

として斉藤元彦氏を党本部の選対委員会に上げたが、一本化が望ましいと差し戻され、その後、3人の県連幹部に電話をし、結果、斉藤元彦氏に一本化して党本部に再度報告したという。知事選の公認、推薦は党本部が最終決定を行うことになっている。そのために県連選対という正式な手続きを踏み、2人の意見、政策などを聞いたうえで、投票を行って決定した結果（金澤氏を推薦）を尊重することなく、国会議員団が別の決定を行い、最終的にこれを県連の決定としたことについて、その決め方、説明が一切ないまま一方的に行われたことは、承服し難く、自民党員はもちろん、次期知事を選ぶという重大な選挙に関心を持って見ている県民への説明もつかず、信頼を損なう行為であると言わざるをえない。

午後3時から議員団総会を開き、経緯、情勢について報告の後、各議員からの意見、今後の対応などについて協議を行った。続いて記者会見を行い、谷公一会長への抗議声明文を読み上げた。会見後、谷公一会長に宛て、声明文を送った。谷公一会長には電話でも直接議員団の意思を伝えた。

今日は、午後1時から自民党県議団として、井戸知事に対するコロナ対策の緊急要望を行った（写真）。変異株とみられる急激な感染拡大のなかで、病床確保等医療体制の拡充、協力金等支援金の速やかな給付、女性、ひとり親家庭への支援、県民とりわけ若い世代への発信、対策等について知事に要望し、意見交換を行った。

今日も新規感染者は314人と300人を超えている。県の対策本部会議も開かれた。週明けには県議会コロナ調整会議が予定されている。

131. 泉こども園園舎竣工式

2021年04月12日

11日（日）、今日も好天に恵まれ、新緑がまぶしい一日となった。10時から泉こども園（加東市西垂水）の新園舎竣工式典が行われ出席した。同園は平成30年に幼保連携型認定こども園になり、老朽化した園舎の改築に取り組んできた。



新園舎は南側に西垂水の池に面し、北側は田圃が広がり、五峰山光明寺の山並みが一望できる。子供達が豊かな感性を育むには絶好の環境にある。園舎の部屋の中に小さな畳敷きの空間があり、尋ねてみると、子供達の隠れ場だそうで、工夫が凝らされており、楽しそうな園舎だった。

今日は229人の新規感染者数だった。加東市の伝統の祭りでも、大型連休中に行われている秋津百石踊（雨乞い）と朝光寺の鬼追踊りが中止になったと神戸新聞に報じられていた。残念だが、この感染状況ではやむを得ない。

132. 県議会コロナ対策調整会議 自民党本部の決定

2021年04月13日

12日（月）、10時から自民党執行部会議。11時から県議会コロナ対策調整会議（各会派代表者会議）が開かれた。感染急拡大の現状、蔓延防止重点措置対象地域での対策、ワクチン接種状況などが報告され、質疑が行われた。大阪との交流がある阪神地域や周辺、若い世代での感染が拡大していること、5月中には

医療従事者のワクチン接種がほぼ完了すること、会食うちの活用などについての質問も出た。

午後は幹事長室で執務。退庁後、夕方のニュースで自民党本部が斎藤元彦氏に推薦を出したとのニュースが流れた。谷公一県連会長が再上申で県連選対委員会の決定である金澤和夫氏ではなく、斎藤元彦氏を本部に上げたことに対して、その決定の方法や内容について納得のいく説明もないまま、県議団として承服できないとの抗議文を谷公一会長に9日付で送付している。また、電話でも直接抗議を伝えている。

11日の宝塚市長選で、私たちの推す森脇保仁氏は残念ながら勝利を得ることができなかった。宝塚市をこよなく愛し、財政再建やインフラ整備、教育の再生を訴えたが及ばなかった。県議会で1期先輩の森脇氏のふるさと愛、教育再生への熱い思いと活動に大きな影響を受けた。

夕方のニュースでヤングケアラーの実態についての報道があった。2月議会で自民県議団副幹事長の吉岡たけし議員がヤングケアラーについて取り上げ、支援を提起している。

今日は月曜日で新規感染者は少なく出る日だが、それでも159人と高い数字が出ている。全県下に感染者が出ており、北播磨でも連日2桁に近い数字があがっている。一層の感染防止対策の必要性がある。

133. 地元自民党支部で県知事選挙をめぐる経緯を報告

2021年04月15日

14日（水）、今日は加東市民病院で人間ドックを受けた。毎年この時期に受けているが、年々手順が改善され手際がよくなっているように思った。よく知った方々と出合い挨拶をするも話題はやはり県知事選挙をめぐる動きに。

夜、自民党加東市支部の幹事会が開かれ、県知事選挙をめぐる経緯などについて報告を行った。自民党県議団の分裂、県選出国會議員団の動き、県連選挙対策委員会の結果、自民党本部の決定等の経緯、日本維新の会の動向、金澤、斎藤両氏のことなどの報告に続き、出席者から意見や質問が出された。自民党が分裂しているのは残念だが、県連選対の決定を尊重するのが筋だという意見が大勢を占めた。

今日、兵庫県下の新規感染者数が507人と過去最高となった。北播磨でも42人という数が出た。大型連休中の加東市内の3大行事、秋津百石踊、朝光寺鬼踊、滝野花まつり鮎まつりは去年に続いて中止となった。ここは、やむを得ない。

134. 県庁で執務の一日 感染急拡大

2021年04月16日

15日（木）、朝の登校見守りに立ち、県庁に向かった。県道神戸加東線沿いの野山は新緑にまぶしく光っていた。

登庁してすぐに議会事務局と会派部屋割りについて協議。少し狭くなるが、使い勝手のよい配置になりそう。その後も同僚議員や来客など、一日を幹事長室で執務した。

谷公一自民党兵庫県連会長から議員宛に先日の抗議声明文に対する回答にあたる文書が送られてきた。そのコピーを読んだが、納得のいかないものだった。同僚議員からも同様の意見が寄せられた。

今日も493人の新規感染者。県では、蔓延防止等重点措置の対象地域を追加した。大阪府では学校の部活動の中止も発表された。感染力の強い変異株に置き換わっているとされ、より感染防止対策を徹底していくことが必要だ。加東市では、昨日から安田市長が防災放送で感染防止を訴えている。

135. 会議、委員会、議員団総会、記者会見の一日

2021年04月17日

16日（金）、9時過ぎに登庁。9時30分から各会派代表者会議、10時から議会運営委員会、10時30分から警察常任委員会と立て続けに会議、委員会が開かれた。警察常任委員会では、本部長はじめ新任職員の紹介が行われた後、閉会中の継続事件調査として、テロ、災害対策について調査が行われた。

午後1時から自民党議員団の総会が行われた。諸報告に続き、県知事選挙について協議を行った。12日の党本部の斎藤元彦氏推薦決定、我々の抗議文に対する14日付の谷公一県連会長からの回答に対する見解、今後の対応等について話し合った。その後、議連の意見交換会と並行して記者会見を行った。議員団は一致して金澤氏を最適任とする議員団の決定、県連選対委員会での決定を正当なものとし支援を行っていくこと、谷会長が党本部に一部の県連幹部と協議して斎藤氏を上申した行為は承服できない、の2点を発表した。

午後3時から県議会コロナ対策調整会議が行われた。感染急拡大と蔓延防止等重点措置の対象地域拡大、対応策について県当局の報告を聴き、その後質疑が行われた。今日の県下の新規感染者数は510人と過去最高を記録している。若い世代、強い感染力、家庭内感染による拡大などがキーワードになっている。まだ感染拡大は続くと見られ、これまで以上に徹底した感染防止行動が求められている。そして、ワクチン接種だ。

夕方まで同僚議員や記者と話し、退庁。今日も淹れてもらったコーヒーをゆっくり飲む時間がなかったが、夕方ようやくおいしい一杯にありついた。

136. 今日も県庁でー

「犯罪のない兵庫をつくる」記者会見も

2021年04月21日



20日（火）、9時30分には登庁。さっそく同僚議員との情報交換や電話での日程調整などを行った。

午後1時、県庁記者クラブで、自民党県議団の保護司のグループの記者会見を行った。

平成21年から再犯防止などの活動を積極的に続けており、国（法務省）に対しても県の取組を伝えるとともに要望を重ね、そうした発信が国のシステムを変えるなどの成果を上げている。今後は議員団として「自民党犯罪のない兵庫をつくる会」として取り組んでいくことが決まっている。

午後には新緑に包まれた湊川神社に。参拝後、兵庫県神社庁を訪れた。県庁に戻り、水田政調会長と一緒に私学総連合にご挨拶に。夕方まで幹事長室で執務した。

大阪府が緊急事態宣言の要請を決めた。今日の兵庫県下の新規感染者数は427人。加東健康福祉事務所管内では16人と拡大が止まない。21日に兵庫県でも対策本部会議が開かれる。22日には県議会コロナ調整会議も行われることになった。

137. 日本会議北播磨支部例会

「夫婦別姓問題」をテーマに熱い議論

2021年04月22日

21日（水）、今日も県庁で一日執務した。幹事長室に加東市議会の藤尾潔議員と長谷川幹男議員が来室され、地元課題につい

て意見交換を行った。11時にはJA全農兵庫本部にご挨拶に。午後幹事長室で同僚議員との情報交換や議会事務局との打ち合せ、来客対応などが続いた。

夜、加東市内で日本会議北播磨支部の例会が行われ



た。コロナ禍で例会は1年以上休止状態だったにもかかわらず、16人の会員が出席し、「夫婦別姓問題」をテーマに学習し、意見を交わすことができた。教育問題にも話題が広がり時間が足りないほどだった。

今日、県下では563人の新規感染者があった。対策本部会議では、緊急事態宣言の要請が決まった。加東健康福祉事務所管内でも20人と感染拡大が続いている。具体的な対策は今後決めていくということで、明日の県議会コロナ調整会議は23日に延期された。

138. 後援会役員会で金澤和夫氏あいさつ

2021年04月23日

22日（木）、今日はコロナ対策調整会議が23日に延期されたため、加東で一日を過ごした。同僚議員との情報交換や幹事長室からの電話対応、事務整理や夜の後援会役員会の資料づくりなどを行った。

夕方からふじもと百男後援会の役員会が行われた。この会のはじめに金澤和夫氏が出席し、挨拶、決意を表明した。初めて金澤氏と話したという人が殆どだったが、副知事時代に出会ったという人や20日に発足した金澤氏の後援会である「共にかがやく兵

庫の会」の加東地区の代表も出席され、出席者全員が金澤氏支援に賛同いただいた。その後、金澤氏出馬表明までの経緯や自民党議員団、県選出国會議員や党本部の推薦をめぐる動きなどについて説明し、理解をいただいた。役員さんからはコロナ対策をはじめ難局を乗り切るためにも兵庫のことをよく知っている金澤氏に託したいとの声や会ってみると明るくフレッシュな感じで好感が持てた、との感想も聞かれた。

今日は県下の新規感染者は547人。加東健康福祉事務所管内（北播磨）でも26人の感染者が確認されており、感染拡大が続いている。緊急事態宣言での休業要請等についての問い合わせや要望も届いている。

139. 緊急事態宣言発出でコロナ対策調整会議

2021年04月24日

24日（金）、9時30分過ぎには登庁。幹事長室で同僚議員との情報交換や議会事務局との打ち合せ、緊急事態宣言の対処などについて当局への問い合わせ、地元行事等の確認などを電話で行うなど、慌ただしい時間が過ぎた。

週明けの26日の議員団総会で新幹事長が選出されることになっており、いわば、今日が幹事長室での執務の実質的な最終日になる。夕方5時、緊急事態宣言発出に対するゴルフ練習場協会など団体からの休業要請や宣言終了後の回復措置等に関する要望を受けた。

午後6時過ぎから県議会コロナ対策調整会議が開かれた。当局から感染状況、県の対処方針などについて報告があり、続いて質疑が行われた。3度目の宣言発出は、大型連休での人流を抑えることを主眼に短期集中で、全県を対象に5月11日まで実施される。説明に対して休業要請対象業種の確認や補償、支援、教育、医療

体制、ワクチン接種などについて質問が出された。しかし、細部にわたっては精査中との答弁もあり、国の方針がはっきりしていないこともあるようだった。会議が終わったのは午後7時30分を過ぎていた。

今日も県下で567人の新規感染者が確認された。また、加東健康福祉事務所管内（北播磨）でも32人と高い数字が続いている。県議会も緊急事態宣言に対応する方針が議長から発せられた。

140. 自民議員団新執行部へ一幹事長役を終える

2021年04月27日

26日（月、）10時には登庁。幹事長室の片付け、同僚議員との情報交換などを行う。11時30分、自衛隊兵庫地方本部長が来訪、防衛議連の議員への挨拶をいただいた。自民党防衛議連の会長に私が、そして事務局長に水田議員が就任した。

午後1時、自民党議員団総会が開かれ、議員団役員の改選が行われた。今期3年目の新幹事長に小西隆紀議員（丹波篠山市・4期）、政務調査会長に浜田知昭議員（洲本市・3期）が当選し、選任された。また、副幹事長、副政調会長も選任され新執行部が誕生した。

これで、昨年5月8日から始まった私の幹事長職も終わった。緊急事態宣言中に就任し、3度目の緊急事態宣言中に退任するという、まさにコロナ対策の一年だった。知事への緊急申し入れも10回（自民単独では5回）にのぼった。また、次期知事選をめぐり、11名の仲間を除名処分としたことは痛恨の極みであった。これからは、一団員として小西幹事長を支えていきたい。

総会の冒頭、山本議員団選対本部長からの激、20日に立ち上がった金澤和夫氏の後援会「共にかがやく兵庫の会」の会報紹介や諸連絡を行い、金澤氏への支援をさらに強化していくことが確

認された。

3時30分から新旧執行部の引き継ぎ。4時15分から読売新聞のインタビューを受けた。退庁したのは6時前だった。帰路、東の山の端に丸い月が白く光っていた。

県議会本会議、決算特別委員会での質問抜粋

第353回定例県議会 代表質問抜粋

令和3年2月25日



藤本百男議員は、自民党を代表して7問8項目にわたり諮問しました。

項目は次の通りです。

1 問目は、井戸県政5期20年の総仕上げに向けた今後の取組について2項目。

その1は、これまでの評価と残された課題への今後の取組について、

2は、令和3年度当初予算案の特徴と今後の財政方針について。

2 問目は新たな将来ビジョンについて。

3 問目は実効ある新型コロナウイルス

感染症対策の推進について。

4 問目は実効ある雇用確保対策について。

5 問目は「ひようご農林水産ビジョン2030」に込めた理念と今後の方向性について。

6 問目は県土強靱化を加速させる今後の取組について。

7 問目は、未来の県立高校のあり方について、

そのうち、1問目のその1、3問目、7問目の質問と答弁記録を掲載します。

【藤本議員】。

おはようございます。加東市選出の藤本百男です。

今年度は、昨年4月7日の緊急事態宣言発令に始まり、今なお世界中で猛威を振るい続ける新型コロナウイルスとの果てしない闘いに終始する一年となりました。まさに、激動の一年となった令和2年度を

締めくくる今定例会での最初の質問者を務めさせていただきます。

質問に先立ち、感染者の爆発的急増により二度目の緊急事態宣言が発令され、医療崩壊寸前の極限状態の中、自らも感染するリスクにさらされながらも、毎日昼夜を問わず懸命に対応していただいている医療従事者の方々をはじめ、何かと制約の多い息苦しい状況のもとにおいて何とか感染拡大に歯止めをかけようとご協力いただいている多くの県民の皆様に、心から感謝申し上げたいと思います。

そして、新型コロナウイルスの感染拡大が一日も早く収束し、延期となった東京オリンピック・パラリンピックが無事開催され、その後続くワールドマスターズゲームズ関西や大阪・関西万博などを機に、再び日本が活気を取り戻す日が必ずやってくると思っています。

コロナ禍は、日本をはじめ世界各国の社会経済活動や人々の日常生活に、いまだかつて経験したことのない深刻なダメージを今も与え続けています。国難ともいえる極めて厳しい状況ではありますが、新型コロナウイルスの感染拡大防止と経済活動の両立という困難な課題に対し、阪神・淡路大震災からの創造的復興をなし遂げた兵庫県だからこそ、あの震災を乗り越えた兵庫県として、地域が活力を持って自立し、県民が将来への夢や希望を持ち続けられるような社会にしていかなければなりません。

加えて、井戸知事が今任期での退任を表明されたことにより、今年7月末で、県政史上最長5期20年に及ぶ井戸県政は終わりを迎え、兵庫県のかじ取りが新たなリーダーに委ねられることになります。そのような意味で、時代の転換期となる令和3年度は、本県にとって極めて重要な一年になることを念頭に、会派を代表して、以下7問8項目、一括方式で質問をいたします。

【藤本議員の質問1】

質問の第1は、井戸県政5期20年の総仕上げに向けた今後の取組についてであります。この項の1点目は、これまでの評価と残された課題への今後の取組についてであります。

昨年12月、井戸知事は、本会議場において新しい時代は新しいリーダーのもとで創り上げるべきと述べ、任期満了となる今年7月末での退任を表明されました。

井戸知事が第48代兵庫県知事に就任したのは、ちょうど時代が21世紀に切り替わった2001年、平成13年の8月1日でした。その後、阪神・淡路大震災からの創造的復興や行財政構造改革の推進など数多くの困難な課題に果敢に立ち向かい、着実に結果を残してこられました。そうした知事の姿勢や政治手腕が多くの県民から評価され、県政史上最多となる5度の当選に結びついたのであると推察いたします。

我が会派では、昨年8月、知事選挙等検討調査会を立ち上げ、これまでの井戸県政を検証した上で次期県政の課題整理を行いました。検討を進める中で、多選の弊害や年齢のこと、施策面では、地域創生や長期ビジョンの推進などにおける課題や問題点を指摘する意見もあったものの、総じて概ね高い評価がなされました。

我が会派としては、次のリーダーは、本県が築いてきた県政の基調を承継し、新しい発想により変革に挑むことができる人物であり、長きにわたり井戸知事を支えてきた金澤副知事が適任と考え、昨年12月25日に立候補の要請を行ったところであります。

とはいえ、井戸知事の任期はまだ5ヵ月も残っています。井戸知事は、今定例会冒頭の提案説明において、5ヵ月余りの残る任期を全力で駆け抜け、次代へのつなぎ役として責任を果たすと決意を述べられました。5期20年の井戸県政の総仕上げに向け、任期中には解決できない課題についても、我がふるさと兵庫が今後歩んでいくべき道筋をつけておこうと考えておられると受け止めましたが、井戸県政の集大成に向け、これまでの歩みを振り返るとともに、残された県政課題についてどのような認識を持っているのか、来年度の当初予算案を審議する重要な2月定例会であるからこそ、いま一度、知事の考えを確認しておきたいと思います。

そこで、これまでの県政運営に係る自己評価と残された課題に今後どのように取り組んでいこうと考えているのか、お伺いをいたします。

【井戸知事の「答弁」】

自由民主党議員団を代表しての藤本百男議員のご質問にお答えします。

まず、これまでの評価と残された課題についてのお尋ねがございました。

私が知事に就任した平成13年、2001年は21世紀のスタートの年でありましたし、バブル崩壊後の本格的な成熟社会へ模索していた時期でもありました。日本経済が景気後退に見舞われ、兵庫県も有効求人倍率が0.4前後と低迷し、震災復旧・復興の途上でありましたし、少子高齢化への対応や産業構造の転換が求められていました。このような将来を見通すことが難しい時代の転換期だけに、震災復興計画の実現を目指すとともに、県民の兵庫へ期待する夢や希望をビジョンとして取りまとめ、この夢や希望を県民とともに実現していく参画と協働を基本に県政を推進していくことにしました。

震災からの復興に当たっては、単に震災前に戻すのではなく、成熟社会の課題に先導的に取り組む創造的復興を目指してまいりました。そして、のじぎく国体の開催により内外の復興支援に感謝することができました。震災復興に伴う県債の償還ができる財政構造の改革を目指すとともに、県民の要請に対応できる行財政基盤の確立を目指してきました。たび重なる風水害に対しては、再び災害を引き起こさない強靱な県土づくりを目標としてきました。

地域の元気づくりには、五国の特性を生かした地域ごとの創生戦略や地域再生大作戦など、地域創生を推進してきました。

産業では、ものづくり産業を中核としながら、産業基盤の整備やイノベーション、そして観光に力を入れてきています。

少子・高齢化、子育て、教育の分野においても特色を発揮できる環境づくりを進めました。

インフラ整備も、高速道路ネットワーク形成がもう一步というところまで来ています。いずれも県民や議会の協力を得て一定の成果が得られたと認識しています。

一方で課題も残されています。

まず、コロナ対策が最優先ですが、感染の収束と経済の回復に向けて県民の皆さんの協力を得て取り組んでまいります。コロナを乗り越えた先にある兵庫の姿を描き、具体化への道筋をつけていかなければなりません。

この一つには、デジタル化の本格的な推進です。

情報通信基盤を強化し、ＩＣＴを活用した地域課題の解決に取り組みます。

二つには、変化に強い産業構造への転換です。スタートアップ起業や創業の促進、次世代産業の育成、ものづくり産業の新分野への進出を図ることなどです。

三つには、地方回帰を促す環境整備です。移住・定住、企業立地の受け皿や支援制度を充実し、密から疎への流れを確かなものにしていきます。

四つには、兵庫2030年の展望リーディングプロジェクト、地域創生戦略の具体化を進める地域プロジェクトなど、先導的な取組も強化します。

ご指摘のように、残り任期は５ヵ月余りですが、コロナ対策はもとより、ポストコロナ時代をリードする兵庫づくりへとつなぐべく、しっかりと職責を果たしてまいりますので、よろしくお願いいたします。

【藤本議員の質問３】

質問の第３は、実効ある新型コロナウイルス感染症対策の推進についてであります。

昨年11月、新型コロナウイルスの感染第３波が襲来し、１日当たりの新規感染者数が過去最多を何度も更新する事態に陥りました。年が明けても一向に感染収束の兆しは見られず、１月13日には緊急事態措置を実施すべき区域に本県が加えられる事態となりました。

新規感染者の爆発的増加によって医療体制が逼迫の度合いを増す状況にあった先月20日、我が会派は、知事に対し、県民の生命、安全・

安心を守るための対策に関する緊急申入れを行い、入院調整中の患者の健康観察をサポートし、容体の急変に対応する仕組みを早急に確立することをはじめとする緊急対策の実施を強く知事に求めたところです。

県におかれては、我が会派からの申入れを踏まえ、入院待ち患者への看護師派遣など新たな対策を迅速に実行に移していただいたことに、この場をお借りして心より感謝を申し上げます。

感染拡大を根本的に抑えるためには、今月17日から医療関係者に先行接種が始まったワクチン接種が一般国民向けへと順調に進み、より治療効果の高い薬の登場が待ち望まれます。しかし、それが実現するまでの間は、人間の知恵と行動によってコロナとの闘いに打ち勝っていかなければなりません。

感染拡大を食い止める上で最も重要なことは、各人が高い危機意識を持ち、互いのことを思いやりながら良識ある行動をとることだと思います。多くの人はちゃんとやれることはやっているものであり、それ以外のほかの人にどれだけ迷惑をかけるかを考慮に入れず行動する身勝手な人たちの行動変容をいかに促すか、それが感染症対策の成否を分けると思います。

そういう意味で、人々にどのような働きかけをすれば社会的に望ましい方向に導くことができるのかという社会的課題に対し、経済的支援に加え、近年、大きな関心を集める行動経済学におけるナッジやデフォルトの活用といった知見を生かすことができないか、あの阪神・淡路大震災を県民一丸となって乗り越えた兵庫だからこそ、積極的に検討してみてもどうかと考えます。

残念ながら、2月7日での緊急事態宣言解除は実現しませんでした。今、解除要請を行うところまでこぎつけています。これまで経験したことのない未知のウイルスとの闘いにおいて、最初から誰もが納得する完璧な対策を講じることなどできません。

県は、昨年、8月末までの県内の感染状況や県の対策について分析・検証を行い、その成果を第1次報告として公表したところであります。緊急事態宣言が再び発令される切迫した情勢のもとにおける今回の県

の一連の対応についても、今後、様々な専門分野の専門家の意見も聞きながら、政策効果の分析・評価を行い、今後の対策に生かしていく必要があると考えます。

先般、国は、コロナ対策の実効性を高めるための法改正を行ったところですし、本県においても、円滑なワクチン接種を推進するための組織を新設するなど、様々な取組を推進しています。

そこで、新型コロナウイルス感染症対策の実効性を更に高めていく上で、どんな課題があると認識しているのか、そして、課題解決に向け今後どのように取り組んでいこうと考えているのか、お伺いします。

【井戸知事の答弁】

実効ある新型コロナ対策についてのお尋ねがありました。

感染拡大防止には、県民による3密の回避、マスク着用等の基本的な感染防止策の浸透を図るとともに、的確な社会活動制限への県民の協力が不可欠であります。県では、基本的な感染防止策を取り入れた生活様式、兵庫スタイルを打ち出し、その実践について県民に訴えています。

ご指摘のナッジは、自発的に望ましい行動を選択するよう促す環境づくりという行動経済学に基づく手法で、例えばスーパーのレジ前に一定間隔で印を付けるなど、兵庫スタイルの実践手段としても取り入れているものです。この呼びかけにしても、家庭感染が多い状況でありますので、家庭内の食事会などにも注意を払ってもらうことなど強化していくことを考え、検討してまいります。今後、更に効果的な取組事例があれば広く紹介し、県民の感染防止に役立ててまいります。

一律ではなくターゲットを絞った要請として、感染リスクが高いとされる飲食店に対し、営業時間短縮の要請を行っています。県内の協力状況を調査したところ、98.6%が実施されています。新型インフルエンザ等対策特別措置法や感染症法の改正により、ルールを守らない者に対する命令や過料の規定が設けられましたが、対策の実効性を高める基本は、事業者を含め県民一丸となった取組であり、その理解と協力を求めていくため、デフォルトと言われる定番であっても、様々

な手段・手法により、引き続き粘り強く訴えてまいります。

本県は、感染状況や医療提供体制の改善が見られるため、昨日、緊急事態宣言を今月いっぱいとし、3月からは解除されるよう国に要請しました。しかしながら、県民や飲食店、イベントなどへの要請は段階的に見直すべきであり、3月や4月の初めは、歓送迎会や謝恩会など行事の多い時期でもあるので、慎重な取組を継続させていただきたいと考えています。また、再び感染の広がりの予兆をしっかりと見据えて、的確に行動してまいります。

今後とも、感染拡大防止と社会活動との両立を図り、新型コロナウイルス収束に向け全力で取り組んでまいります。

【藤本議員の質問7】

質問の最後は、未来の県立高校の在り方についてであります。

県教育委員会が昨年10月に発表した令和3年度の公立高等学校生徒募集によると、今春の国公立中学校の卒業見込者数は4万3,100人で、昨年より1,753人減少することから、全日制高校の定員が1,200人、30学級分の減となりました。全日制高校の定員減は、これで7年連続です。令和3年度以降も卒業見込者数の減が続くと見込まれており、このままでは、学年単学級、あるいは2学級といった小規模校が今後更に増加し、学習活動や部活動などの面において生徒のニーズに十分応えられない状況に陥ってしまうのではないかと、強い危機感を抱いています。

皮肉なことに、コロナ禍が学校教育のICT化の流れを加速させました。国は、今年度で全ての小中学生への学習用パソコンやタブレット端末の配備を終え、2021年は学校教育のデジタル化が動き出す教育のICT元年になります。情報通信技術の飛躍的な進歩は、双方向でのリアルな遠隔授業を可能にするなど、ICTは少子化が進む中で将来の県立高校の在り方を考える上で、大きな可能性を秘めていると思います。

県教育委員会は、これまで少子化による中学校卒業生数の減少に対

し、たとえ小規模化しても学級数を減らすことにより、大切な地域資源である高校を存続させるよう努力してられました。一つの市町に1校しかない地域では、高校生が地域の課題研究などで様々な活動を行うことで地域創生の原動力となっていることはもとより、そこに通うべき高校があり、自身が育った地元の高校へ通学することが、卒業後の若者の地域外への人口流出防止策ともなっています。人口減少に伴って一律に学級減を行い、果ては廃校したり市町外の学校に統合されてしまうという事態になれば、地域の存続に関わる大問題に発展し、県が進める地域創生の取組に逆行する結果になってしまうのではないかと懸念します。

私は、東京一極集中の状況を打開し、本当の意味での地域創生をなし遂げるには、その基盤となる確固としたふるさと意識が醸成されていなければならないと思っています。ふるさととは、自分が生まれ育ったところ、あるいは学び暮らしたところ、そして現に、今、生活しているところなど、自分の人生において深い関わりを持っているところと言ってよいでしょう。そうした自分の人生にとってかけがえのない存在としての自然や風景、家族や身近な人々、文化や伝統、産業などへの親しみ、懐かしみ、愛着、誇りといった自然な感情が、ふるさとという言葉に込められていると思います。この自然な感情を共有し、更に大切にしていきたい、そのために生きたいといった積極的な意思、それが私たちの目指すべきふるさと意識の醸成ではないでしょうか。そういう意味で、将来の県立高校の在り方を議論するに当たっては、そうした視点も入れながら、総合的かつ丁寧な検討を行っていく必要があると考えます。

県教育委員会では、昨年6月、ひょうご未来の高校教育あり方検討会を立ち上げ、高等学校教育の更なる充実を図るための県立高校の望ましい規模と配置の在り方に係る検討をスタートさせました。検討会は、これまで6回開催されており、来月末には報告書が取りまとめられると聞いております。

そこで、未来の県立高校の在り方について検討委員会の議事録も公

開されており、既にパブリックコメントも行われたところでありますが、同委員会でのどのような議論が交わされてきたのか、改めてその概要を伺うとともに、それを踏まえ、県教育委員会として今後どのように対応していこうと考えているのか、お伺いします。

【西上教育長の答弁】

私から未来の県立高校の在り方について、ご答弁をいたします。

本県では、これまでから学びたいことが学べる魅力ある学校づくりを目指しまして、高校に求められる教育内容とそれを実現するための規模と配置等について、検証と見直しを重ねてまいりました。

今回のあり方検討会では、これからの課題といたしまして、まず教育内容につきましては、一つとしてはＩＣＴやＡＩ等の情報技術を活用する力の育成、二つとしては、グローバル社会の中で多様な価値観を持つ人々と協働できる資質を育む観点から、また規模と配置につきましては、少子化が進み全日制県立高校の３分の１に当たる４２校が既に適正規模を下回っている状況の中にある中で、学びの魅力や特色を維持・活性化する観点から、その方策を議論いただいてまいりました。

報告書の素案によりますと、まず教育内容につきましては、一つとしては、１人１台端末や遠隔授業による個に応じた多様な学びの提供、二つとしては、兵庫型STEAM教育のような文理融合型の新学科の設置、三つ目は、高校生のふるさと意識を醸成するため地域の課題を対象とした探求活動の推進などの具体的な提言が盛り込まれております。

また、適正規模と配置につきましては、今後、一つとしては、高校の選択肢が豊富な地域では発展的統合により適正規模を維持すること、二つとしては、選択肢が限定される山間部等の地域では、地域からの協力を得ながら個別に対策を検討すべきとの方向性が示されております。

３月末、報告書受領後につきましては、県議会、そして市町などに報告書の説明を行うとともに、ご意見をいただく予定としております。そして、令和３年度中には、次期実施計画として具体的な方策を取りまとめたいと思っております。引き続き、ご支援よろしくお願ひいたします。

令和元年度決算特別委員会 質問と答弁（抜粋）

令和2年9月議会



藤本百男議員は、令和2年9月議会に設置された決算特別委員会の委員として、企画県民部、農政環境部、教育委員会の審査で質問に立ちました。そのうち、教育委員会での質問と答弁を掲載します。

教育委員会の審査での質問

【藤本議員の質問】

2問目は、『ふるさと兵庫魅力発見』の活用についてである。

元年度、県下の中学校1年生に教育委員会が兵庫県150周年を機に作成した資料集『ふるさと兵庫魅力発見！』が配布された。この冊子は、兵庫五国の自然や産業、歴史、人物、伝統、ものづくりなどがカラー写真と分かりやすい解説で紹介されており、兵庫県の多様で奥深い魅力が網羅されている。

この冊子は、総合的な学習の時間等での活用や授業でも使うことができるようになっており、単なる地理、歴史の学習資料とは違って、兵庫への愛着やふるさと意識を醸成するのに大いに役立つ冊子だと考えている。学校現場での活用状況と反応、そして、今後の課題について伺う。

【村田義務教育課長の答弁】

『ふるさと兵庫魅力発見！』は、ふるさと兵庫に誇りを持ち、愛着を深めることを目指して、令和元年度から県内全ての中学生に配布しており、昨年度の活用状況によると、授業や読書等で活用している中学校が93.4%となっている。

授業での例として、兵庫県をアピールするためのパンフレット制作

に活用した、あるいは、コウノトリをテーマに、人間の生活と自然環境との関わりについて考える学習など行われている。ほかにも、県内の伝統工芸や地場産業について調べるなど、校外学習の事前学習などにも活用されている。

生徒からは、身近なものが兵庫県の魅力として紹介されており、今まで以上に自分たちの地域を誇りに思ったであったり、兵庫県にはまだまだ知らない場所や知らないことが多くあるので、いつか自分の目で確かめてみたいといった感想が聞かれている。

生徒一人ひとりが、ふるさとを自分事として捉えるためには、本冊子をきっかけに、自分たちの地域の魅力を発信したり、自分たちに何ができるのかといったことを考えさせるなど、他地域との関連の中で自分の地域を見詰め直すなどの活用の幅を広げることが大切だと考える。

今後も、県内の効果的な活用事例について周知を行うとともに、県内の中学生同士がそれぞれの地域について交流する機会を設けるなど、中学生のふるさと意識の更なる醸成を図っていく。どうぞよろしくお願いする。

【藤本議員のコメント】

すばらしいものができているので、せっかく作っていただいたものなので、しっかりと使っていただいて、よろしくお願いしたいと思う。

この議会の議会図書室の下の書庫に、昭和6年発刊の「兵庫県郷土読本」という、中学生用だが、冊子がある。90年前だ。読んでみると、またこれがすばらしい。白黒、当然カラー写真ではないが、写真もあるのだろう、私の地元の加東市にある「孝女ふさの碑」についても非常に詳しく書いてある。人物もたくさん出ていた。その最後に何が書いてあるかというと、やはり郷土を知って、郷土にしっかりと愛着という言葉ではなかったけども、愛と、それから誇りをしっかり持っていきましょうというふうに書いてある。兵庫県のそういう教育の伝統をしっかり継いで活用してもらいたいと思う。

【藤本議員の質問】

3項目めは、幼児期の教育の充実についてである。

県教育委員会では、幼児期の教育の重要性を認識し、幼稚園、保育所、認定こども園など幼児教育の場で、幼児の心身の調和の取れた発達が図られ、一人ひとりの特性に応じた質の高い教育、保育の推進に取り組んでいる。

元年度には、そうした認識のもと、幼児教育連携促進事業として連携促進協議会が設置され、フォーラムの開催や保護者向け幼児教育資料の作成などに取り組まれた。

幼児期の教育は、人格形成の基礎を培う重要なものであることから、教員等の指導力の向上、保護者の幼児の発達についての理解の促進が求められる。

私は、幼稚園や保育所、認定こども園を訪れたときなどに、指導に当たっておる先生に聞きます。目の前の子供の活動の意味について尋ねることがある。一見すると、ただ遊んでいるだけのように見えて、実は発達につながる大切な段階を経験しているんだと教えられ、幼児期の教育の奥の深さに考えさせられる経験をよくする。同時に、園での教育活動の意義を保護者も理解し、連携した家庭での子育てが必要であると思うのが常である。

そこで、元年度に配布された書き込み式の保護者向け幼児教育資料「すくすくひょうごっ子」の配布状況、園や家庭での活用状況、現場や保護者の反応と今後の課題について伺う。

【村田義務教育課長の答弁】

どの園や所に通っても、同等の幼児教育が求められる。そういった中で、この幼児教育資料・親子ノート「すくすくひょうごっ子」は、保護者が園における学びの視点や子供の発達のプロセスを理解するとともに、子供の成長の様子を書き込める内容としている。

今年3月には、13万2,000部を作成し、県内1,462カ所の公立・私立の幼稚園、保育所、認定こども園に配布した。加えて、6月には、園からの要望に応え、教員等が本冊子を通じて研修をしやすいようにするため、

更に1万部を各園に配布している。保護者からは、何度も書き込んで、将来、母子手帳と一緒に子供にプレゼントしたいであったり、臨時休業の間でも家庭でできる遊びを紹介していたので、それを見て、うれしいといった声を聞いている。園のほうからは、園内研修で活用し、保育を見詰め直すきっかけとなったといった声も寄せられている。

しかしながら、各園では、保護者に対して活用の仕方や、実際にこの親子ノートを媒介として情報交換等を行う予定にしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、なかなか周知が難しい状況になってしまった。

今後は、効果的な活用事例をまとめたリーフレットを作成して、その内容を各園に周知することで、園と保護者との連携を一層深め、幼児期の教育の充実を図っていく。

【藤本議員のコメント】

非認知能力ということもしっかり書いてある。私も改めてしっかり読んだ。そうすると、0歳児からずっと小学校へ上がるまでの発達段階が実態に即して、本当によく分かるように書いてある。私には娘がいるが、ちょうどこの秋に2歳になった孫がいて、家で二人きりでいると気が狂いそうになることがあるという。この冊子を見せたが、非常に参考になったと言っていた。若い母親、父親もそうだが、親御さんは、ああいうきちっと指針になるようなものがあれば、自信を持って、このときは子供を叱らないとか、このときは黙って見るとか、そういう対応をすることができる。保育園、あるいは、こども園での活動が今度は家庭で生かされるようにすることもできる。これは実にすばらしい資料だと思う。ただ、残念なのは、3歳児以上だ。ところが、発達の話には0歳からずっと出ている。子供が3歳になってもらっても、親はちょっと何だかと思うと思うので、ぜひとも0歳児から、配布してほしい。うちの孫は0歳児から行っている。

それから、子育ても大変だが、おじいさんとしても、孫の発達を改めてしっかり見るということだから、今はやりの孫育てだったか、それにも役に立つ資料だと思うので、引き続きよろしくお

願います。

【藤本議員の質問】

4 項目めは、道徳の充実についてである。

小学校では平成30年度から、中学校では平成31年度から、特別の教科道徳が始まっている。小学1年生は年間34時間、2年生から中3までは35時間の授業を行うことが義務付けられ、検定教科書の使用、評価を記述式で行うことなどが教科としての道徳科の特色である。

県教育委員会では、特別の教科道徳の実施に向けて、これまで教員の指導力の向上、評価の研究、小中の連携、家庭・地域との連携等の実践研究を道徳教育推進事業として重ねてこられた。教科実施後も、道徳教育の充実を目指した実践研修や研究等に引き続き取り組まれている。

教科化になってから、道徳の授業を参観させていただく機会があったが、教科書を使って、子供たちが題材について話し合ったり、自分の考えを発表して議論する様子が目に付いたところである。指導する先生の工夫も伝わってくるという印象を持った。

授業では、教科書の使用と、自治体の作成した副読本の使用が認められており、兵庫版道徳教育副読本が使われている。この兵庫県版の副読本は、改めて、これも内容的に評価も高く、これまでも研究実践がもう長い期間重ねられており、指導案や指導事例も蓄積され、活用が図られてきたところであるが、これまでの活用状況と教科化後の教科書との併用、その他の活用状況、今後の課題について伺う。

【西田教育次長の答弁】

本県では、心の教育の基盤となる道徳教育の充実を図ってきた。この中で、道徳の教科化に向けては、これまでの兵庫らしい取組を基盤に、一つに、教科による変更点の整理、二つに、授業の更なる質の向上のための教材の分析等に取り組んできた。次年度には、対話的な学びを更に深めるため、教員の効果的な問いかけについても研究した。さらに、評価の方法の研究を加えるなど、円滑な教科化に向けた段階的な

工夫・改善を重ねてきた。

現在は、学校では、これまでの積み重ねを生かし、教材の分析や子供の発言を大切にした板書の工夫等、授業の工夫に取り組んでいる。

兵庫版道徳教育副読本については、兵庫ゆかりの人物を取り上げるなど、地域の特性を生かし、子供たちに自己の生き方について考えさせることを目的に作成している。必要に応じて、適時内容の変更も行っている。

活用状況については、全ての小中学校の道徳の年間計画に位置付けられている。また、道徳科以外の他教科、総合的な学習の時間だが、学活等の活用を含めると、教科化になる前と同程度の年間6時間程度を活用されている。

今後も、副読本の効果的な活用も含め、道徳教育が充実されるよう、県が作成する指導資料や教員研修等を通じて、児童生徒の豊かな心の育成に取り組んでいきたいと考えている。

【藤本議員のコメント】

教科化後も教科化前と変わらぬ程度活用しているということだが、私は年間計画の中でもっと入れてもいいんじゃないかなという思いも持っていた。

今回、改めて質問に立つので、4冊を全部、端から端まで読んだ。もう忘れたこともあるし、改めて読んでみると、やっぱり素晴らしいと思った。というのは、この兵庫県のゆかりのある人物であるとか、その題材を本当によく考えて作ってあるなど。ただ読むだけでも実はわくわくしてくることだということで、これは、大人の人、県民にもぜひとも読んでもらいたいなというのは率直な思いである。せっかく心を込めて作った道徳副読本であるので、ぜひともこれを更に活用していただきたいと思う。

この副読本が先にできて、国の教科書を作るときとか、いろいろ考えるときに、この兵庫県版の副読本が大いに参考にされたという話も聞いている。それぐらい値打ちのあるもんだと思っているので、よろしく願います。

令和2年5月～令和3年4月の主な活動記録

月 日	曜	活 動 内 容
5月8日	金	自民党県議団幹事長に就任
5月11日	月	議会運営委員会 県議会広報委員会 議員団総会
5月12日	火	自民党県議団で知事への緊急要望
5月15日	金	各会派代表者会議 県議会コロナ対策調整会議 自民党議員団総会
5月22日	金	自民党議員団総会 県議会コロナ対策調整会議
5月25日	月	井戸知事への緊急要望
5月27日	水	北播磨県民局との意見交換 県議会コロナ対策調整会議
5月29日	金	各会派代表者会議 県議会コロナ対策調整会議
6月2日	火	各会派代表者会議 議会運営委員会 自民党議員団総会 政調理事会
6月4日	木	加東事務所（加東土木、加東農林振興、加古川流域土地改良各事務所）
6月5日	金	各会派代表者会議 議会運営委員会 自民党議員団総会
6月9日	火	第349回定例県議会（開会） 議会運営委員会 自民議員団総会 県議会文化振興議員連盟役員会
6月12日	金	本会議（代表質問） 議会運営委員会 自民党議員団総会
6月15日	月	本会議（一般質問） 議会運営委員会 自民党議員団総会 井戸知事にコロナ対策を申し入れ（4会派代表）
6月16日	火	産業労働常任委員会
6月17日	水	本会議（閉会） 警察常任委員に選出される 議会運営委員会 自民党議員団総会 各会派代表者会議 県議会広報委員会
6月19日	金	警察常任委員会 県議会コロナ対策調整会議 自民党県連拡大幹事会
6月20日	土	三草川現地調査
6月22日	月	関西広域連合連携協議会
6月26日	金	全農兵庫県本部役員との意見交換
6月27日	土	自衛官募集相談委員会東播連合会総会（やしろ会館）
6月29日	月	各部局との意見交換会（企画・農政） 自民党県議団政調理事会
7月1日	水	県立教育研修所（教科書展示・施設見学）
7月2日	木	加東市内 平池公園 福田歩道橋調査
7月4日	土	北播磨ビジョン委員会（小野エクラ）
7月6日	月	部局との意見交換（健康福祉部・病院局、県土整備部）
7月9日	木	自民党県連総務会

Ⅳ 令和2年5月～令和3年4月の議員活動記録一覧

7月10日	金	井戸知事へのコロナ慰労金対象者拡充の申し入れ（3会派）
7月13日	月	部局との意見交換（警察、産業労働部、教育委員会）
7月14日	火	各会派代表者会議 県議会コロナ対策調整会議
7月16日	木	警察常任委員会 議会運営委員会 自民党議員団総会 自民党土地改良推進議連総会・研修会
7月18日	土	播磨中央公園サイクリングステーション竣工式
7月19日	日	滝見橋開通式 加古川河川改修促進要望会
7月27日	月	臨時県議会（第350回） 議会運営委員会 自民党議員団総会 自民党県議団文教部会勉強会
7月30日	木	県議会コロナ対策調整会議
8月1日	土	自民党兵庫県連大会に代わる総務会（神戸市）
8月4日	火	終戦75年兵庫県戦没者追悼式典（県公館） 各会派代表者会議
8月6日	木	政調会1日目 政調理事会
8月7日	金	政調会2日目 各会派代表者会議
8月19日	水	警察常任委員会 自民党健康福祉部会 総務会
8月24日	月	関西広域連合連携協議会 県議会政調懇話会 議会運営委員会 自民党議員団総会
8月25日	火	農政環境常任委員会管内調査に地元議員として出席（北播磨県民局）
8月26日	水	警察常任委員会管内調査（阪神地区・県庁で調査）
8月28日	金	北播磨地域づくり懇話会（嬉野台生涯教育センター）
8月31日	月	美しい日本の憲法をつくる会意見交換会（県庁）
9月3日	木	自民党各種友好団体との意見交換会①
9月4日	金	自民党各種友好団体との意見交換会②
9月12日	土	加東市立東条中学校体育祭
9月14日	月	井戸知事へのコロナ対策緊急要望
9月15日	火	井戸知事に対する令和3年度当初予算編成に係る重要政策提言
9月16日	水	警察常任委員会 各会派代表者会議 議会運営委員会 自民党県議団総会 県議会地域代表選出のあり方検討委員会
9月18日	金	交通安全県民大会（県公館）
9月19日	土	東条西小、東小学校運動会
9月23日	水	第351回定例県議会（開会）議会運営委員会 自民党県議団総会
9月25日	金	県庁執務 北播磨経懇話会（三木市）
9月26日	土	加東市美術協会展
9月28日	月	本会議（代表質問） 議会運営委員会 自民党議員団総会
9月29日	火	本会議（一般質問） 自民党健康福祉部会勉強会

9月30日	水	本会議（一般質問）
10月1日	木	県議会本会議（一般質問③）議会運営委員会 自民党議員団総会 決算特別委員会（運営要領等協議）
10月2日	金	警察常任委員会 県議会広報委員会 自民党知事選挙等調査検討会 決算特別委員会（説明聴取） 山田錦産地視察（加東市秋津）
10月5日	月	本会議（表決） 自民執行部会議 議会運営委員会
10月6日	火	決算特別委員会（財政状況）
10月7日	水	決算特別委員会（企画県民部）
10月8日	木	決算特別委員会（健康福祉部）
10月9日	金	決算特別委員会（産業労働部・公安委員会）
10月12日	月	決算特別委員会（農政環境部） 自民執行部会議
10月13日	火	決算特別委員会（県土整備部）
10月14日	水	決算特別委員会（教育委員会）
10月15日	木	決算特別委員会（病院局・企業庁）
10月16日	金	県庁執務 文教部会勉強会 LPガス協会説明
10月18日	日	河高コスモスまつり 家庭バレーボール連盟選手権大会 日本政策センター研修会（高槻市）
10月19日	月	決算特別委員会（総括） 自民執行部会議 各会派代表者会議
10月21日	水	全国戦没学徒追悼祭（南あわじ市 若人の広場）
10月22日	木	県議会本会議（閉会） 議会運営委員会 公文書管理委員会 自民議員団総会 北朝鮮拉致議連総会等
10月26日	月	警察常任委員会 自民執行部会議 自民党商工議連意見交換会 自民党議員団県庁再整備検討委員会
10月29日	木	警察常任委員会管内調査（但丹地区）①
10月30日	金	警察常任委員会管内調査（但丹地区）②
10月31日	土	兵庫県ソフトボール協会県知事杯争奪大会（加東）
11月4日	水	加東事務所 加東警察署長来所
11月5日	木	県庁舎等再整備協議会 美しい日本の憲法をつくる会
11月6日	金	加東市シニアクラブ連合会支部グラウンドゴルフ大会 県庁執務
11月8日	日	加東市下滝野地区メモリアルウォーク ばかちから in 加東
11月9日	月	執行部会議 幹事長室執務
11月11日	水	井戸知事に令和3年度当初予算申し入れ 文教部会勉強会 総務会 自民党議員団総会 新生兵庫の会講演会
11月12日	木	警察常任委員会管内調査① 東播淡路地区
11月13日	金	警察常任委員会管内調査② 東播淡路地区

Ⅳ 令和2年5月～令和3年4月の議員活動記録一覧

11月14日	土	末松信介参議院議員政経セミナー 森元総理講演
11月16日	月	警察常任委員会 執行部会議 農政環境部説明 関西広域連合連携協議会 建設部会勉強会 LPガス勉強会
11月17日	火	井戸知事訪問（NPO、農業法人同行）
11月19日	木	県議会コロナ対策調整会議
11月22日	日	上田桑鳩顕彰書道展（加東東条）
11月23日	月	東条川疎水ネットワーク博物館協議会総会・シンポジウム
11月24日	火	執行部会議 議会運営委員会 自民議員団総会 自民政調理事会
11月25日	水	加西農業改良普及所懇談会 加東事務所
11月26日	木	北播政経懇話会11月例会 県庁執務 和心書道展
11月27日	金	県庁執務 災害に強い森づくり推進大会2020 団体要望等
11月30日	月	執行部会議 各会派代表者会議
12月1日	火	第352回定例県議会開会 議会運営委員会 自民県議団総会 県議会文化振興議員連盟役員と当局の意見交換会
12月2日	水	加東事務所 加東土木事務所から説明
12月4日	金	本会議（代表質問）議会運営委員会小委員会 各会派代表者会議 自民党県議団勉強会（高橋洋一氏講演）
12月5日	土	兵庫県体育協会創立90周年記念式典（神戸市）
12月6日	日	加東市子ども会親善サッカー大会
12月7日	月	本会議（一般質問①） 自民党議員団知事選挙等検討調査会
12月8日	火	本会議（一般質問②） 議会運営委員会 自民議員団総会 県議会広報委員会 関口正人議員自民会派入り
12月9日	水	警察常任委員会 県議会地域代表のあり方検討会
12月10日	木	自民党県連選対委員会 社高校尚友会役員会
12月11日	金	本会議（閉会） 議会運営委員会 自民党議員団総会 自民党議員団知事選挙等検討調査会
12月12日	土	加東市公募美術展
12月14日	月	自民党県議団執行部会議
12月15日	火	県議会政務活動費調査会
12月16日	水	警察常任委員会 議会運営委員会 各会派代表者会議 議員団総会 自民党議員団警察部会 県測量設計業協会との意見交換会
12月17日	木	知事と執行部との令和3年度主要施策についての意見交換会
12月18日	金	自民党県連党紀委員会
12月20日	日	加東歴史の会 牧野住吉神社ライトアップイベント
12月21日	月	自民県議団執行部会議

12月24日	木	美しい憲法をつくる兵庫県民の会役員会
12月25日	金	金澤副知事に次期県知事選挙への出馬要請（県庁）
12月28日	月	県庁 仕事納め
1月4日	月	兵庫県新年交礼会（県公館）
1月5日	火	県庁 執行部会議
1月6日	水	自民党政調会①
1月7日	木	自民党政調会② 自民産業労働部会
1月8日	金	自民党政調会③ 自民・県民連合・公明知事申し入れ 県議会コロナ対策調整会議 自民党日台議連
1月9日	土	近畿ソフトボール協会理事会（姫路市）
1月10日	日	加東市新成人の集い（L O C ホール）
1月12日	火	県庁 執行部会議
1月13日	水	県議会コロナ対策調整会議
1月14日	木	兵庫県が緊急事態宣言の対象に
1月15日	金	県庁 幹事長室執務
1月16日	土	リサイクル活動（社地域）
1月17日	日	1. 17ひょうご安全の日のつどい（神戸）
1月18日	月	自民執行部会議 各会派代表者会議 警察常任委員会 議会運営委員会 自民党議員団総会 議会タブレット講習会
1月21日	木	善龍院初庚申祭 加東事務所
1月22日	金	教育長への申し入れ（自民、県民、公明3会派） 幹事長室執務
1月25日	月	自民執行部会議 各会派代表者会議（コロナ対策調整会議）
1月26日	火	幹事長室執務
1月28日	木	加東事務所 加古川流域事務所来所 県東播土地改良区
1月29日	金	自民党県議団文教部会、総務部会 地域代表あり方検討会（会派）
2月1日	月	自民執行部会議 議会運営委員会（オンライン会議試行） 各会派代表者会議
2月5日	金	県議会コロナ対策調整会議
2月6日	土	自民党加東市支部総会に代わる幹事会
2月7日	日	兵庫県ソフトボール協会常任理事会（明石市）
2月8日	月	自民執行部会議 JAグループと酒米日本酒振興議連意見交換
2月10日	水	議会運営委員会 各会派代表者会議 県議会広報委員会 自民政調理事会 自民議員団総会 防衛議連、観光産業振興議連総会
2月11日	木	建国記念の日を祝う兵庫県民の会（県民会館）
2月12日	金	警察常任委員会

Ⅳ 令和2年5月～令和3年4月の議員活動記録一覧

2月14日	日	兵庫県知事賞各賞授与式（加西フラワーセンター）
2月15日	月	県庁執務 自民執行部会議
2月16日	火	加東土木事務所（社総合庁舎） 県庁執務
2月17日	水	第353回定例県議会開会 議会運営委員会 議員団総会 警察常任委員会 文化振興議員連盟役員と当局の意見交換会
2月18日	木	県庁執務 兵庫県小売酒販組合連合会要望（金澤副知事）
2月19日	金	県庁執務 山田錦特A地区活性化について意見交換
2月22日	月	本会議 自民執行部会議 議会運営委員会 自民議員団総会
2月23日	火	天皇誕生日
2月24日	水	本会議 自民党議員団を代表して質問に登壇
2月25日	木	本会議 県議会広報委員会
2月26日	金	本会議 県議会地域代表のあり方検討会
2月27日	土	兵庫県立社高校卒業式 社のおにわ亭 加東市文化連盟美術作品展
3月1日	月	本会議（一般質問③） 各会派代表者会議 自民党執行部会議
3月2日	火	本会議（一般質問④） 議会運営委員会 自民団総会
3月3日	水	警察常任委員会 幹事長室執務
3月4日	木	本会議 議会運営委員会 自民団総会 スポーツ振興議連総会 県議団総務会 日本会議議連役員会 文教会勉強会 県議会コロナ対策調整会議
3月5日	金	予算特別委員会（財政状況）傍聴 幹事長室執務
3月6日	土	加東事務所
3月7日	日	兵庫県ソフトボール協会理事総会（明石市）
3月8日	月	自民党執行部会議 幹事長室執務
3月9日	火	幹事長室執務
3月10日	水	加東市立東条中学校卒業式（最後の）
3月11日	木	加東事務所 加東土木事務所来所
3月12日	金	幹事長室執務
3月13日	土	加東市スポーツ賞・文化賞表彰式 やしろ歴民研役員会
3月14日	日	拉致問題啓発映画「めぐみへの誓い」鑑賞（神戸）
3月15日	月	自民党執行部会議 幹事長室執務
3月16日	火	幹事長室執務 加東ライオンズクラブ例会
3月17日	水	予算特別委員会（総括質疑）傍聴 日本会議北播磨支部役員会
3月18日	木	自民党各種友好団体との意見交換会①
3月19日	金	自民党各種友好団体との意見交換会② 県議会コロナ対策調整会議 自民党議員団一部議員からの申し入れ

3月20日	土	加東市制15周年記念表彰式 加東アート館オープニング式
3月21日	日	K G 高等学院（通信制高校）卒業式
3月22日	月	自民党執行部会議 議会運営委員会 議員団総会 本会議 議員団総務・幹事会 団総会 一部議員の申入れ回答
3月23日	火	警察常任委員会 幹事長室執務
3月24日	水	第353回定例県議会閉会 議会運営委員会 自民議員団総会 地域代表のあり方検討会
3月26日	金	議員団総会
3月27日	土	加東市立東条中学校閉校式
3月28日	日	加東市立東条東小学校、西小学校閉校式
3月29日	月	自民党執行部会議
3月30日	火	県議会コロナ対策調整会議
3月31日	水	山田錦を愛する会で報告（嬉野台生涯教育センター）
4月1日	木	自民議員団綱紀委員会 美しい憲法をつくる会
4月2日	金	自民議員団総会 幹事長室執務
4月3日	土	日本女子ソフトボールリーグ（尼崎ベイコム球場）
4月4日	日	宝塚市長選告示（宝塚市） 加東事務所
4月5日	月	執行部会議 県議会コロナ対策調整会議
4月6日	火	幹事長室執務 安田加東市長来訪
4月7日	水	幹事長室執務 自民党兵庫県連選挙対策委員会
4月8日	木	各会派代表者会議 幹事長室執務
4月9日	金	井戸知事に対するコロナ対策緊急申し入れ 自民議員団総会
4月10日	土	加東事務所 社3区会計監査
4月11日	日	泉こども園園舎改築竣工式典 加東事務所
4月12日	月	自民執行部会議 県議会コロナ対策調整会議
4月13日	火	幹事長室執務
4月14日	水	加東事務所 自民党加東市支部幹事会
4月15日	木	幹事長室執務
4月16日	金	警察常任委員会各会派代表者会議 議員団総会 県議会コロナ対策調整会議
4月19日	月	自民執行部会議 幹事長室執務
4月20日	火	幹事長室執務 記者会見（再犯防止等）
4月21日	水	県庁執務 日本会議北播磨支部定例会
4月22日	木	ふじもと百男後援会役員会
4月23日	金	幹事長室執務 県議会コロナ対策調整会議
4月26日	月	自民執行部会議 議員団総会 幹事長退任



◆著者紹介

藤本 百男 ふじもと ひゃくお

【学歴・職歴・社会活動歴等】

- 昭和28年10月31日 兵庫県加東郡社町社生（現加東市社）
- 兵庫県立社高等学校、早稲田大学法学部卒業
- 国公立学校教員（兵庫教育大学附属小学校、同附属中学校教諭、兵庫県加古川市立小学校、滝野町立滝野東小学校教諭）
- 兵庫教育大学大学院修士課程修了（教育学修士）
- 神戸商科大学・兵庫県立大学非常勤講師（学校教員と兼職）
- 社町史編纂委員、社小学校PTA会長、社3区副区長等

【議員歴】

- 平成19年4月 兵庫県議会議員初当選
農政環境常任副委員長、総務常任副委員長
- 平成23年4月 兵庫県議会議員2回当選
自民党県議団副政調会長、副幹事長、文教部会長
健康福祉常任委員長
- 平成27年4月 兵庫県議会議員3回当選
文教常任委員長 自民党県議団文教部会長
第124代兵庫県議会副議長（平成28年6月11日～29年6月9日）
議員定数等調査特別委員 自民党県議団農政環境部会長
自民党県議団政務調査会長（30年4月～31年4月）
行財政構造改革特別委員 決算特別委員 予算特別委員長
- 平成31年4月 兵庫県議会議員4回当選
関西広域連合議会議員 自民党議員団総務部会長
自由民主党兵庫県連政務調査会長（令和元年6月～）
自民党県議団幹事長（令和2年5月8日～令和3年4月26日）

【団体役職等】

- 自民党加東市支部支部長、日本会議兵庫北播磨支部支部長、加東軟式野球協会会長、兵庫県ソフトボール協会会長、県立社高等学校尚友会会長、兵庫県釣針協同組合顧問等

【県政シリーズ既刊】

- 県政シリーズⅠ「東条川疏水」
- 県政シリーズⅡ「終戦70年 慰霊を考える 加東市内の忠魂碑・慰霊塔」
- 県政シリーズⅢ「ふるさと加東の道標・道路元標」
- 県政シリーズⅣ「加東四国八十八ヶ所霊場・議会改革一年の歩み」
- 県政シリーズⅤ「加東の近代史を彩る人物像・29年度議会活動報告」
- 県政シリーズⅥ「神と仏と人の出会う里加東・30年度後半議会活動報告」
- 県政シリーズⅦ「ふるさと加東の伝説・伝承」・令和元年～2年5月の議員活動報告」

県政資料 ふるさと加東の歴史再発見シリーズ VIII

ふるさと加東の教育あらかると

—加東の二宮金次郎像—

新型コロナウイルスとの戦いの一年

—自民党県議団幹事長として—

- ◆ 郷土史ブログ「ふるさと加東の歴史再発見」より
- ◆ 議員活動ブログ 「百聞百見」より

発行日 令和3年5月吉日

著 者 兵庫県議会議員 藤 本 百 男

発行所 藤本百男事務所

〒673-1431 兵庫県加東市社1491-1

TEL(0795)43-8270 FAX(0795)27-7221

印刷所 株式会社吉本宝文堂

〒675-1343 兵庫県小野市来住町883-2

TEL(0794)63-4011 FAX(0794)62-5252

非売品
